取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

事業所用デジタルコードレス電話システム

ラインキー付デジタルコードレス電話機

ＨＩ－Ｄ９ＰＳ

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、内容を理解してからお使いください。
お読みになったあとも、大切に保管し、いつでも見られる場所においてお使いください。

●本商品は日本国外ではご利用できません。
This product is exclusively for use in Japan.

株式会社 日立情報通信エンジニアリング

MANU(Ver2.0)

主な特長

ラインキーボタン
局線ボタンとして使用できます。
また、登録により、クイックダイヤル、転送キー、不在キー、代理応答キーとしてもお使いになれます。

連続通話：約５時間
連続待ち受け：約 400 時間
充電は約５時間で完了します。

エコ充電機能
電池残量が少ない時のみ充電する設定にすることによって、充電による消費電力を低減することができます。

メロディ着信
着信音は５種類のトーン、５種類の効果音の他に、１０種類のメロディを着信音に選択することができます。

アンテナサーチ機能
電波の強い接続装置を選択することで、より安定した環境でご利用できます。

電話帳（最大１０００番号）
１０００件までの名前や電話番号などが登録できます（※）。また、簡単に相手の方の電話番号が検索できます。
※電話帳１件につき１番号の場合

簡易メール送受信機能
全角４０文字（半角８０文字）までの文字情報を送受信できます。

予約アラーム（スケジューラ）機能
予定を登録・管理できます。

留守録（メモ録音）機能
着信に自動応答して、相手の方の用件を録音できます。（１件あたり約１５秒、最大４件）

セキュリティ機能
・ダイヤルロック
・オートロック
・リモートロック
・電話帳アクセス禁止

事業所間ローミング機能
ＰＢＸ（構内交換機）が共通線で結ばれている場合、どこの事業所へ行ったときでも、デジタルコードレス電話機で電話をかけたり、受けたりできます。

目次

主な特長 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
目次 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
安全にお使いいただくために必ずお読みください 4

第１章　はじめに

付属品を確認する ・・・・・・・・・・・・・・・ 12
デジタルコードレス電話機を使う前に ・・・・ 13
各部の名称と働き ・・・・・・・・・・・・・・・ 14
　電話機本体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
　充電器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
ＬＣＤ表示部の見かた ・・・・・・・・・・・・ 16
電池パックを取り付ける（交換する） ・・・・ 18
電話機を充電する ・・・・・・・・・・・・・・・ 20
　充電器を使用する場合 ・・・・・・・・・・・ 20
　ＵＳＢケーブルで直接充電する場合 ・・・・ 20
ストラップを取り付ける ・・・・・・・・・・・ 22
電源を入れる ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
アンテナサーチ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

第２章　基本的な使い方

電話をかける ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
　内線電話をかける ・・・・・・・・・・・・・ 25
　ラインキーを使って電話をかける ・・・・・ 26
　ダイヤルしてからラインキーボタンを押す・ 26
　ラインキーボタンを押してからダイヤルする 27
電話をかけ直す ・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
　発信履歴からかけ直す（リダイヤル） ・・・ 28
　着信履歴からかけ直す ・・・・・・・・・・・ 28
発信履歴／着信履歴を削除する ・・・・・・・ 29
電話を受ける ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
　内線電話を受ける ・・・・・・・・・・・・・ 30
　ラインキーへの着信に応答する ・・・・・・ 31
　ラインキー非運用面への着信に応答する場合 31
電話を保留する／転送する ・・・・・・・・・・ 33
　電話を保留する ・・・・・・・・・・・・・・・ 33
　保留に応答する ・・・・・・・・・・・・・・・ 33
　ラインキー非運用面への保留に応答する場合 34
　電話を転送する ・・・・・・・・・・・・・・・ 35

第３章　文字の入力

文字の入力方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
ダイヤルボタンと文字の割り当て ・・・・・・ 39

第４章　電話帳の使い方

電話帳を登録する ・・・・・・・・・・・・・・・ 41
発信／着信履歴から電話帳に登録する ・・・・ 44
　新規登録をする場合 ・・・・・・・・・・・・ 44
　追加登録をする場合 ・・・・・・・・・・・・ 45
電話帳のグループを設定する ・・・・・・・・・ 46
　グループ名称を設定する ・・・・・・・・・・ 46
　グループ着信音を設定する ・・・・・・・・・ 47
　グループ着信色を設定する ・・・・・・・・・ 48
電話帳を検索する ・・・・・・・・・・・・・・・ 49
　名前検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
　グループ検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
　電話番号検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
　メモリ番号検索 ・・・・・・・・・・・・・・・ 52
電話帳を検索して電話をかける ・・・・・・・・ 53
電話帳を編集する ・・・・・・・・・・・・・・・ 54
電話帳に個別着信鳴り分けを設定する ・・・・ 55
電話帳を削除する ・・・・・・・・・・・・・・・ 56
電話帳へのアクセスを禁止する ・・・・・・・・ 57
電話帳の登録電話番号数を確認する ・・・・・ 58

第５章　簡易メール機能

簡易メールを作成／送信する ・・・・・・・・・ 60
簡易メールを閲覧する ・・・・・・・・・・・・・ 62
　受信した簡易メールを閲覧する ・・・・・・・ 62
　受信／送信ＢＯＸの簡易メールを閲覧する・ 63
簡易メールを返信する ・・・・・・・・・・・・・ 64
簡易メールを再編集する ・・・・・・・・・・・・ 66
簡易メールを保護する ・・・・・・・・・・・・・ 67
　保護を解除する場合 ・・・・・・・・・・・・・ 68
送信ＢＯＸの上書き可否を設定する ・・・・・・ 69
簡易メールを削除する ・・・・・・・・・・・・・ 70

第６章　時刻アラームと予約アラーム

時刻アラームを設定する ・・・・・・・・・・・・ 72
予約アラームを作成する ・・・・・・・・・・・・ 74
予約アラームを確認／修正する ・・・・・・・・ 77
予約アラームの登録件数を確認する ・・・・・・ 78
予約アラームを削除する ・・・・・・・・・・・・ 79
　１件削除する場合 ・・・・・・・・・・・・・・ 79
　すべて削除する場合 ・・・・・・・・・・・・・ 80

目次（つづき）

第７章　留守録・メモ録音機能

留守録を設定する ・・・・・・・・・・・・・・ 82
メモ録音をする ・・・・・・・・・・・・・・・ 83
留守録・メモ録音を再生する ・・・・・・・・・ 84
留守録・メモ録音を削除する ・・・・・・・・・ 85

第８章　いろいろな機能の設定／登録

待ち受け画面を設定する ・・・・・・・・・・・ 87
画面の明るさを調整する ・・・・・・・・・・・ 88
自分の内線番号を常時表示させる ・・・・・・・ 89
使用者名称を設定する ・・・・・・・・・・・・ 90
グループ番号を表示する ・・・・・・・・・・・ 91
表示文字を大きくする ・・・・・・・・・・・・ 92
切断理由表示機能を設定する ・・・・・・・・・ 93
着信音を設定する ・・・・・・・・・・・・・・ 94
着信音量を調節する ・・・・・・・・・・・・・ 96
受話音量を調節する ・・・・・・・・・・・・・ 97
　通話中／発信中に受話音量を調節する ・・・ 97
　待ち受け中に受話音量を調節する ・・・・・ 97
バイブレータを設定する ・・・・・・・・・・・ 98
キータッチ音が鳴らないようにする ・・・・・・ 99
電池アラーム音が鳴らないようにする ・・・ 100
側音を調整する ・・・・・・・・・・・・・・・ 101
エコーサプレスを設定する ・・・・・・・・・ 102
ハンドオーバ音が鳴らないようにする ・・・ 103
着信音の鳴動先を設定する ・・・・・・・・・ 104
受話音高域カット機能を設定する ・・・・・・ 105
自営システムを切り替える ・・・・・・・・・ 106
パスワードを変更する ・・・・・・・・・・・ 107
ダイヤルロックを設定する ・・・・・・・・・ 109
リモートロックを設定する ・・・・・・・・・ 110
オートロックを設定する ・・・・・・・・・・ 111
キーロックを設定する ・・・・・・・・・・・ 112
いろいろな機能の設定内容を初期化する ・・ 113
　機能設定のみを初期化する ・・・・・・・・ 113
　電話帳などすべての設定を初期化する ・・ 114
　初期化対象項目表 ・・・・・・・・・・・・ 115
時刻を設定する ・・・・・・・・・・・・・・・ 117
エコ充電機能を設定する ・・・・・・・・・・ 118
自分の内線番号を確認する ・・・・・・・・・ 119
ラインキーのランプ表示を設定する ・・・・ 120
ラインキーを画面に表示させる ・・・・・・ 121
ラインキー着信音を鳴らないようにする ・・ 122
ラインキーに機能を設定する ・・・・・・・ 123
　外線機能を設定する ・・・・・・・・・・ 123
　Ｆキーを設定する ・・・・・・・・・・・ 124
　クイックダイヤルを設定する ・・・・・・ 124
ラインキーをワンタッチ／ツータッチで使う 125
ラインキーの名称を編集をする ・・・・・・ 126
ラインキーの使用数を設定をする ・・・・・ 127
ラインキーの運用面を変更する ・・・・・・ 128
サブアドレス付き発信を可能にする ・・・・ 129
クイック応答機能を設定する ・・・・・・・ 130
クイック発信機能を設定する ・・・・・・・ 131
着信自動応答を設定する ・・・・・・・・・ 132
送信パワーダウンを設定する ・・・・・・・ 133
リモート発信を設定する ・・・・・・・・・ 134
特番を設定する ・・・・・・・・・・・・・・ 135
ｸｲｯｸﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝを使ってﾜﾝﾀｯﾁで電話をかける 136
設定内容を確認する ・・・・・・・・・・・ 137
　表示とその意味 ・・・・・・・・・・・・ 138
マナーモードを設定する ・・・・・・・・・ 140
電卓を使う ・・・・・・・・・・・・・・・・ 141
電話機を他の事業所で使う ・・・・・・・・ 142

第９章　ご参考に

故障かな？と思ったら ・・・・・・・・・・ 144
主な仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 145
索引 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 146
メニュー一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・ 148

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、お買い求めになった販売店にお問い合わせください。

表示・図記号の説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	行ってはいけない（禁止）内容を示します。
	分解してはいけない（禁止）内容を示します。
	濡れた手で扱ってはいけない（禁止）内容を示します。
	水に濡らしてはいけない（禁止）内容を示します。
	触れてはいけない（禁止）内容を示します。
	必ず実行していただく（強制）内容を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示します。

免責事項について

●地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。

●本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。

●当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、設定されたデータが変化または消失することがありますが、これらのデータ修復により生じた損害・免失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

●重要なデータ（登録した方の名前や電話番号など）は紙などに控えておくことをおすすめします。万一、登録されたデータが変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。

安全にお使いいただくために必ずお読みください（つづき）

電話機本体、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

⚠危険

	●電話機本体を充電等に使用する機器は、必ず専用の機器をご利用ください。専用の機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。 ・電池パック：ＨＩ－Ｄ６ＢＴ ・充電器：ＨＩ－Ｄ８ＣＧ ・充電用ＡＣアダプタ：ＨＩ－ＡＤＰＡ ・充電用ＵＳＢケーブル：ＨＩ－Ｄ８ＵＳＢＣＢＬＡ
	●高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、直射日光の強い場所、炎天下の車内など）での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。 ●ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。 ●充電器用接触端子やその他接続端子をショートさせないでください。また、充電器用接触端子やその他接続端子に誘電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。 ●金属製のアクセサリーやストラップをご使用になる場合は、充電の際に充電器や電池パックの端子などに触れないよう、十分ご注意ください。感電・発火・障害・故障の原因となります。 ●電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。 ●火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
	●分解したり、改造したりしないでください。故障・発火・感電・障害の原因となります。また、本商品を分解したり、改造したりすることは法律で禁止されています。

⚠警告

	●投げつけたり、落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。 ●屋外で雷鳴が聞こえた時は使用しないでください。落雷・感電の恐れがあります。 ●充電器用接触端子やその他接触端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・障害・故障の原因となる場合があります。 ●落下などによって破損し、電話機内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする事があります。 ●電話機、充電器、AC アダプタの上やそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
	●本製品の本体が濡れている状態で充電しないでください。感電や、電子回路のショートなどによる故障・火災の原因となります。
	●所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください（つづき）

電話機本体、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）（つづき）

⚠注意

●高温になる場所（直射日光のあたる場所や自動車内など）、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。
●不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。
●乳幼児の手の届くところには置かないでください。誤って飲み込んで窒息するなど、事故や障害の原因となる場合があります。
●外部から電源が供給されている状態の電話機本体・電池パック・充電用機器に、長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。
●本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますのでご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。
●コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
●電池カバーを外したまま使用しないでください。
●腐食性の薬品のそばや、腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
●振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
●調理台や加湿器のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
●電話機、充電器、AC アダプタや電源コードを熱器具に近づけないでください。電話機、充電器、AC アダプタの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●子供が使用する場合は、危険な状態にならないように保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても指示通りに使用しているかをご注意ください。けがの原因となります。
●使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きた場合は、すぐに使用するのをやめてください。異常が起きたときに、充電中であれば充電用機器をコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して修理に出してください。

電話機本体の取り扱いについて

⚠警告

●自動車・原動機付自転車・自転車運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の使用も法律等で罰せられる場合があります。
●航空機内での使用は法律で禁止されています。電源をお切りください。
●ストラップを持って本電話機を振り回さないでください。本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障・破損の原因となります。
●医療用電子機器（心臓ペースメーカ等）を装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。本電話機を医療用機器などの近くで使用すると、電波の影響で医療用電気機器などの誤作動や故障の原因となる恐れがあります。
●本電話機の隙間などに金属や異物を差し込まないでください。感電や故障の原因となります。
●歩行中に使用しないでください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。
●画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源を切り、電池パックを外して修理に出してください。

●高精度な電子機器の近くでは本電話機の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与える恐れがある機器の例：心臓ペースメーカ・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知機・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は、機器メーカまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）
●病院内でのご利用にあたっては、必ず、医療機関の指示に従ってください。医療用電子機器に影響をおよぼす場合があります。
●満員電車の中などの混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本電話機の電源を切るよう心がけてください。
●心臓の弱い方は着信音量やバイブレータの設定に注意してください。着信音や振動が身体に影響を与える原因になります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください（つづき）

電話機本体の取り扱いについて（つづき）

⚠注意	
	●磁気カードなど（キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスク）を本電話機に近づけないでください。磁気データが消えてしまうことがあります。 ●ズボンなどの後ろポケットに本電話機を入れたまま、椅子などに座らないでください。破損や故障の原因となります。 ●本電話機を胸ポケットに入れたままかがまないでください。本電話機が落下して、故障あるいは人に当たり、けがの原因となることがあります。 ●本電話機に乗らないでください。転倒や破損など、けがや故障の原因となることがあります。 ●電話機本体のアンテナを誤って目にささないようにしてください。
	●自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。 ●外部から電気雑音の影響を受けて、通話中にノイズが入ったり、通話ができなくなることがあります。このようなときは、本電話機を雑音源から遠ざけてください。雑音源としては、テレビ・ラジオ・パソコン・ファクシミリ・ワープロ・複写機などのＡＶ・ＯＡ機器および自動車・オートバイなどがあります。 ●本電話機は、電波障害や電池消耗の影響を受けますので、ＰＢＸ（構内交換機）などのオフィスシステムの補助的なものとしてご使用ください。本電話機だけでは重要な連絡が取れなくなる場合があります。

電池パックの取り扱いについて

⚠危険	
	●電池パックの（＋）と（－）の端子を針金などの金属類などで接続しないでください。電池パックがショート状態となり、過大な電流が流れ、発熱・発煙・破裂・発火の原因となります。また、金属製ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。 ●電池パックを電話機本体や専用の充電器に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・発熱・火災の原因となります。また、うまく接続できないときは、無理せず接続部を十分確認してから接続してください。 ●くぎを刺したりハンマーで叩いたりしないでください。発火や破損の原因となります。 ●落としたり、踏みつけたりしないでください。 ●破損や漏液した電池パックを使用しないでください。 ●火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所や炎天下などでの使用、放置はしないでください。 ●火の中に投げ入れたり、加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、電解液に引火したりして、発熱・発煙・破裂・発火の原因となります。
	●内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、障害を起こす恐れがあるので、すぐに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明の恐れがあるので、こすらずに、水で洗った後すぐに医師の診断を受けてください。 ●電池パックの充電には、必ず専用の充電用機器を使用してください。改造した充電器などを使用すると、電池パックが過度に充電されたり、異常な電流で充電されたりして、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱・発煙・破裂・発火の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください（つづき）

電池パックの取り扱いについて（つづき）

	●電池パック内部の液が漏れだした場合は、絶対に素手で触れないでください。素手で触るとやけどをする場合があります。また、目に入った場合は失明の恐れがあるので、こすらずに、水で洗った後すぐに医師の診断を受けてください。
	●分解・改造したり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして、失明などの事故や、発熱・発火・破裂の原因となります。
	●水や海水、ペットの尿などで電池パックを濡らさないでください。発熱・発煙・破裂・発火や感電・故障の原因となります。誤って水などに落としたときは、すぐに電源を切り、電池パックを外してください。濡れた電池パックは使用や充電をしないでください。

⚠警告	
	●漏液したり、異臭がするときはすぐに火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、発火・破裂の原因となります。 ●電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですので、ご使用をおやめになり、新しい専用の電池パックと交換してください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態により異なります。
	●濡れた手で電池パックを交換しないでください。発火や故障の原因となります。

⚠注意	
	●一般のごみと一緒に捨てないでください。発火・環境破壊の原因となることがあります。不要になった電池パックは、お買い求めの販売担当者にお渡しいただくか、電池パックの端子にテープなどを貼り、絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワーク・マークのあるお店にお持ちください。または、回収を行っている市町村の指示に従ってください。
	●電池パックの充電温度範囲は0℃～40℃です。この温度範囲以外で充電すると、液漏れや発熱の原因となったり、電池パックの性能や寿命を低下させることがあります。

充電用機器の取り扱いについて

⚠警告	
	●電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。 ●充電器の接触端子に、手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・障害・故障の原因となる場合があります。 ●電源端子を絶対にショートさせないでください。故障・けが・感電・火災の原因となります。 ●雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電の原因となります。 ●湿気の多い場所（風呂場など）では絶対に使用しないでください。感電の原因になります。 ●充電中は充電用機器を安定した場所においてください。また、布や布団で覆ったり包んだりしないでください。電話機本体が外れたり、熱がこもり、火災・故障の原因となります。 ●充電用機器のすきまなどに金属や異物を圧し込まないでください。感電や故障の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください（つづき）

充電用機器の取り扱いについて（つづき）

	●ＡＣアダプタには必ず、日本国内家庭用ＡＣ１００Ｖをご使用ください。誤った電圧で使用すると、発火・火災・発熱・感電などの原因となります。 ●電源プラグはコンセントに確実に根元まで差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。 ●電源プラグについたほこりは拭き取ってください。火災の原因となります。
	●長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。 ●お手入れをするときには、充電用機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れすると、感電やショートの原因となります。 ●万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。感電・発熱・火災の原因となります。 ●充電用機器から煙が出たり、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、安全な場所に移動してください。そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。
	●分解・改造はしないでください。感電・火災・故障の原因となります。
	●充電用機器は濡らさないでください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、充電中に液体がかかってしまった場合には、すぐに電源プラグを抜いてください。
	●濡れた手で充電用機器やコンセントに触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意	
	●充電器を床に放置しないでください。踏みつけたり、転倒した際に、けがや事故などの原因となります。 ●ＡＣアダプタのコードの上に重いものを載せたり、改造しないでください。感電や火災の原因となります。 ●濡れた電池パックを充電しないでください。発熱・発火・破裂の原因となります。
	●充電用機器の電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷する恐れがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください（つづき）

取扱い上のお願い

●本製品は総務省の技術基準に適合しています。製品に貼り付けてある銘板をはがさないでください。製品を分解して改造することは法律により禁止されています。不法に改造を加えてご使用になると、法律により罰せられることがあります。

●本電話機はデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点に十分配慮してお使いください。

●多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、液晶画面・内部基板などの破損・故障の原因となります。無理な力がかかるような場所には置かないでください。

●落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

●お手入れは、乾いた柔らかい清潔な布を使用してください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布にふくませ、かたく絞ってから拭いてください（コネクタ部は除く）。ベンジンやシンナー、アルコールなどで拭かないでください。変色や変形の原因となることがあります。

●いちじるしく温度の高くなるところや、逆に極端に低くなるところではお使いにならないでください。

●寒い戸外から急に暖かい室内に本電話機を持ち込むと、急激な温度変化により、本体内部に水滴がつくことがあります。これを、結露といいます。結露が生じたときは、電源を切って、水滴が蒸発するまでしばらく放置しておいてください。結露したままでお使いになると、故障の原因となります。

●水滴がついたときは、なるべく早く乾いた布などで拭き取ってください。レシーバやマイクに水滴がついたままでお使いにならないでください。そのまま放置すると、水滴が内部に入り込み、錆びや腐食、故障の原因となります。

●塵、ほこり、鉄粉、有害ガスなどが発生する場所への設置は避けてください。故障の原因となります。

●温泉地など、硫化水素の発生するところや、海岸などの塩分の多いところでお使いになると、本電話機の寿命が短くなる恐れがあります。

●本電話機を汚れやすいところに置かないでください。

●電気製品・ＡＶ・ＯＡ機器など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジは影響を受けることがあります）。テレビ、ラジオに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。また、テレビやラジオの電波が強すぎるときは、本電話機が使用できないことがあります。

●周囲の環境(壁、金属製のドア、家具など)によっては使用範囲が狭くなります。本電話機のＬＣＤ表示上で電波表示を確認して通話できる範囲を確かめてください。また、通話も電波の状態の良好なところで行ってください。

●電池パックは長時間使用しない場合でも、６ヶ月に一度は充電してください。

●本品を廃棄時にはデータの初期化や物理的な破壊をした上で廃棄願います。

●アンテナは物にあてたり、無理な力を加えないでください。破損してしまうことがあります。

●長期間(1～2 ヶ月以上)使用しないときは、電池パックの劣化を防ぐため,電話機本体から電池パックを外して保管してください。

●水につけたりしないでください。また、水などの水滴がかからないようにしてください。

●汗や水がついたときには、すぐに乾いた柔らかい清潔な布で拭いてください。

第1章

はじめに

デジタルコードレス電話機の各部の名称と働きや準備の仕方を説明します。初めてお使いになる前に、各ボタンの役割を確認しましょう。

付属品を確認する

初めてお使いになる前に、付属品がすべてそろっているか確認してください。
万一、足りないものがあったときは、お買い求めになった販売店などへご連絡ください。

付属品一覧

- 電池パック ・・・・・・・・・・・・・・・・ １個
- 充電器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １台
- 充電用ＡＣアダプタ ・・・・・・・・・・・ １個
- 充電用ＵＳＢケーブル ・・・・・・・・・・ １本
- 簡易取扱説明書・保証書 ・・・・・・・・・ １部

デジタルコードレス電話機を使う前に

デジタルコードレス電話機をはじめてお使いになる前にお読みください。

■接続装置について

接続装置とは、デジタルコードレス電話機とＰＢＸ（構内交換機）間の接続をするための装置です。１つの接続装置で同時に３台までのデジタルコードレス電話機が利用できます。

接続装置のランプにより接続装置の状態がわかります。電話がかからないときなどに、確認してください。

緑色に点灯：正常です。
緑色に点滅：回線がふさがっています。このときは、他の接続装置の近くでかけ直すか、緑色の点灯に変わってから、かけ直します。
赤く点灯　：この接続装置の使用は禁止されています。使用できるようにするには、PBX（構内交換機）側で禁止の設定を解除します。
赤く点滅　：故障しています。
橙色に点灯：保守モードです。
消　　灯　：電源が供給されていません。

■１つの接続装置の近くから他の接続装置の近くにお話しをしながら移動するときは

接続装置の切り替えが自動的に行われます。接続装置が近くにあるところへならお話ししながら自由に移動できます。接続装置を切り替えているときには、レシーバから「プップップ…」という音が聞こえることがありますが、相手の方には聞こえません。どの接続装置からも離れてしまうと、表示部の が消えて（ ···· ）の表示となり、電話は切れてしまいます。接続装置の近くで電話をかけ直してください。

「プップップ…」という音は、デジタルコードレス電話機が無線回線を探しているときに聞こえます。移動していないときでも、使用中の回線に雑音が入り、お話しができなくなると、「プップップ…」という音が聞こえ、別の回線に接続してお話しを続けられるようにします。

お話ししているとき、移動しなくても無線回線の品質が劣化すると「プップップ…」という音が聞こえ、接続装置を切り替えます。

■通話できる範囲から外れたときは（圏外）

接続装置から離れていると、デジタルコードレス電話機の表示部の が消えて（···· ）の表示となり、電話をかけることができません。電話をかけるときは、接続装置に近づいてください。（ または「 」、「 」）が表示されてから電話をかけてください。

■お話し中に電池の残量がなくなったときは

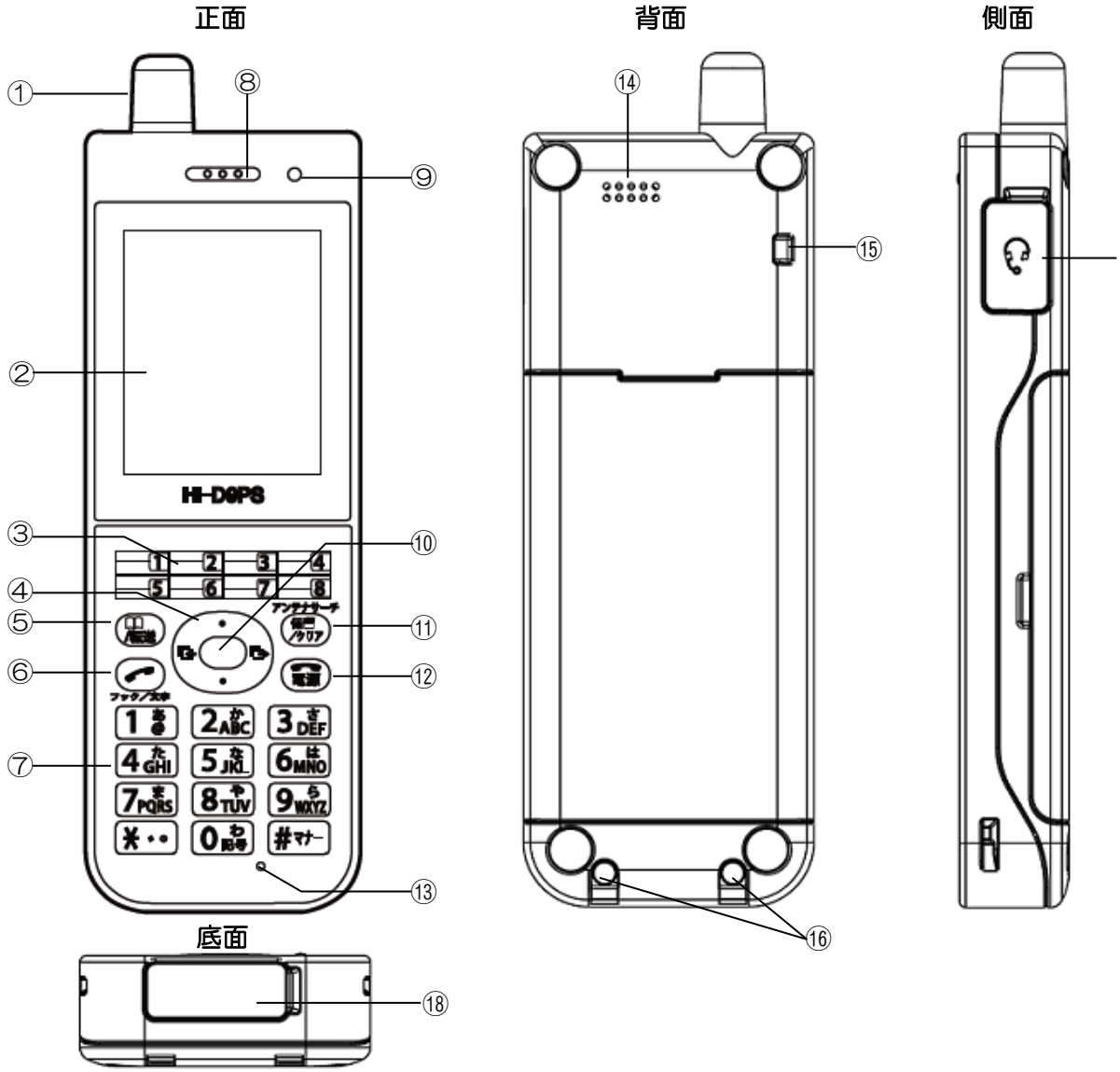
「ピピピッ」という警報音が鳴り、その後、約１分で通話が切れますのでご注意ください。
通話が切断後は、表示部に「充電してください」というメッセージが現れます。

■ラインキーについて

ラインキーは、デジタルコードレス電話機が所属するグループの接続装置からの電波を受ける範囲（圏内）にあるときにだけ使用します。圏外になるとラインキー操作はできなくなります。

各部の名称と働き

電話機本体



①アンテナ

②ＬＣＤ表示部

③ラインキーボタン
局線ボタンとして使用します。（ただし、ＰＢＸ（構内交換機）の設定によります）。また、登録により、クイックダイヤルとしてもお使いになれます。

④カーソルキー
発着信履歴の表示や、機能設定項目の選択、音量調節、文字の変換などで使用します。

⑤電話帳／転送ボタン
電話帳を使用するとき、または、転送するときに使用します。機能設定の際のサブメニュー画面表示にも使用します。

⑥通話／フック／文字ボタン
電話をかけたり受けたりするとき、また、文字入力中の入力モード選択（漢字、カナ、英字、数字等）に使用します。
通話中、２秒以上長押しでフッキングになります。

⑦ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力するときに使用します。また、マナーモードやダイヤルロックの設定に使用します。

各部の名称と働き（つづき）

電話機本体（つづき）

⑧受話口（レシーバ）

⑨着信／充電ランプ
着信がきたときに赤色点滅します。
充電中は赤色点灯、充電完了で消灯します。

⑩センターキー
メインメニューを表示するときや、画面に表示された項目を決定するときに使用します。
また、キーロックの設定をするときに使用します。

⑪保留／クリアボタン／アンテナサーチ
通話中の保留、文字入力中のクリア、メニュー画面でのクリアなどで使用します。また、アンテナサーチや特番を追加するときに使用します。

⑫切／電源ボタン
通話を切るときや、着信音を一時的に停止するときに使用します。また、登録や設定中、操作を中止するときに使用します。
電源をＯＮ／ＯＦＦするときは、２ 秒以上長押しします。
ＬＣＤ表示部が全点灯状態で、電源ボタンを短く押すと、ＬＣＤ表示部およびバックライトを強制的に消灯することができます。

⑬送話口（マイク）

⑭スピーカ

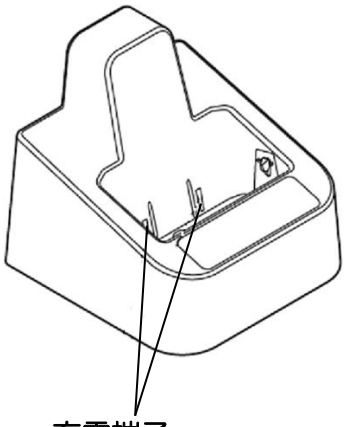
⑮ストラップ取付穴

⑯充電端子

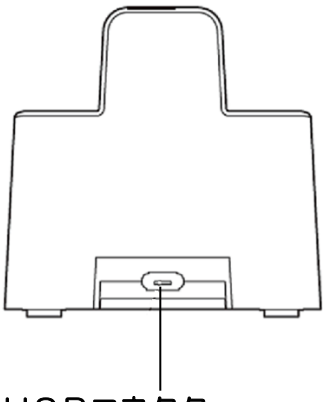
⑰ヘッドセットジャック
専用のヘッドセットやヘッドセットアダプタ（ともに別売り）を接続できます。

⑱ＵＳＢコネクタ
充電をするときや、パソコンを接続するときに使用します。

充電器

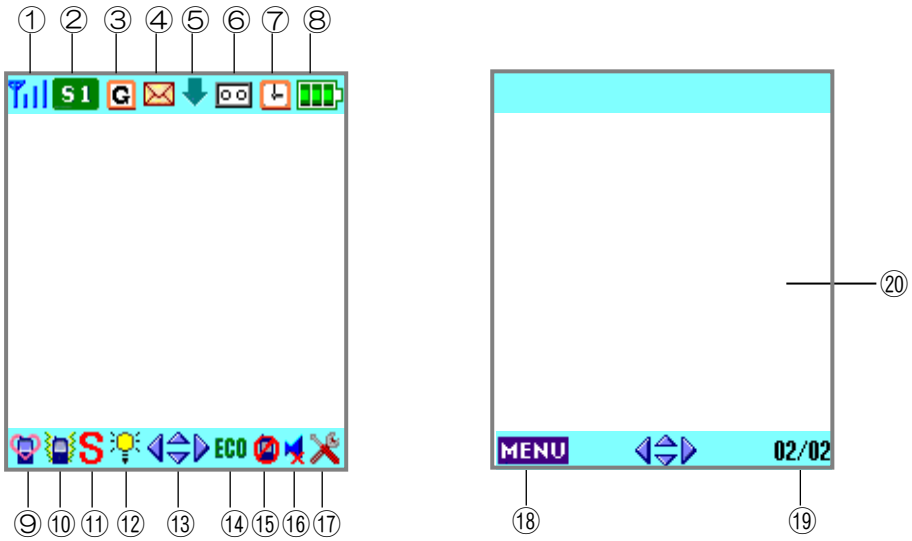


充電端子
電話機の充電端子に接触して、電池パックを充電します。



ＵＳＢコネクタ
充電用ＵＳＢケーブルを接続します。

ＬＣＤ表示部の見かた



① ....

電波の受信レベルを示します。電波の強い順に、 ～ （強い～弱い）。 .... は圏外です。
アンテナサーチをしている間は が点滅します。
「アンテナサーチ」⇒23 ページ

② S1

システム１で動作していることを示します。

S2

システム２で動作していることを示します。
「自営システムを切り替える」⇒１０６ページ

③

自グループ内で待ち受けしていることを示します。

④

受信ＢＯＸに未読の簡易メールがあることを示します。また、点滅している場合は、受信ＢＯＸが最大保存数（５０件）に達しています。
「簡易メール」⇒５９ページ

⑤

送信パワーダウン機能が設定されていることを示します。
「送信パワーダウンを設定する」⇒１３３ページ

⑥

留守録機能が設定中であることを示します。点滅している場合は、留守録保存数が最大保存数（４件）に達しています。
「留守録機能」⇒８１ページ

⑦

時刻アラームが設定されていることを示します。
「時刻アラーム」⇒７２ページ

⑧

電池残量を示します。 が点滅しているときは残量がほとんどない状態です。 は充電中です。
「電話機を充電する」⇒２０ページ

⑨

マナーモードが設定されていることを示します。
「マナーモードを設定する」⇒１４０ページ

⑩

バイブレータが設定されていることを示します。
「バイブレータを設定する」⇒９８ページ

ＬＣＤ表示部の見かた（つづき）

⑪ S

着信音量がレベル０に設定されていることを示します。（サイレント着信）

「着信音量を調節する」⇒９６ページ

⑫

ラインキーの状態を常に表示する設定にしていることを示します。

「ﾗｲﾝｷｰのﾗﾝﾌﾟ表示を設定する」⇒１２０ページ

⑬

方向キーが有効であることを示します。（有効な方向のカーソルピクトのみ表示します）

⑭ ECO

エコ充電機能が設定されていることを示します。

「エコ充電機能を設定する」⇒１１８ページ

⑮

キーロックが設定されていることを示します。

「キーロックを設定する」⇒１１２ページ

⑯

着信音鳴動指定機能がヘッドセットに設定されていることを示します。

「着信音の鳴動先を設定する」⇒１０４ページ

⑰

電池交換時期になったことを示します。

「電池パックを取り付ける」⇒１８ページ

⑱ MENU

サブメニューボタンが有効であることを示します。

⑲ 01/03

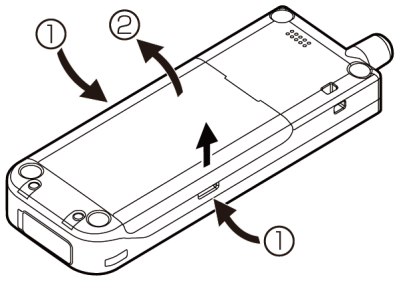
機能設定や電話帳などが、複数ページになる場合に表示します。

⑳表示欄

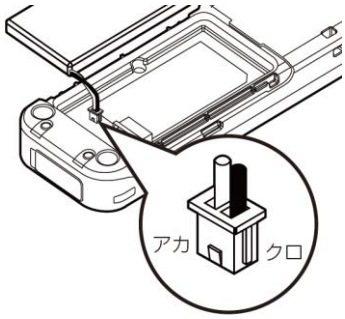
機能設定メニューや電話番号などが表示されます。

電池パックを取り付ける（交換する）

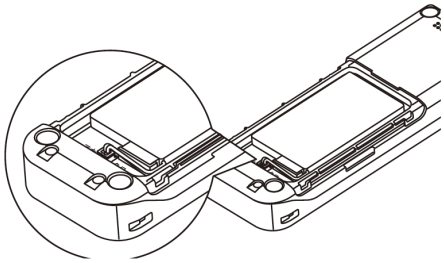
1 両サイドにある電池カバーの凹み①を片方ずつ指をかけて、少し上に持ち上げて、②の方向にカバーを開けます。



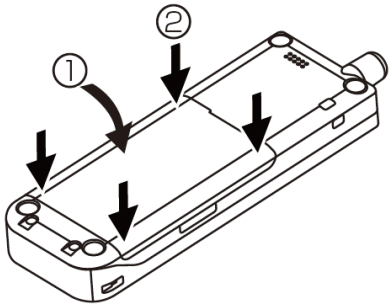
2 電池パックのコネクタを電話機に差し込む。（コネクタの向きに注意して、奥までしっかりと差し込んでください。）



3 電池パックのラベルを表にして、斜めからクッションに押しつけるようにして収納する。（電池パックのコードを図のように収納する。）



4 電池カバーを電話機と水平に置いて①、四隅②を上から押してしっかりと閉めてください。（電池パックのコードを挟まないように十分注意してください。）



⚠ 危険

- ●電池パックはショートしないようにしてください。火災、感電の原因となります。
- ●電池パックの外装カバー（被覆、チューブなど）を剥がさないでください。
- ●電池パックを分解しないでください。

ご注意

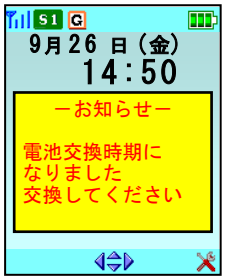
- ●電池パックを取り外す時は、電池パックのコードを持ってゆっくりと垂直に引き抜いてください。
- ●電池パックのコネクタは向きを間違えないようにして、しっかり差し込んでください。
- ●専用の電池パック以外は使用しないでください。故障の原因となります。
- ●電池カバーを閉じるときに、電池パックのコードを挟まないように十分注意してください。
- ●充電しながら通話等を頻繁に行うと、電池パックの寿命が短くなる場合があります。

電池パックを取り付ける（交換する）（つづき）

お知らせ

●電池パックの寿命は使い方によって異なりますが、約１年程度使用できます。また、電池パックの使用条件によっては、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上に問題はありません。この場合は早めに新しい専用電池パック（ＨＩ－Ｄ６ＢＴ）に交換してください。

●電池パックを接続し、最初の時刻設定をしてから約２年経過すると、電池パックの交換を促す右記画面が表示されます（画面の下に「 」が表示されます）。



お願い

電池パックはリサイクル可能なリチウムイオン電池です。交換の際はお買い求めの販売担当者にお渡しいただくか、電池パックの端子にテープなどを貼り、絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワーク・マークのあるお店にお持ちください。または、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

種　　類　：リチウムイオン電池
定格電圧　：ＤＣ３．７Ｖ
定格容量　：７２０ｍＡｈ

Li-ion00

電話機を充電する

電池パックを充電するときは、必ず専用の充電用機器をお使いください。はじめてお使いになるときや、新しい電池パックに交換したときは、必ず５時間以上充電してください。
また、電池パックだけでは充電できません。電話機に取り付けて充電してください。

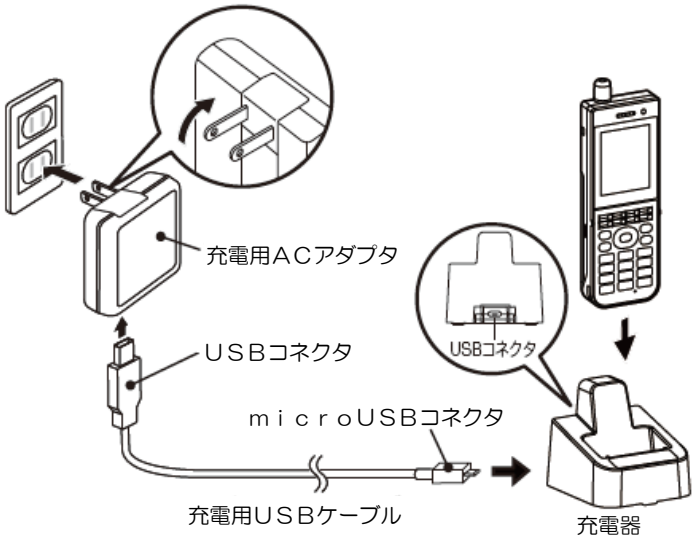
充電器を使用する場合

①充電用ＵＳＢケーブルのｍｉｃｒｏＵＳＢコネクタを、充電器のＵＳＢ端子に、コネクタの向きに注意して奥まで差し込む。

②充電用ＵＳＢケーブルのＵＳＢコネクタを、充電用ＡＣアダプタに、コネクタの向きに注意して奥まで差し込む。

③充電用ＡＣアダプタをＡＣコンセント（ＡＣ１００Ｖ）に差し込む。

④充電器に電話機を差し込む。
・「着信／充電ランプ」が赤く点灯します。
・「着信／充電ランプ」が消えたら、充電完了です。充電完了時間の目安は約５時間です。



ＵＳＢケーブルで直接充電する場合

①電話機のＵＳＢコネクタキャップを開ける。

②充電用ＵＳＢケーブルのｍｉｃｒｏＵＳＢコネクタを、電話機のＵＳＢ端子に、コネクタの向きに注意して奥まで差し込む。

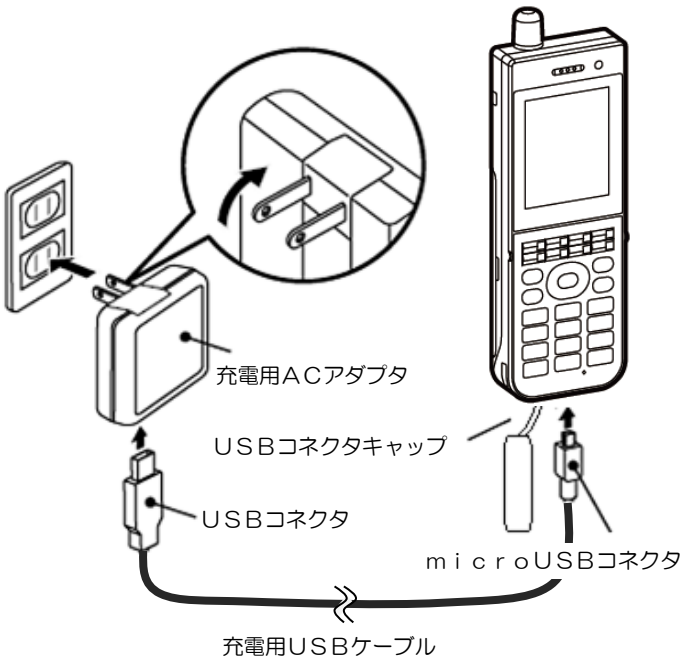
③充電用ＵＳＢケーブルのＵＳＢコネクタを、充電用ＡＣアダプタに、コネクタの向きに注意して奥まで差し込む。

④充電用ＡＣアダプタをＡＣコンセント（ＡＣ１００Ｖ）に差し込む。（「ピー」と鳴ります。）
・「着信／充電ランプ」が赤く点灯します。
・「着信／充電ランプ」が消えたら、充電完了です。充電完了時間の目安は約５時間です。

⑤充電が完了したら、充電用ＡＣアダプタをＡＣコンセントから外す。（「ピピ」と鳴ります。）

⑥充電用ＵＳＢケーブルをＡＣアダプタと電話機から外す。

⑦電話機のＵＳＢコネクタのキャップをしっかりと閉める。



電話機を充電する（つづき）

補足説明

●電池残量

：レベル３（十分使用できます）

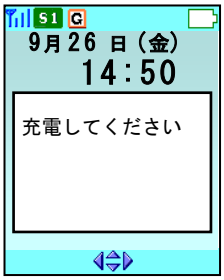
：レベル２（まだ使用できます）

：レベル１（少なくなっています）

：残量なし（充電してください）

：充電中

●待ち受け中に電池の残量がなくなると、「ピー」という警告音が鳴り、画面には電池ピクトが点滅し、「充電してください」と表示します。通話中に電池の残量がなくなると、レシーバより「ピピピッ」という警告音が鳴り、約１分後に通話が切れます。



●電池アラーム音の設定を「アラーム音なし」に設定しているとき、マナーモードを設定しているときは、電池アラームの警告音が鳴りません。電池アラーム音については「電池アラーム音が鳴らないようにする」（１００ページ）、マナーモードについては「マナーモードを設定する」（１４０ページ）をご覧ください。

●電話機の電源が入っていないとき、マナーモードを設定しているときは、ＵＳＢ接続音／取り外し音は鳴りません。マナーモードについては「マナーモードを設定する」（１４０ページ）をご覧ください。

ご注意

●極端に使用時間が短くなったときは、電池アラーム音が鳴るまで電池パックを使ってから充電してください。これを２、３度繰り返しても、使用時間が回復しないときは、電池パックの寿命です。新しい電池パック（ＨＩ－Ｄ６ＢＴ）をお買い求めください。

●充電器の底面にゴムを取り付けています。ゴムとの接触面がまれに変色することがありますので、ご注意ください。

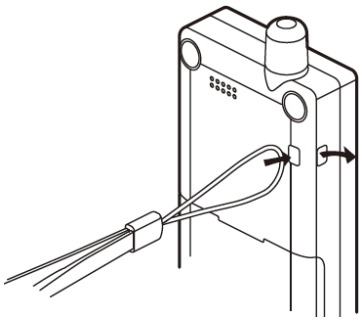
お願い

●充電器・ＡＣアダプタは周囲温度が０℃～４０℃の範囲内でお使いください。電話機を充電するとき、充電ランプが赤く点灯し充電が始まることを確認してください。

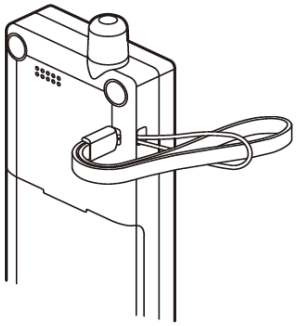
●電話機や充電器の充電端子部分が汚れていると、電話機の電源が入らなかったり、途中で切れたり、充電できなかったりすることがあります。このようなことがないように、これらの端子部分を月に一度乾いた布や市販の綿棒などで清掃してください。その際は、洗浄液などは使わないでください。

ストラップを取り付ける

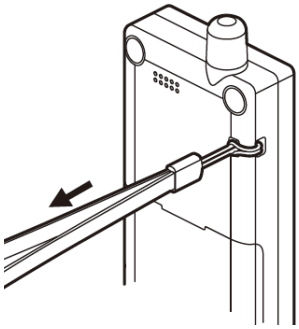
1 ストラップの細いひもの輪を取り付け穴に通す。



2 細いひもの輪の中に反対側のひもを通す。



3 通したひもを引き、絞る。



お知らせ

ストラップは付属品ではございません。

電源を入れる

1 (電源)を２秒以上押し、電源を入れる。

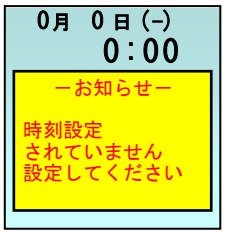
起動画面が表示されます。

2 待ち受け画面が表示される。

補足説明

●電源を切るときは (電源) を２秒以上押します。

●時刻設定がされていない状態で電源を入れた場合は、右記画面が表示されます。時刻を設定するときは「時刻を設定する」（１１７ページ）をご覧ください。



アンテナサーチ

待ち受け中にアンテナサーチを行うと、電話機は複数台の接続装置から、より電波の強い接続装置を選択します。アンテナサーチを行うことによって、より安定した環境でご利用できます。

1 待ち受け中に、(アンテナサーチ 保留/クリア) を２秒以上押す。

2 が点滅し、アンテナサーチを開始します。

3 の点滅が終わったら、アンテナサーチは終了です。

補足説明

アンテナサーチ中は、電話をかけたり受けたりすることはできません。

第2章

基本的な使い方

デジタルコードレス電話機は、ＰＢＸ（構内交換機）の内線の電話機としてお使いいただけます。もちろん、外の相手の方にもＰＢＸ（構内交換機）を通して電話をかけられます。
まずはじめに、基本操作を覚えましょう。

電話をかける

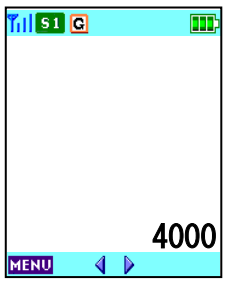
内線電話をかける

ダイヤルした番号が順次、表示部に現れますので、確認しながらダイヤルしてください。

その前に･･･

● が表示されていることを確認してください。

1 ダイヤルボタンで相手の電話番号をダイヤルする。



2 を押す。

表示されていた電話番号が点滅をはじめます。
レシーバからしばらく「プップップ…」という音がしたあと、「ルルル…」という呼出音が聞こえます。

3 相手の方が出たら話す。

「ツーツーツー…」という音がしたときは、相手の方がお話し中です。

4 お話しが終わったら、または相手の方がお話し中だったら、電源を押す。

もう一度かけ直したいときは、「電話をかけ直す」（２８ページ）をご覧ください。

補足説明

●ダイヤル中に間違った番号を押したときは、保留/クリアを押すと最後にダイヤルした番号が消えます。そこから続けて正しい番号をダイヤルします。ダイヤルした番号をすべて消すには 電源 を押します。

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

●外の相手の方に電話（外線）をかけるときは、「0」などの外線発信ダイヤルの番号をダイヤルしてから、相手の電話番号をダイヤルします。外線発信ダイヤル番号は、ＰＢＸ（構内交換機）によって異なります。

●登録済みの特番を設定して電話をかける場合は、相手の電話番号をダイヤルした後で 保留/クリア を２秒以上押すと、電話番号の先頭に登録済みの特番が設定されます。特番を解除するには 保留/クリア を２秒以上押します。
特番の登録方法は、「特番を設定する」（１３５ページ）をご覧ください。

●ダイヤルする前に を押したときは、続けて電話番号をダイヤルすれば電話はかけられます。しかし、このときは、電話番号を押し間違えても修正できません。電話番号を間違えて押したときは、電源 を押してからダイヤルし直します。

●相手の声が聞き取りにくいときは、「受話音量を調節する」（９７ページ）をご覧ください。

●電話帳を使って電話をかけることもできます。「電話帳を検索して電話をかける」（５３ページ）をご覧ください。

●発信履歴や着信履歴を使って電話をかけることもできます。「電話をかけ直す」（２８ページ）をご覧ください。

●外線と通話中に を 2 秒以上押すと、フッキングすることができます。外線と通話中にこの操作を行うと、外線に対してフッキングします（外線フッキング）。お使いになっているＰＢＸ（構内交換機）によっては、外線フッキングができないことがあります。

●通話終了後、お使いになっているＰＢＸ（構内交換機）によっては、通話料金が表示されることがあります。

電話をかける（つづき）

ラインキーを使って電話をかける

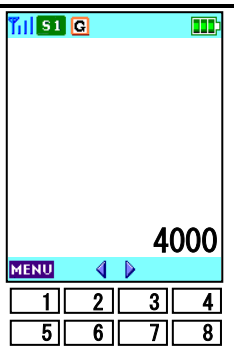
ダイヤルした番号が順次、表示部に現れますので、確認しながらダイヤルしてください。

その前に･･･

● および が表示されていることを確認してください。

ダイヤルしてからラインキーボタンを押す

1 ダイヤルボタンで相手の電話番号をダイヤルする。



2 空いているラインキーボタンを押す。

ラインキーボタンが緑点灯します。
ラインキー発信設定が「ツータッチ」に設定されているときは、ラインキーボタンを押してから を押します。

3 相手の方が出たら話す。

「ツーツーツー…」という音がしたときは、相手の方がお話し中です。

4 お話しが終わったら、または相手の方がお話し中だったら、電源を押す。

もう一度かけ直したいときは、「電話をかけ直す」（２８ページ）をご覧ください。

補足説明

ラインキー発信設定については、「ラインキーをワンタッチ／ツータッチで使う（１２５ページ）」をご覧ください。

電話をかける（つづき）

ラインキーボタンを押してからダイヤルする

1 **空いているラインキーボタンを押す。**

ラインキーボタンが緑点灯します。
ラインキー発信設定が「ツータッチ」に設定されているときは、ラインキーボタンを押してから ☎ を押します。

2 **ダイヤルボタンで相手の電話番号をダイヤルする。**

3 **相手の方が出たら話す。**

「ツーツーツー…」という音がしたときは、相手の方がお話し中です。

4 **お話しが終わったら、または相手の方がお話し中だったら、電源を押す。**

もう一度かけ直したいときは、「電話をかけ直す」（２８ページ）をご覧ください。

補足説明（ダイヤルしてからラインキーボタンを押す・ラインキーボタンを押してからダイヤルする）

- ダイヤル中に間違った番号を押したときは、保留/クリアを押すと最後にダイヤルした番号が消えます（「ダイヤルしてからラインキーボタンを押す」の操作のみ）。そこから続けて正しい番号をダイヤルします。ダイヤルした番号をすべて消すには 電源 を押します。
- 外の相手の方に電話（外線）をかけるときは、「0」などの外線発信ダイヤルの番号をダイヤルしてから、相手の電話番号をダイヤルします。外線発信ダイヤル番号は、お使いになっているＰＢＸ（構内交換機）によって異なります。
- 相手の声が聞き取りにくいときは、「受話音量を設定する」（９７ページ）をご覧ください。
- 電話帳を使って電話をかけることもできます。「電話帳を検索して電話をかける」（５３ページ）をご覧ください。
- 発信履歴や着信履歴を使って電話をかけることもできます。「電話をかけ直す」（２８ページ）をご覧ください。
- 外線と通話中に ☎ を２秒以上押すと、フッキングすることが出来ます。外線と通話中にこの操作を行うと、外線に対してフッキングします（外線フッキング）。お使いになっているＰＢＸ（構内交換機）によっては、外線フッキングできないことがあります。
- ラインキーの状態を常に表示させるか、一定時間で消灯させるかの設定をするには、「ラインキーのランプ表示を設定する（１２０ページ）」をご覧ください。
- ラインキー名称を画面に表示するかしないかの設定をするには、「ラインキーを画面に表示させる（１２１ページ）」をご覧ください。
- ラインキーの割付設定に関しては、「ラインキーに機能を設定する（１２３ページ）」をご覧ください。
- ラインキー発信設定については、「ラインキーをワンタッチ／ツータッチで使う（１２５ページ）」をご覧ください。
- ラインキーの名称を設定するには、「ラインキーの名称の編集する（１２６ページ）」をご覧ください。
- ラインキーとして使用できる数を８個または１６個に設定するには、「ラインキーの使用数を設定する（１２７ページ）」をご覧ください。
- ラインキーの運用面を変更するには「ラインキーの運用面を変更する（１２８ページ）」をご覧ください。

電話をかけ直す

電話機は、かけた、またはかかってきた電話番号を、それぞれ２０件（※）まで記憶しています。相手がお話し中でかけ直すときなどは、もう一度同じ番号をダイヤルする必要がなく便利です。

（※）本電話機の製造年月により、着信履歴の件数が異なります。
- ●製造年月（２０１９年１月以前）：２０件
- ●製造年月（２０１９年２月以降）：６０件

発信履歴からかけ直す（リダイヤル）

1 ○を押し、かけ直す電話番号を○で選び 📞 を押す。

着信履歴からかけ直す

1 ○を押し、かけ直す電話番号を○で選び 📞 を押す。

補足説明

- ●途中で操作を中止するときは、電源を押してください。
- ●記憶できる電話番号は１件につき最大２４桁です。
- ●２件以上の電話番号が記憶されているときは、○を押すたびに、そのひとつ前にかけた（または、かかってきた）電話番号が表示されます。○または○の長押しで選択先がスクロール移動します。
- ●記憶しているすべての電話番号が順番に表示されると、最初に表示した電話番号に戻ります。
- ●登録済みの特番を設定して電話をかける場合は、発信／着信履歴を表示した後で 保留/クリア を２秒以上押すと、電話番号の先頭に登録済みの特番が設定されます。特番を解除するには 保留/クリア を２秒以上押します。特番の登録方法は、「特番を設定する」（１３５ページ）をご覧ください。
- ●電話機の設定によっては、「着信履歴」が「通話履歴」と表示されます。詳細は保守担当者へお問い合わせください。
- ●履歴を表示している時に、○を押すと、選択された履歴の詳細画面が表示されます。

- ●着信に応答しなかったときは、着信履歴に「不在」と表示されます。
- ●留守録が入っている場合は、着信履歴に「留守」と表示されます。

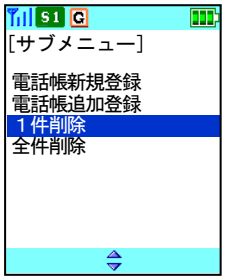
発信履歴／着信履歴を削除する

発信履歴／着信履歴を、１件のみ削除したり、一度にすべて削除することができます。

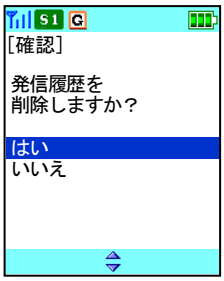
1 ●または ●を押す。

2 削除する履歴を ●で選び 転送 を押す。

3 ●で「１件削除」または「全件削除」を選び、●を押す。

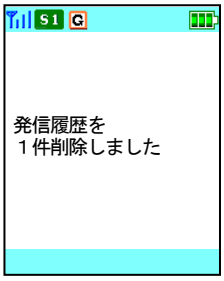


4 ●で「はい」を選び、●を押す。



5 履歴が削除されます。

手順１の画面に戻ります。
手順３で「全件削除」を選んだ場合は、「発信履歴を全件削除しました」と表示されます。



電話を受ける

内線電話を受ける

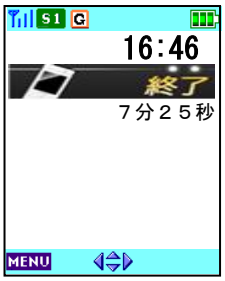
その前に･･･

● が表示されていることを確認してください。

1 電話がかかってきたら

2 を押す。

3 お話しが終わったら、を押す。



補足説明

●着信中に を押すことで、着信音量を一時的に消去することができます（クイックサイレント機能）。画面下に「S」が表示されます。

●着信中に または 押下で着信音量を変更することができます。（「着信音量を調節する」（９６ページ）をご覧ください。）

●電話を受けられなかったときは、電話番号の通知機能を使ってかけてきた相手の方の電話番号であれば、その電話番号を呼び出して電話をかけられます。「電話をかけ直す（着信履歴からかけ直す）」（２８ページ）をご覧ください。

●電話がかかってきたときに、充電器から電話機を取り上げるだけで通話できるようにしたいときは、「クイック応答機能を設定する」（１３０ページ）をご覧ください。

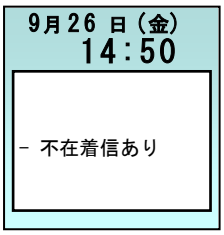
●電話がかかってきたときに、自動的に電話を受けるようにするには、「着信自動応答を設定する」（１３２ページ）をご覧ください。

●相手の声が聞き取りにくいときは、「受話音量を調節する」（９７ページ）をご覧ください。

●着信音の鳴り方を変えたいときは、「着信音を設定する」（９４ページ）をご覧ください。

●着信音のほかにバイブレータ着信を利用したいときは、「バイブレータを設定する」（９８ページ）をご覧ください。

●着信時に不在だった場合は、着信したことをお知らせする画面が表示されます。下記画面の状態で を押すと、着信履歴に移動します。下記画面の表示を消して、待ち受け画面に戻りたいときは を押します。



電話を受ける（つづき）

ラインキーへの着信に応答する

その前に･･･

● および が表示されていることを確認してください。

1 ラインキーへ着信があると、ラインキーボタンが赤の早い点滅をします。

2 赤の早い点滅をしているラインキーボタンを押す。

ラインキー発信設定が「ツータッチ」に設定されているときは、ラインキーボタンを押してから を押します。

3 お話しが終わったら、電源を押す。

補足説明

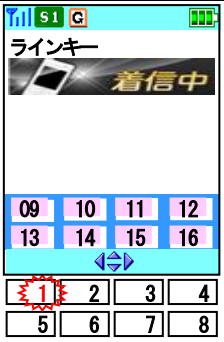
●ラインキー発信設定については、「ラインキーをワンタッチ／ツータッチで使う」（１２５ページ）をご覧ください。

ラインキー非運用面への着信に応答する場合

ラインキーの使用数が１６個に設定されていて、ラインキー非運用面への着信があった場合の応答操作です。

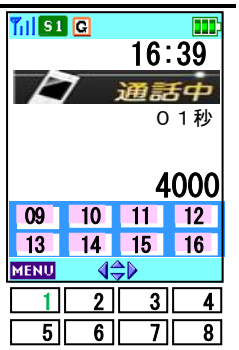
1 ラインキー非運用面へ着信があると、画面に表示されているラインキーの淵が赤く点滅します。

2 を長押しすると、非運用面のラインキーが表示され、該当するラインキーボタンが赤の早い点滅をします。



3 赤の早い点滅をしているラインキーボタンを押す。

ラインキー発信設定が「ツータッチ」に設定されているときは、ラインキーボタンを押してから を押します。



補足説明

●ラインキー使用数の設定については、「ラインキーの使用数を設定する」（１２７ページ）をご覧ください。

●ラインキー発信設定については、「ラインキーをワンタッチ／ツータッチで使う」（１２５ページ）をご覧ください。

電話を受ける（つづき）

補足説明

●ラインキーへの着信の場合、表示部に電話番号が表示されません。

●ラインキーを押して応答した場合に他の人が先に応答していた場合は、「ツーツーツー…」という音がしますので（電源）を押してください。

●ラインキー着信中に内線着信等の個別着信があった場合は、ラインキーボタンへの着信には応答できません。（ラインキーを押しても内線着信等の着信応答になります。）

●ラインキーの着信表示は自分のグループエリアから外れると表示できなくなります。

●ラインキーを押して着信応答する場合、ラインキーを押してから相手の方と話すまでに時間がかかることがあります。

●本電話機は、電波を使用しているのでラインキー着信の応答時、まれに失敗する場合があります（無線区間のリンク確立失敗）。このときビジートーンが一定時間聞こえた後、待ち受け状態に戻ります。この場合は、再度ラインキーを押して応答操作を行ってください。

●相手の声が聞き取りにくいときは、「受話音量を調節する（９７ページ）」をご覧ください。

●着信音の鳴り方を変えたいときは、「着信音を設定する（９４ページ）」をご覧ください。

●着信音のほかにバイブレータ着信を利用したいときは、「バイブレータを設定する（９８ページ）」をご覧ください。

●ラインキーの状態を常に表示させるか、一定時間で消灯させるかの設定をするには、「ラインキーのランプ表示を設定する（１２０ページ）」をご覧ください。

●ラインキー名称を画面に表示するかしないかの設定をするには、「ラインキーを画面に表示させる（１２１ページ）」をご覧ください。

●ラインキー着信時に着信鳴動をするかしないかの設定をするには、「ラインキー着信音を鳴らないようにする（１２２ページ）」をご覧ください。

●ラインキーの割付設定に関しては、「ラインキーに機能を設定する（１２３ページ）」をご覧ください。

●ラインキーをワンタッチまたはツータッチで使用する設定をするには、「ラインキーをワンタッチ／ツータッチで使う（１２５ページ）」をご覧ください。

●ラインキーの名称を設定するには、「ラインキーの名称の編集する（１２６ページ）」をご覧ください。

●ラインキーとして使用できる数を８個または１６個に設定するには、「ラインキーの使用数を設定する（１２７ページ）」をご覧ください。

●ラインキーの運用面を変更するには「ラインキーの運用面を変更する（１２８ページ）」をご覧ください。

電話を保留する／転送する

外の相手の方からかかってきた電話や、内線を使ってかかってきた電話を、保留したり転送することができます。

電話を保留する

1 **お話し中に 保留/クリア を押す。**

相手の方に保留メロディが流れます。
ラインキーを使用して通話している場合、使用しているラインキーボタンが緑で遅い点滅（保留状態）になります。
内線とお話し中の場合、グループ保留／共通保留として設定してあるボタンが緑で遅い点滅（保留状態）になります。

補足説明

- お使いになっているＰＢＸ（構内交換機）によって、保留メロディが異なります。
- 保留時に表示部の下段に表示される文字は、お使いになっているＰＢＸ（構内交換機）により異なります。

保留に応答する

1 **ラインキーの保留に応答する場合、緑で遅い点滅をしている外線ボタンを押す。**
内線の場合はグループ保留／共通保留の設定してあるボタンを押す。

ラインキー発信設定が「ツータッチ」に設定されているときは、ラインキーボタンを押してから を押します。

補足説明

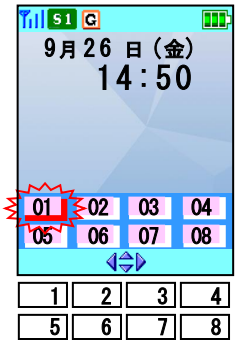
- お話し中の相手を別の内線で保留応答する場合、ラインキーにストレートライン又はグループ保留／共通保留を設定しておく必要があります。（販売店設定）
- ラインキー発信設定については、「ラインキーをワンタッチ／ツータッチで使う」（１２５ページ）をご覧ください。

電話を保留する／転送する（つづき）

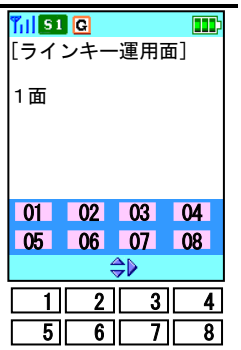
ラインキー非運用面への保留に応答する場合

ラインキーの使用数が１６個に設定されていて、ラインキー非運用面へ保留があった場合の応答操作です。

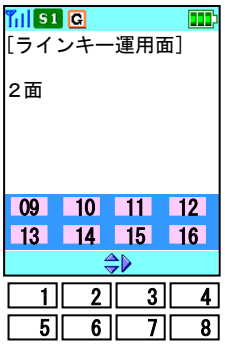
1 ラインキー非運用面への保留があると、画面に表示されているラインキーの淵が赤く点滅します。



2 を長押しすると、現在使用している運用面のラインキーが表示されます。

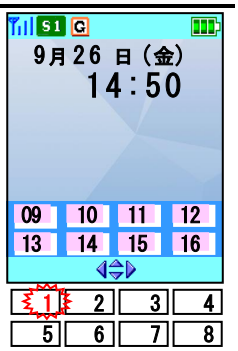


3 で運用面を変更し、 を押す。



4 赤の遅い点滅をしているラインキーボタンを押す。

ラインキー発信設定が「ツータッチ」に設定されているときは、ラインキーボタンを押してから を押します。



補足説明

●ラインキー使用数の設定については、「ラインキーの使用数を設定する」（１２７ページ）をご覧ください。

●ラインキー発信設定については、「ラインキーをワンタッチ／ツータッチで使う」（１２５ページ）をご覧ください。

電話を保留する／転送する（つづき）

電話を転送する

お話し中に相手の方に待っていただき、電話を他の内線の電話機に転送します。その間、相手の方には保留メロディが流れます。

1 お話し中に 保留/転送 を押す。

2 ダイヤルボタンで転送先の内線番号をダイヤルする。
ダイヤル中に間違った番号を押したときは 保留/転送 を押して、はじめから番号をダイヤルし直します。

3 転送先の人が出たら、転送することを伝える。
転送先の人が出ないときは、もう一度 保留/転送 を約２秒長押しすると、相手の方とのお話しに戻れます。

4 電源 を押す。
電話が転送されます。

補足説明

●お使いになっているＰＢＸ（構内交換機）によっては、外からの電話は転送できないことがあります。

第3章

文字の入力

電話帳、簡易メール、予約アラーム、使用者名称表示機能では文字を使用します。この章では、文字入力の方法について説明します。

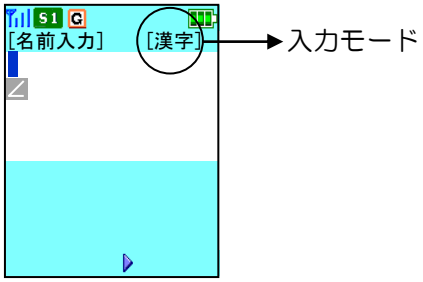
文字の入力方法

●文字の入力は、「電話帳」（４０ページ）、「簡易メール」（５９ページ）、「予約アラーム」（７４ページ）、「使用者名称表示」（９０ページ）、「ラインキー名称編集」（１２６ページ）で使用します。
●文字は、漢字・ひらがなやカナ（全角／半角）、英字（全角／半角）、数字（全角／半角）モードで入力することができます。
●ダイヤルボタンと文字の関係は、「ダイヤルボタンと文字の割り当て」（３９ページ）を参照してください。

入力モードの切り替え方

文字の入力モードを変更する場合は を押してください。押すたびに、入力モードが切り替わります。

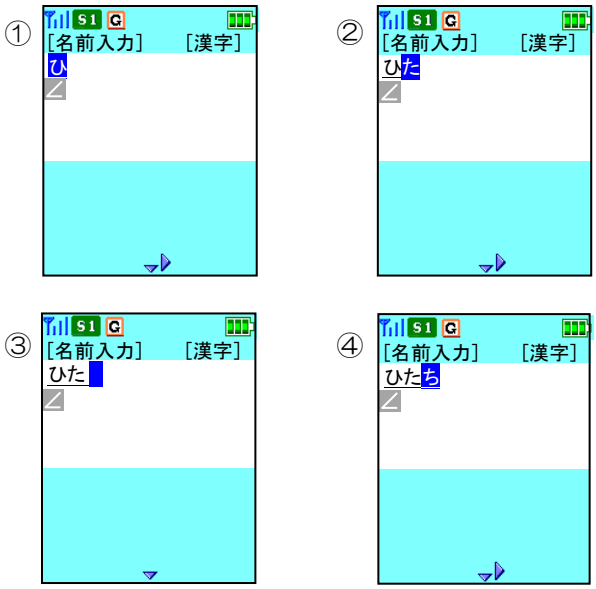
表示	モード
[漢字]	全角漢字
[カナ]	全角カナ
[ｶﾅ]	半角カナ
[ＡＢ]	全角英字
[AB]	半角英字
[１２]	全角数字
[12]	半角数字



文字入力のしかた

例として、「ひたち」と入力します。[漢字]入力モードであることを確認してください。

① 6MNO を２回押します。
② 4GHI を１回押します。
③ を１回押します。
④ 4GHI を２回押します。

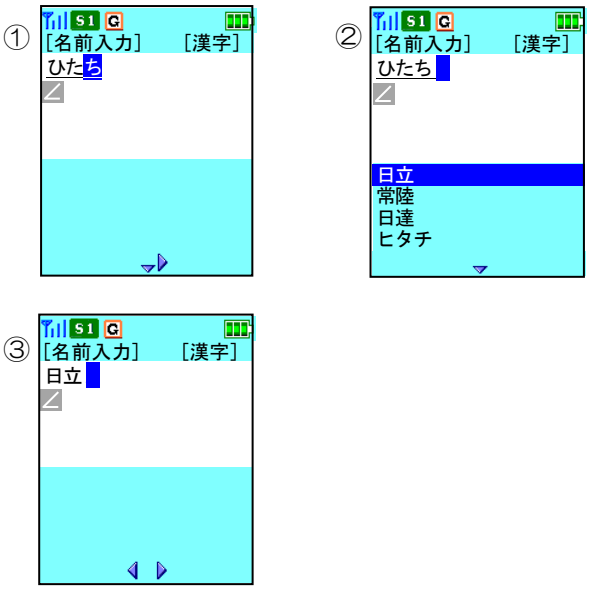


同じダイヤルボタンに割り当てられている文字を連続して入力するときは、 を押してカーソルを移動させます。
入力中の文字を訂正するときは 保留/クリア を押します。カーソル上の文字が消えるので、正しい文字を入力し直します。

文字の変換をするには

例として、「ひたち」を「日立」に変換します。

①[漢字]入力モードで「ひたち」と入力します。
② を押して、 で「日立」を選びます。
（ でほかの候補を選ぶこともできます。）
③ を押して文字を確定します。



変換候補がある場合は文字に下線がついています。
を押して文字を確定すると下線は消えます。文字を確定した後では変換できません。また、[漢字]入力モード以外では、文字の変換はできません。

文字の入力方法（つづき）

スペースを入れるには

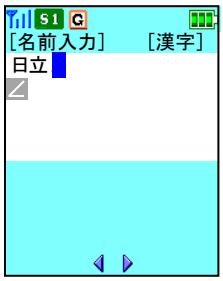
文字入力の途中でスペースを入れる場合と、確定した文字の間に後からスペースを入れる場合に分けて説明します。

例として､｢日立｣と入力した後にスペースを入れます。

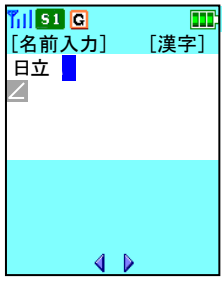
①「日立」と入力します。

② を押します。

①



②



この場合のスペースは、どの入力モードでも半角のスペースになります。

例として、文字が確定している「日立太郎」にスペースを入れて、「日立　太郎」にします。
入力モードを[ＡＢ]または[AB]にしてください。
[ＡＢ]は全角、[AB]は半角です。

① で「太」にカーソルを合わせます。

② 0 わ 記号 を８回押します。

①

②

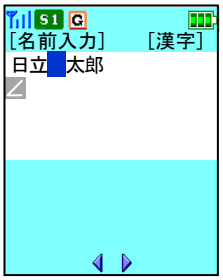
文字を削除するには

例として､「日立　太郎」のスペースを削除して「日立太郎」にします。

① でスペースの部分にカーソルを合わせます。

② 保留 クリア を押します。

①



②

文字をすべて削除したい場合は 保留 クリア を長押しします。
カーソルの位置に関係なく、すべての文字が削除されます。

ダイヤルボタンと文字の割り当て

入力モード / 入力ボタン	「漢字」(全角)	「カナ」(全角)	「ｶﾅ」(半角)	「ＡＢ」(英字全角)	「AB」(英字半角)	「１２」(数字全角)	「12」(数字半角)
1 あ @	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	@	@	１	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ｶｷｸｹｺ	ＡＢＣ ａｂｃ	ABC abc	２	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	ｻｼｽｾｿ	ＤＥＦ ｄｅｆ	DEF def	３	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	ＧＨＩ ｇｈｉ	GHI ghi	４	4
5 °な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	ﾅﾆﾇﾈﾉ	ＪＫＬ ｊｋｌ	JKL jkl	５	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	ＭＮＯ ｍｎｏ	MNO mno	６	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	ﾏﾐﾑﾒﾓ	ＰＱＲＳ ｐｑｒｓ	PQRS pqrs	７	7
8 や TUV	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	ＴＵＶ ｔｕｖ	TUV tuv	８	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	ＷＸＹＺ ｗｘｙｚ	WXYZ wxyz	９	9
0 わ 記号	わをん ー・、。	ワヲン ｰ・、。	ﾜｦﾝ ｰ・、。	．，’ ー：（ ） □(ｽﾍﾟｰｽ)！ ？＿￥	.,’ -:() □(ｽﾍﾟｰｽ)! ?_¥	０	0
＊ ゛゜	゛ ゜	゛ ゜	゛ ゜			＊	＊
# マナー	改行※	改行※	改行※	改行※	改行※	＃	#
	カーソル上のひらがなを漢字に変換します。						
	カーソルを左へ移動します。						
	カーソルを右へ移動します。						
保留/クリア	カーソル上の文字を１文字消去します。長押し時は文字を全削除します。変換中は変換前に戻ります。						
フック/文字	入力のモードを切り替えます。						
電源	入力を中断します。（入力画面を閉じます。）						

※簡易メールでの文字入力（６０ページ）や予約アラームでの用件入力（７４ページ）時のみ有効です。

第４章

電話帳の使い方

デジタルコードレス電話機には１０００件までの電話番号などを登録できます。よく電話をかける相手先の電話番号を登録しておくと、簡単な操作で電話をかけられて便利です。

電話帳を登録する

●電話帳１件につき、電話番号が１番号のみ登録する場合、最大１０００件のデータを登録することができます。

●文字入力の方法については「文字の入力方法」（３７ページ）をご覧ください。ダイヤルボタンと文字の関係は、「ダイヤルボタンと文字の割り当て」（３９ページ）を参照してください。

●電話番号の最大登録数が１０００番号ですので、電話帳１件につき２番号以上の登録があると、その分、電話帳の最大登録件数が減っていきます。（例：電話帳１件につき電話番号を２番号ずつ登録した場合、電話帳の最大登録件数は５００件になります）

●電話番号は電話帳１件につき、最大３番号まで登録することができます。

●電話帳の名前として登録可能な文字数は、全角で１０文字分、半角で 20 文字分です。

●読み仮名に登録可能な文字は半角のカナ・英字・数字・記号です。

●電話番号は最大２４桁まで登録できます。

●グループは「なし、０１～１０」の１１種類です。

●メモリ番号は「０００～９９９」です。ただし、電話帳１件につき、２番号以上の電話番号を登録した場合は、メモリ番号の最大値が変化します。

●文字入力中に文字を間違えたり、入力操作を戻る場合は 保留/クリア を押してください。また、途中で操作を終了するときは 電源 を押してください。

●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

●電話帳は、専用の電話帳ツールを使って、パソコン上で編集することもできます。詳細は保守担当者へお問い合せください。

お願い

重要な内容（登録した方の名前や電話番号など）は必ず紙などに控えておいてください。

電話機は、使用を誤ったとき、静電気、電気的なノイズの影響を受けたとき、また、故障したときや修理するときなどに記憶内容が変化・消失することがあります。
本商品の故障、誤操作、不具合などにより、利用の機会を逸したために発生した損害および記憶内容が正しく保存、呼び出しができないことによって発生した損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電話帳登録の流れ

①名前を登録する

②読み仮名を登録する

③グループを選択する

④電話番号１を登録する

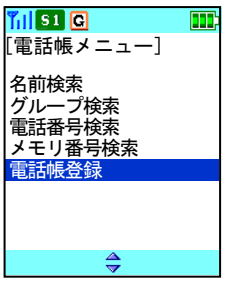
⑤電話番号２を登録する

⑥電話番号３を登録する

⑦メモリ番号を登録する

電話帳を登録する（つづき）

1 (転送)を押し、○で「電話帳登録」を選び、○を押す。



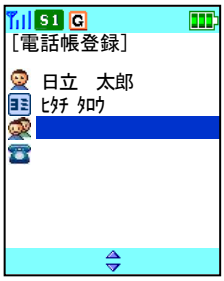
2 ○で 👤 を選び、○を押す。

3 ダイヤルボタンで名前を入力し、○を押す。

4 読み仮名を確認する。（訂正する場合は、○で 📇 を選び、○を押し、読み仮名を訂正します。）

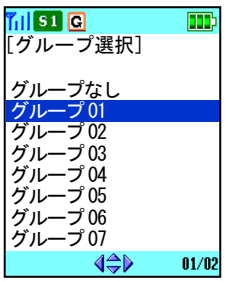
読み仮名に登録可能な文字は半角のカナ・英字・数字・記号のみです。

5 ○で 👥 を選び、○を押す。

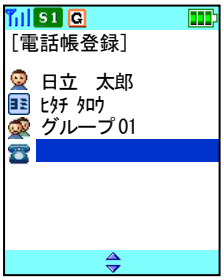


6 ○でグループを選び、○を押す。

グループは「なし・０１～１０」の１１種類です。グループに名称が設定されている場合は、その名称が表示されます。グループを指定せずに登録した場合は、グループなしに自動登録されます。



7 ○で ☎ を選び、○を押す。



8 ダイヤルボタンで電話番号１を入力し、○を押す。

9 電話番号２・３を登録する場合は、電話番号の空いている ☎ を選び、電話番号を入力する。

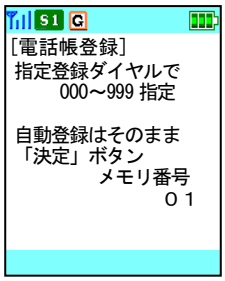
２つめの ☎ は電話番号１が設定されている場合に表示されます。３つめの ☎ は電話番号１・２が設定されている場合に表示されます。

電話帳を登録する（つづき）

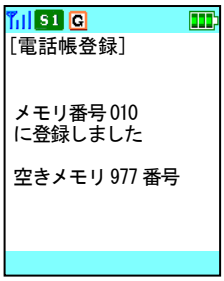
10 ○で「電話帳に登録」を選び、○を押す。

11 ダイヤルボタンで
メモリ番号（3桁）
を入力する。

メモリ番号の3桁目を押すと、登録されます。（3桁目は表示されません）
自動登録する場合は ○ を押します。

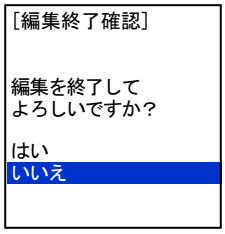


12 登録されると、右記画面を約2秒間表示し、手順1の画面に戻ります。



補足説明

●手順3～手順11の間に（電源）を押した場合には右記画面が表示されます。「はい」を押した場合は待ち受け画面へ移動します。「いいえ」を押した場合は電話帳登録画面へ戻ります。

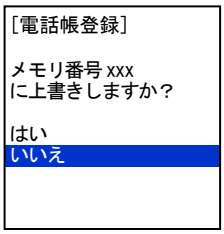


●「電話番号」を入力しないと電話帳に登録することができません。「名前」が未入力の場合は、検索結果の一覧表示では、名前の変わりに“－－－”が表示されます。

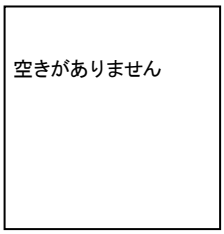
●メモリ番号を指定せずに自動登録する場合は、メモリ番号010～999の空いている番号の若番から登録されます。

●メモリ番号000～009は指定登録でのみ、登録が可能です。また、メモリ番号010～999がすべて登録済みの場合は、メモリ番号に「！！！」が表示されます。

●指定したメモリ番号がすでに登録されている場合には右記画面が表示されます。「いいえ」を選んだ場合は手順11の画面に戻ります。



●電話帳に空きメモリがない場合は右記画面を約2秒間表示し、手順11の画面に戻ります。



日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のミニＷｎｎを使用しています。
"Mini Wnn" (c) OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2000-2002 All Rights Reserved

発信／着信履歴から電話帳に登録する

発信／着信履歴から電話帳に登録することができます。

その前に・・・

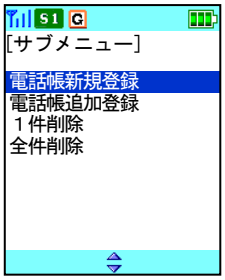
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

新規登録をする場合

1 ○を押し、発信／着信履歴から新規に登録するリストを ○ で選び、メール転送 を押す。

リストを選んだ後に ○ を押すと履歴の詳細画面に移ります。履歴の詳細画面を表示後に メール転送 を押しても構いません。

2 ○で「電話帳新規登録」を選び、○ を押す。



3 ○で各項目を設定し、電話帳に登録する。

設定の方法は「電話帳を登録する」（４１ページ）をご覧ください。

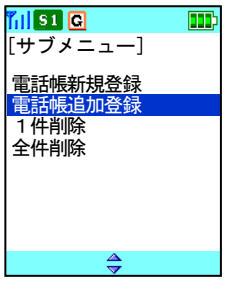
発信／着信履歴から電話帳に登録する（つづき）

追加登録をする場合

1 ●を押し、発信／着信履歴から追加する電話番号のリストを ●で選び、(転送)を押す。

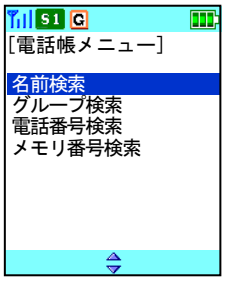
リストを選んだ後に ●を押すと履歴の詳細画面に移ります。履歴の詳細画面を表示後に (転送) を押しても構いません。

2 ●で「電話帳追加登録」を選び、● を押す。



3 追加する電話帳を検索する。

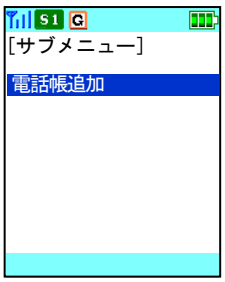
電話帳の検索については「電話帳を検索する」（４９ページ）をご覧ください。



4 (転送)を押す。

5 ●を押す。

追加する電話帳に、すでに３件の電話番号が登録されている場合は「追加登録できません」と約２秒間表示し、手順３に戻ります。



6 「電話帳に登録」を選び、● を押す。

この後の登録方法は「電話帳を登録する」（４１ページ）をご覧ください。

電話帳のグループを設定する

電話帳で設定するグループに、「名称」「着信音」「着信色」を設定することができます。

その前に・・・

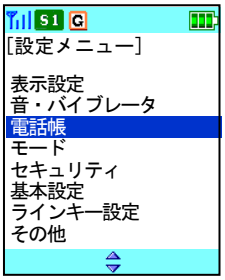
- ●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- ●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。
- ●文字入力の方法については「文字の入力方法」（３７ページ）をご覧ください。ダイヤルボタンと文字の関係は、「ダイヤルボタンと文字の割り当て」（３９ページ）を参照してください。

グループ名称を設定する

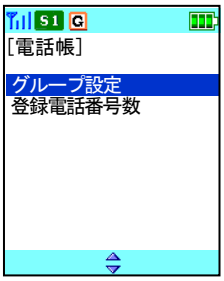
グループ名称は、全角８文字（半角１６文字）まで入力することができます。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

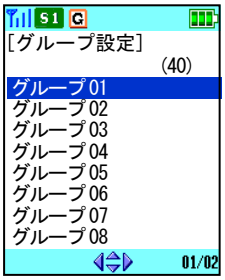
2 ○で「電話帳」を選び、○を押す。



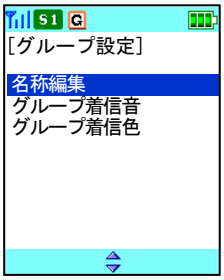
3 ○で「グループ設定」を選び、○を押す。



4 ○で設定するグループを選び、○を押す。



5 ○で「名称編集」を選び、○を押す。

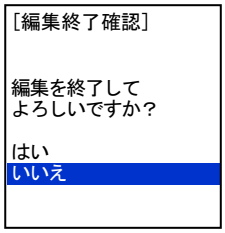


6 名称を入力し、○を押す。

手順５の画面に戻ります。

補足説明

- ●グループ名称を登録できるのはグループ０１～１０です。「グループなし」には登録できません。
- ●手順６でグループ名称を編集するのをやめたい場合は、手順５の画面が出るまで 保留/クリア を数回押してください。
- ●手順６の編集途中で 電源 を押すと、右記画面を表示します。「はい」を選んだ場合、登録せずに待ち受け画面に戻ります。「いいえ」を選んだ場合、手順６の画面に戻ります。

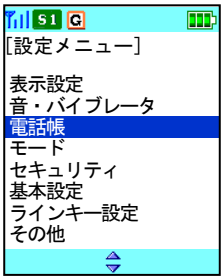


電話帳のグループを設定する（つづき）

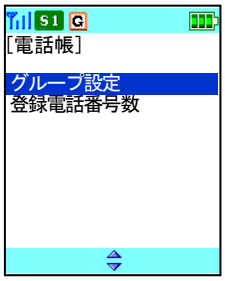
グループ着信音を設定する

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

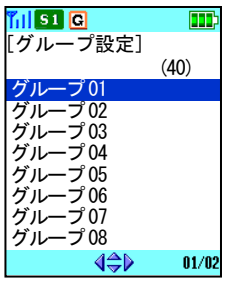
2 ○で「電話帳」を選び、○を押す。



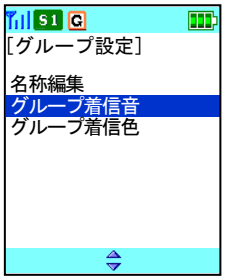
3 ○で「グループ設定」を選び、○を押す。



4 ○で設定するグループを選び、○を押す。

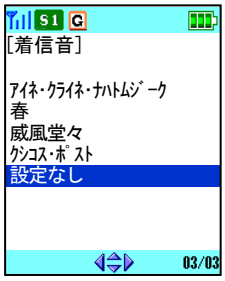


5 ○で「グループ着信音」を選び、○を押す。



6 ○で着信音を選び、○を押す。

手順５の画面に戻ります。



補足説明

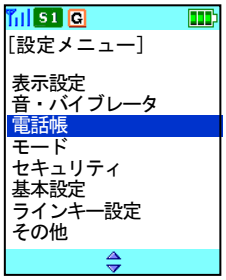
●手順６で○を押し、音源を移動したときには、着信音が鳴り確認することができます。（マナーモード設定およびサイレント着信設定時は鳴動しません。）

電話帳のグループを設定する（つづき）

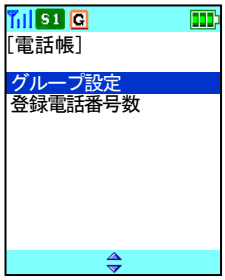
グループ着信色を設定する

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

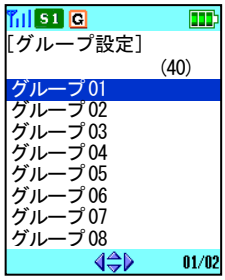
2 で「電話帳」を選び、 を押す。



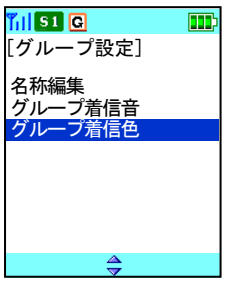
3 で「グループ設定」を選び、 を押す。



4 で設定するグループを選び、 を押す。



5 で「グループ着信色」を選び、 を押す。



6 で色パターンを選び、 を押す。

手順５の画面に戻ります。

グループ着信色の種類

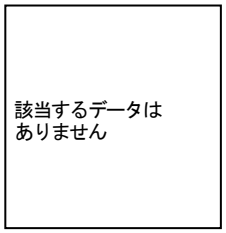
色パターン１	黒	
色パターン２	赤	
色パターン３	深緑	
色パターン４	青	
色パターン５	橙	
色パターン６	水色	
色パターン７	紫	

電話帳を検索する

登録した電話帳を名前検索、グループ検索、電話番号検索、メモリ番号検索で表示させることができます。

その前に・・・

- ●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- ●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。
- ●電話帳に該当するデータが登録されていないときは、下記画面を約２秒間表示し、手順１の画面に戻ります。

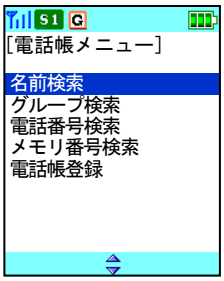


名前検索

登録されている「読み仮名」の先頭から何文字かを入力して検索することができます。

1 電話帳 を押し、○ で「名前検索」を選び、○ を押す。

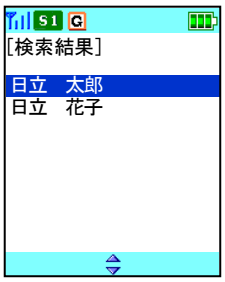
待ち受け画面で ○ を押すと、手順２へスキップします。



2 検索する名前を入力し、○ を押す。

何も入力せずに ○ または ○ を押すと、五十音順で先頭のページを、○ を押すと最終のページを表示します。

3 ○ で表示させたいリストを選び、○ を押す。



4 電話帳の内容が表示されます。

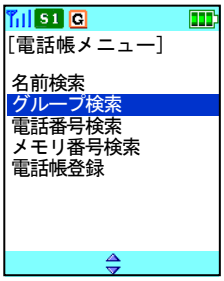
○ または ○ を押すと次の電話帳、○ または ○ を押すと前の電話帳が表示されます。

電話帳を検索する（つづき）

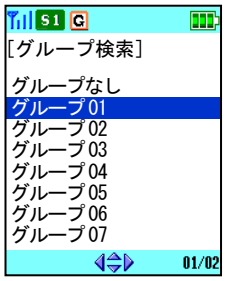
グループ検索

1 (転送)を押し、○で「グループ検索」を選び、○を押す。

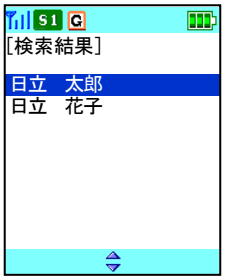
待ち受け画面で○を押すと、手順２へスキップします。



2 ○で検索するグループを選び、○を押す。



3 ○で表示させたいリストを選び、○を押す。



4 電話帳の内容が表示されます。

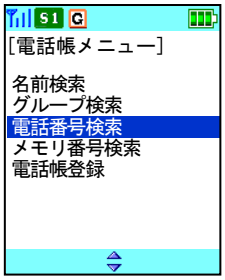
○または○を押すと次の電話帳、○または○を押すと前の電話帳が表示されます。

電話帳を検索する（つづき）

電話番号検索

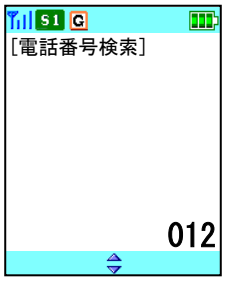
登録されている「電話番号」の先頭から何桁かを入力して検索することができます。

1 【/転送】を押し、【◎】で「電話番号検索」を選び、【◎】を押す。

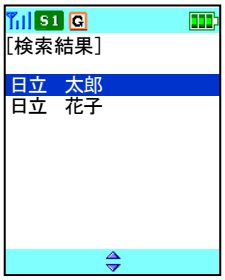


2 検索する電話番号を入力し、【◎】を押す。

何も入力せずに【◎】または【◎】を押すと、五十音順で先頭のページを、【◎】を押すと最終のページを表示します。



3 【◎】で表示させたいリストを選び、【◎】を押す。



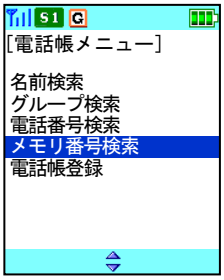
4 電話帳の内容が表示されます。

【◎】または【◎】を押すと次の電話帳、【◎】または【◎】を押すと前の電話帳が表示されます。

電話帳を検索する（つづき）

メモリ番号検索

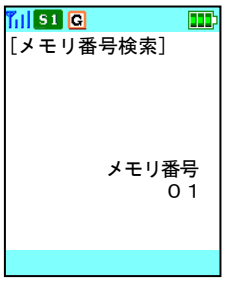
1 【/転送】を押し、【◎】で「メモリ番号検索」を選び、【◎】を押す。



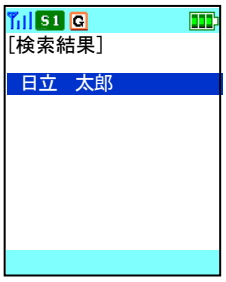
2 検索するメモリ番号を入力する。

３桁目は表示されません。

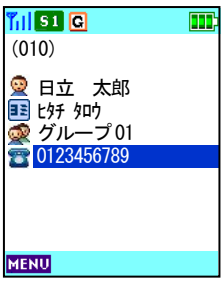
何も入力せずに【◎】または【◎】を押すと、メモリ番号順で先頭のページを、【◎】を押すと最終のページを表示します。



3 【◎】を押す。



4 電話帳の内容が表示されます。



電話帳を検索して電話をかける

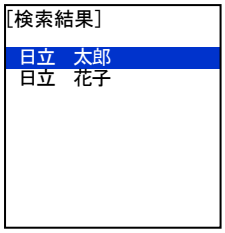
登録した電話帳を「名前検索」「グループ検索」「電話番号検索」「メモリ番号検索」で検索し、電話をかけることができます。

1 **電話帳を検索し、おかけになる電話番号を ○ で選び、📞 を押す。**

2 表示されていた電話番号が点滅をはじめます。
レシーバからしばらく「プップップ…」という音がしたあと、「ルルル…」という呼出音が聞こえます。

補足説明

●電話帳に電話番号が複数登録されている場合、右記の検索結果画面から電話をかけるリストを選んだ後に、📞 を押すと、電話番号１に発信されます。



●登録済みの特番を設定して電話をかける場合は、電話帳を表示した後で 保留/クリア を２秒以上押すと、電話番号の先頭に登録済みの特番が設定されます。特番を解除したいときは 保留/クリア を２秒以上押します。

●電話帳に電話番号が２つ設定されていて、詳細表示にしていないときに特番を設定した場合は、電話番号１に特番が設定されます。特番の登録方法は、「特番を設定する」（１３５ページ）をご覧ください。

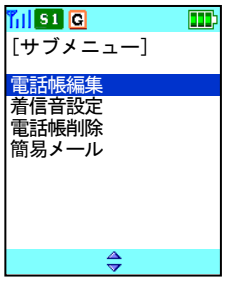
電話帳を編集する

電話帳に登録した内容を編集することができます。電話帳から該当するものを検索した後、編集を行います。

1 **電話帳を検索し、修正する電話帳を表示させ (電話帳/転送) を押す。**

電話帳の検索方法は、「電話帳を検索する」（４９ページ）をご覧ください。

2 **(ジョグダイヤル) で「電話帳編集」を選び、(ジョグダイヤル) を押す。**



3 **電話帳を修正する。**

電話帳の修正方法は、「電話帳を登録する」（４１ページ）をご覧ください。

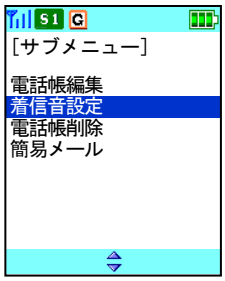
電話帳に個別着信鳴り分けを設定する

着信時に、電話をかけてきた方の発信者番号が電話帳に登録してある番号と一致し、電話帳に着信音設定がされている場合は、設定した着信音で鳴動させることができます。

1 着信音を設定する電話帳を表示させ(転送)を押す。

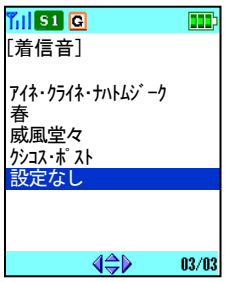
電話帳の検索方法は、「電話帳を検索する」（４９ページ）をご覧ください。

2 ●で「着信音設定」を選び ● を押す。



3 ●で着信音を選び ● を押す。

手順１の画面に戻ります。



補足説明

- 着信音の設定を解除するには、手順３で「設定なし」を選びます。
- 着信鳴り分けの優先順位については、「着信音を設定する」（９４ページ）をご覧ください。

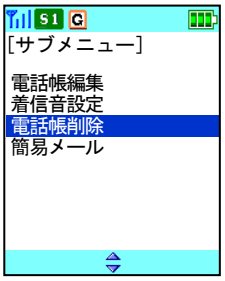
電話帳を削除する

電話帳に登録した内容を削除することができます。電話帳から該当するものを検索した後、削除を行います。

1 **電話帳を検索し、削除する電話帳を表示させ(電話帳検索)を押す。**

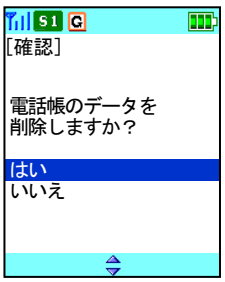
電話帳の検索方法は、「電話帳を検索する」（４９ページ）をご覧ください。

2 **で「電話帳削除」を選び、 を押す。**



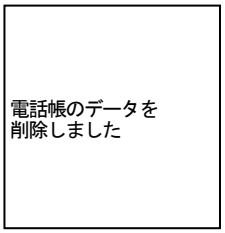
3 **で「はい」を選び、を押す。**

「いいえ」を選んだ場合は手順１の画面に戻ります。



補足説明

手順３で「はい」を選んだ場合は、右記画面が表示されます。



お願い

重要な内容（登録した方の名前や電話番号など）は必ず紙などに控えておいてください。

電話機は、使用を誤ったとき、静電気、電気的なノイズの影響を受けたとき、また、故障したときや修理するときなどに記憶内容が変化・消失することがあります。

本商品の故障、誤操作、不具合などにより、利用の機会を逸したために発生した損害および記憶内容が正しく保存、呼び出しができないことによって発生した損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電話帳へのアクセスを禁止する

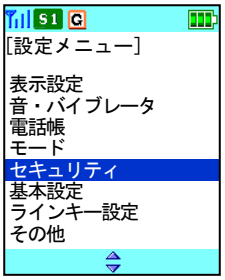
電話帳へのアクセスを禁止できます。禁止を設定した場合、電話帳の検索／登録／修正／消去ができなくなります。
お買い上げ時は、「機能なし」に設定されています。

その前に・・・

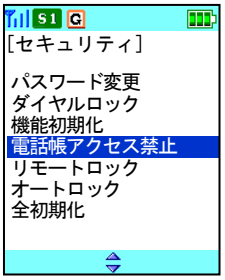
- 途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- 操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「セキュリティ」を選び、○を押す。

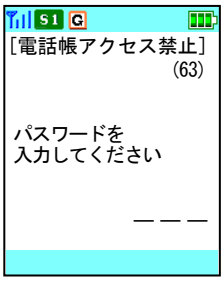


3 ○で「電話帳アクセス禁止」を選び、○を押す。



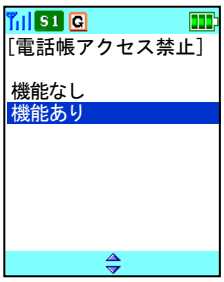
4 ダイヤルボタンでパスワードを入力する。

4桁目は表示されません。



5 ○で「機能あり」を選び、○を押す。

手順3の画面に戻ります。



補足説明

- 電話帳アクセス禁止中に電話帳に関する操作を行うと、右記画面が表示されます。

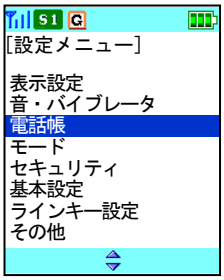
- 電話帳アクセス禁止を解除する場合は、手順5で「機能なし」を選びます。
- パスワードについては「パスワードを変更する」（107ページ）をご覧ください。

電話帳の登録電話番号数を確認する

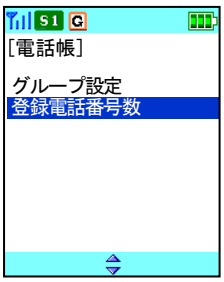
電話帳に登録されている電話番号数を確認することができます。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「電話帳」を選び、 を押す。

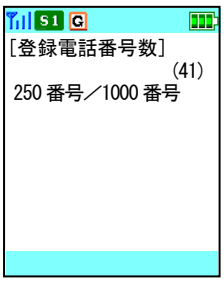


3 で「登録電話番号数」を選び、 を押す。



4 登録電話番号数が表示されます。

電源 を押すと、待ち受け画面に戻ります。



第５章

簡易メール機能

簡易メール機能を使用し、簡単な文字情報を送受信することができます。送信ＢＯＸには３０件、受信ＢＯＸには５０件のメールを保存することができます。また、送信ＢＯＸを使って簡易メールを再編集したり、受信ＢＯＸを使って簡易メールを返信することができます。

簡易メールを作成／送信する

その前に･･･

●簡易メール本文の最大入力文字数は全角で４０文字、半角で８０文字です。

●文字入力の方法については「文字の入力方法」（３７ページ）をご覧ください。ダイヤルボタンと文字の関係は、「ダイヤルボタンと文字の割り当て」（３９ページ）を参照してください。

●送信ＢＯＸに「上書き禁止」の設定がされている場合で、送信ＢＯＸに既に３０件のメールが保存されている場合、または、送信ＢＯＸの「上書き禁止」の設定に関係なく、３０件のメールがすべて保護されている場合は、簡易メールを作成することはできません。送信ＢＯＸ内にある必要のないメールを削除し、再度、簡易メールを作成してください。送信ＢＯＸの上書き可否については、「送信ＢＯＸの上書き可否を設定する」（６９ページ）、簡易メールの保護については「簡易メールを保護する」（６７ページ）、メールを削除するには「簡易メールを削除する」（７０ページ）をご覧ください。

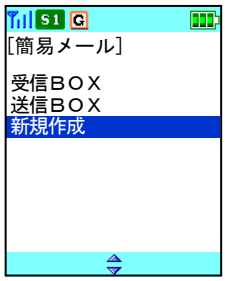
●お使いになっているＰＢＸ（構内交換機）によっては、簡易メール機能の送受信ができないことがあります。

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、● で「メール」を選び、○を押す。

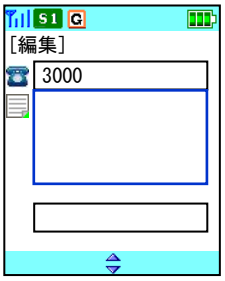
2 ○で「新規作成」を選び、○ を押す。



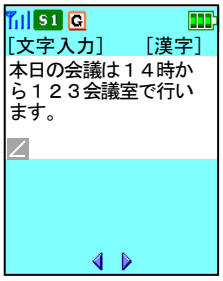
3 ○で☎を選び、○を押す。

4 送信先の番号をダイヤルし、○を押す。

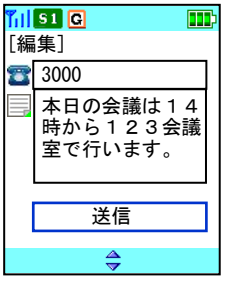
5 ○で📝を選び、○を押す。



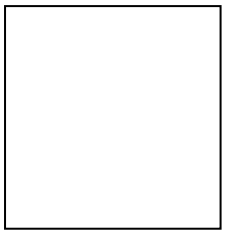
6 メッセージを入力し、○を押す。

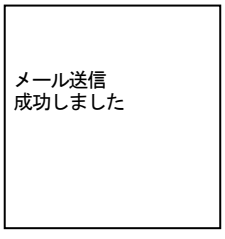


7 ○で「送信」を選び、○を押す。



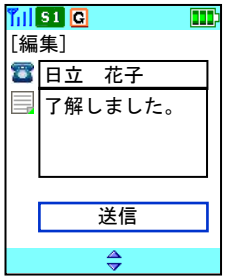
8 メールが送信されます。





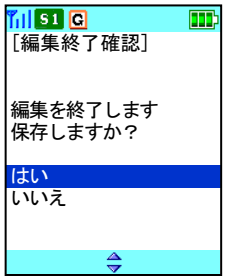
簡易メールを作成／送信する（つづき）

9 保留/クリア または 電源 を を押す。



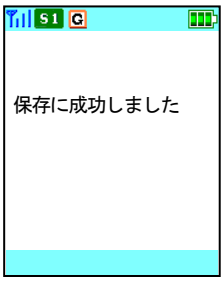
10 「はい」または「いいえ」を選び、○を押す。

「いいえ」を選ぶと、手順２の画面に戻ります。



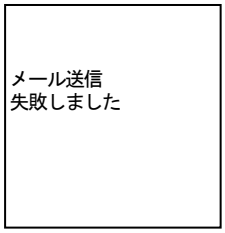
11 「はい」を選ぶと右記画面を表示し、手順２の画面に戻ります。

送信ＢＯＸに保存されます。

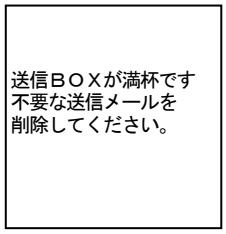


補足説明

●メールの送信に失敗したときは、右記画面が表示されます。保留/クリア 、電源 または ○を押すと手順７に戻ります。（送信ＢＯＸには保存されません。）



●手順２で「新規作成」がグレーアウトしているときは、送信ＢＯＸが最大保存数（３０件）に達しているため、簡易メールを新規に作成することはできません。この状態で「新規作成」を選択すると、右記画面が表示されます。送信ＢＯＸ内にある必要のないメールは削除してください。メールを削除するには「簡易メールを削除する」（７０ページ）をご覧ください。



●手順８で、送信ＢＯＸに「上書き禁止」の設定がされている場合で、送信メールが３０件に達した場合は、手順 ２ の画面に戻ります。送信ＢＯＸの上書き可否については、「送信ＢＯＸの上書き可否を設定する」（６９ページ）をご覧ください。

●簡易メール作成途中で着信があった場合、作成中のメールは送信ＢＯＸに保存され、着信画面に移ります。（ただし、電話番号・文字入力が確定したところまでです。ダイヤル入力画面・文字入力画面で作成途中の電話番号やメッセージは保存されません。）

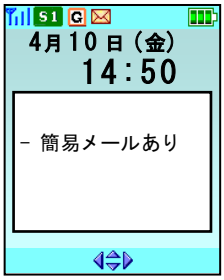
●電話機の設定によって簡易メールの使用が制限されていると、手順１で「メール」を選んだ後に、「簡易メールは使用制限されています」と表示されます。詳細は保守担当者へお問い合わせください。

簡易メールを閲覧する

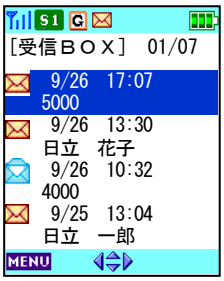
受信した簡易メールを閲覧する

1 簡易メールを受信したら、○を押す。

保留/クリア を押すと、待受け画面に戻ります。

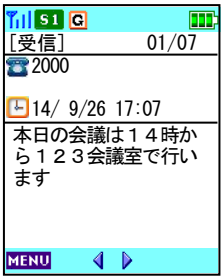


未読メール（ ）を確認し、○を押す。



3 簡易メールを閲覧する。

○を押すと次のメール、○を押すと前のメールへ移動します。
保留/クリア を押すと、手順２の画面へ、電源 を押すと、待ち受け画面に戻ります。



補足説明

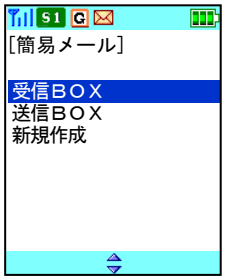
- ●受信ＢＯＸに保存できる簡易メールは最大５０件です。
- ●受信ＢＯＸ内のメールが５０件（最大保存数）に達したときは、待ち受け画面の上段のピクト（ ）が点滅します。
- ●受信ＢＯＸの未読メールは 、既読メールは で表示されます。
- ●受信ＢＯＸ内のメールが５０件（最大保存数）のときに簡易メールの着信があった場合は、保護されていないメールを日付の古いものから削除します。

簡易メールを閲覧する（つづき）

受信／送信ＢＯＸの簡易メールを閲覧する

1 ●を押し、●で「メール」を選び、●を押す。

2 ●で「受信ＢＯＸ」または「送信ＢＯＸ」を選び、● を押す。



3 ●で閲覧したい受信メールを選び、●を押す。

補足説明

●メールが１件もないときは、「メールがありません」と表示され、手順２に戻ります。
●送信ＢＯＸに保存できる簡易メールは最大３０件、受信ＢＯＸに保存できる簡易メールは最大５０件です。
●送信ＢＯＸの送信済みメールは 、未送信メールは で表示されます。
●受信ＢＯＸの既読メールは 、未読メールは で表示されます。
●受信ＢＯＸ内のメールが５０件に達したときは、ピクト（ ）が点滅します。
●受信ＢＯＸ内のメールが５０件のときに簡易メールの着信があった場合は、保護されていないメールを日付の古いものから削除します。

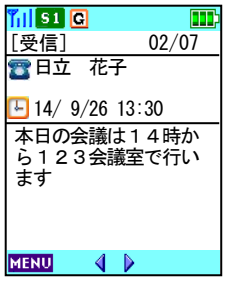
簡易メールを返信する

1 ○を押し、○で「メール」を選び、○を押す。

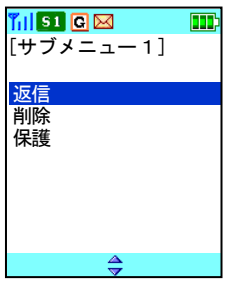
2 ○で「受信BOX」を選び、○を押す。

3 ○で返信したいメールを選び、○を押す。

4 転送を押す。

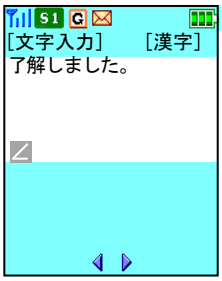


5 ○で「返信」を選び、○を押す。

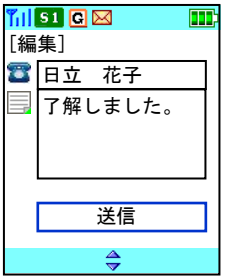


6 ○で○を選び、○を押す。

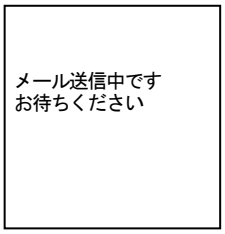
7 メッセージを入力し、○を押す。

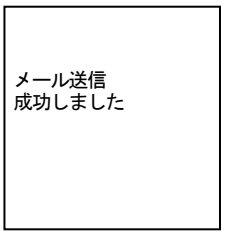


8 ○で「送信」を選び、○を押す。

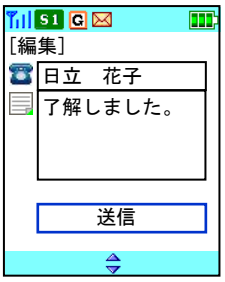


9 メールが送信されます。





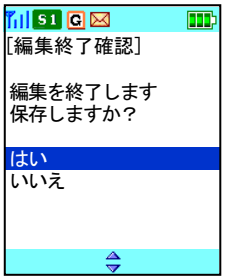
10 保留/クリアまたは電源を押す。



簡易メールを返信する（つづき）

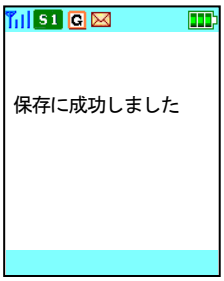
11 「はい」または「いいえ」を選び、を押す。

「いいえ」を選ぶと、手順２の画面に戻ります。



12 「はい」を選ぶと右記画面を表示し、手順２の画面に戻ります。

送信ＢＯＸに保存されます。

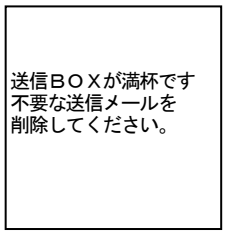


補足説明

●送信ＢＯＸに「上書き禁止」の設定がされている場合で、送信ＢＯＸに既に３０件のメールが保存されている場合、または、送信ＢＯＸの「上書き禁止」の設定に関係なく、３０件のメールがすべて保護されている場合は、簡易メールを返信することはできません。送信ＢＯＸ内にある必要のないメールを削除し、再度、簡易メールを返信してください。送信ＢＯＸの上書き可否については、「送信ＢＯＸの上書き可否を設定する」（６９ページ）、簡易メールの保護については「簡易メールを保護する」（６７ページ）、メールを削除するには「簡易メールを削除する」（７０ページ）をご覧ください。

●手順９で、送信ＢＯＸに「上書き禁止」の設定がされている場合で、送信メールが３０件に達した場合は、手順２の画面に戻ります。

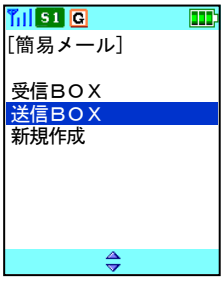
●「新規作成」がグレーアウトしているときは、送信ＢＯＸが最大保存数（３０件）に達しているため、簡易メールを新規に作成することはできません。この状態で「新規作成」を選択すると、下記画面が表示されます。



簡易メールを再編集する

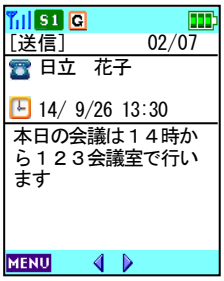
1 を押し、 で「メール」を選び、 を押す。

2 で「送信BOX」を選び、 を押す。

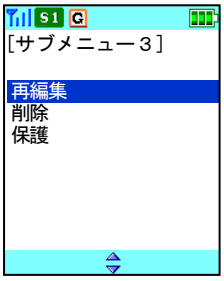


3 で再編集したい送信メールを選び、 を押す。

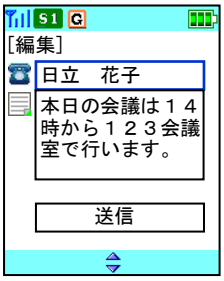
4 を押す。



5 で「再編集」を選び、 を押す。



6 簡易メールを再編集する。



補足説明

送信ＢＯＸに「上書き禁止」の設定がされている場合で、送信ＢＯＸに既に３０件のメールが保存されている場合、または、送信ＢＯＸの「上書き禁止」の設定に関係なく、３０件のメールがすべて保護されている場合は、簡易メールを再編集することはできません。送信ＢＯＸ内にある必要のないメールを削除し、再度、簡易メールを再編集してください。送信ＢＯＸの上書き可否については、「送信ＢＯＸの上書き可否を設定する」（６９ページ）、簡易メールの保護については「簡易メールを保護する」（６７ページ）、メールを削除するには「簡易メールを削除する」（７０ページ）をご覧ください。

簡易メールを保護する

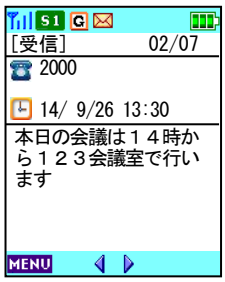
削除したくない大切なメールを保護することができます。

1 ○を押し、○で「メール」を選び、○を押す。

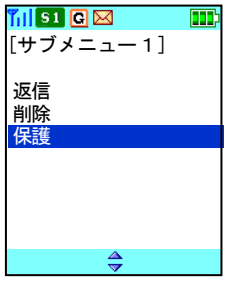
2 ○で「受信ＢＯＸ」または「送信ＢＯＸ」を選び、○を押す。

3 ○で保護したいメールを選び、○を押す。

4 伝送を押す。

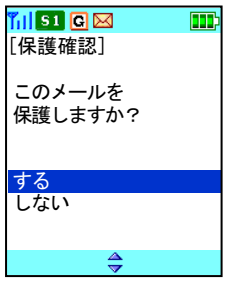


5 ○で「保護」を選び、○を押す。



6 ○で「する」を選び、○を押す。

手順４の画面に戻ります。
「しない」を選んだ場合は、手順５の画面に戻ります。

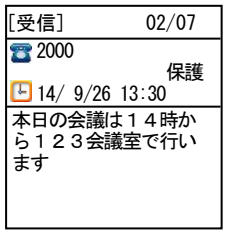


補足説明

●受信ＢＯＸ内のメールで保護ができる最大件数は４９件です。

●送信ＢＯＸ内で保護ができる最大件数は３０件です。３０件保護した場合は、簡易メールの「新規作成」「返信」「再編集」ができません。

●簡易メールを保護すると手順３および手順４の画面に「保護」と表示されます。



●受信ＢＯＸ内のメールが５０件のときに、新たに簡易メールの着信があった場合は、日付の古い保護されていないメールから順に、自動的に削除されます。

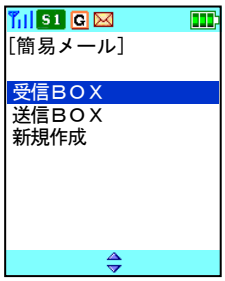
●送信ＢＯＸに「上書き許可」の設定がされている場合で、送信ＢＯＸ内のメールが３０件保存されているときに、新たにメールを作成する場合は、日付の古い保護されていないメールから順に、自動的に削除されます。送信ＢＯＸの上書き可否については、「送信ＢＯＸの上書き可否を設定する」（６９ページ）をご覧ください。

簡易メールを保護する（つづき）

保護を解除する場合

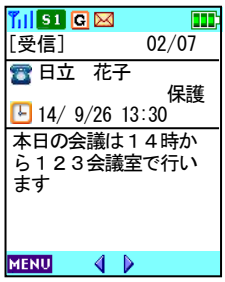
1 ●を押し、●で「メール」を選び、●を押す。

2 ●で「受信BOX」または「送信BOX」を選び、● を押す。



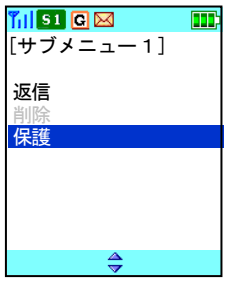
3 ●で保護を解除したいメールを選び、●を押す。

4 転送を押す。



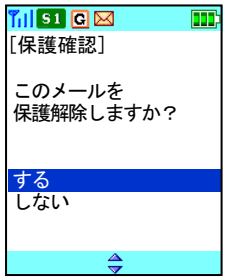
5 ●で「保護」を選び、● を押す。

保護されていると、「削除」はグレーアウトになり、選ぶことができません。



6 ●で「する」を選び、●を押す。

手順４の画面に戻ります。
「しない」を選んだ場合は、手順５の画面に戻ります。



送信ＢＯＸの上書き可否を設定する

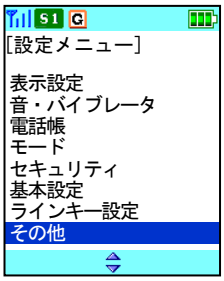
簡易メールの送信ＢＯＸに「上書き禁止」の設定がされていると、送信ＢＯＸ内のメールが３０件（最大保存数）保存されているときは、新たにメールを作成することができません。日付の古い保護されていないメールから順に、自動的に削除されるようにするには、簡易メールの送信ＢＯＸを「上書き許可」の設定にする必要があります。
お買い上げ時には、「上書き禁止」の設定がされています。

その前に･･･

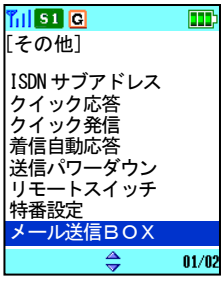
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、● で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「その他」を選び、● を押す。

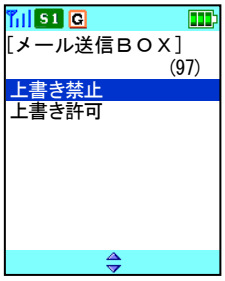


3 ○で「メール送信ＢＯＸ」を選び、● を押す。



4 ○で「上書き禁止」または「上書き許可」を選び、● を押す。

手順３の画面に戻ります。



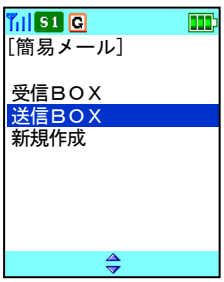
補足説明

●送信ＢＯＸに「上書き禁止」の設定がされている場合で、送信ＢＯＸ内のメールが３０件保存されているときは、簡易メールの「新規作成」「返信」「再編集」はできません。
●送信ＢＯＸに「上書き許可」の設定がされている場合で、送信ＢＯＸ内のメールが３０件保存されているときに、新たにメールを作成する場合は、日付の古い保護されていないメールから順に、自動的に削除されます。

簡易メールを削除する

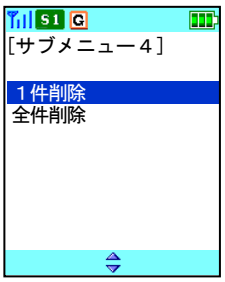
1 ○を押し、○で「メール」を選び、○を押す。

2 ○で「受信BOX」または「送信BOX」を選び、○を押す。



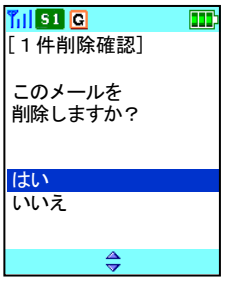
3 ○で削除したい受信メールまたは送信メールを選び、(転送)を押す。

4 ○で「1件削除」または「全件削除」を選び、○を押す。



5 ○で「はい」を選び、○を押す。

手順3の画面に戻ります。
「全件削除」を選んだ場合は、手順2に戻ります。



補足説明

- 「1件削除」をする場合、手順3で削除したいメールを○で選び、○を押して内容を確認した後に(転送)を押して削除することもできます。
- メールが保護されている場合、「1 件削除」はグレーアウトになり、選択することができません。また、「全件削除」した場合でも、保護されているメールは削除されません。

第6章

時刻アラームと予約アラーム

アラームで予定時刻をお知らせしたり、今後のスケジュールを登録することができます。スケジュールの開始時刻になると、アラームにて通知します。

時刻アラームを設定する

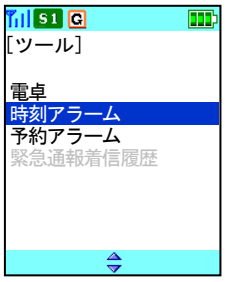
アラームで予定時刻をお知らせすることができます。

その前に・・・

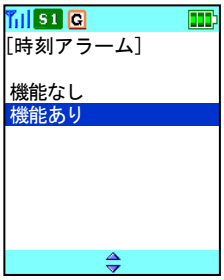
●日時設定をしないと、時刻アラーム機能は使用できません。(「時刻を設定する」(１１７ページ)をご覧ください。)
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「ツール」を選び、○を押す。

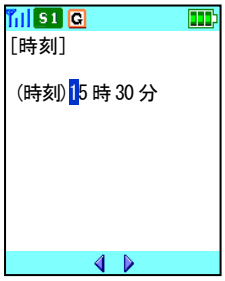
2 ○で「時刻アラーム」を選び、○を押す。



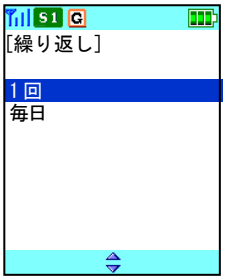
3 ○で「機能あり」を選び、○を押す。



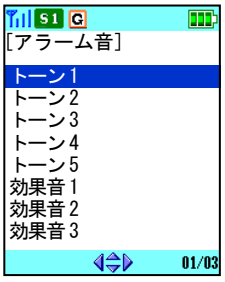
4 ダイヤルボタンでアラームの時刻を24時間制で設定し、○を押す。



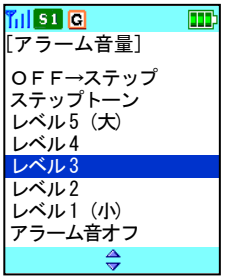
5 ○で「１回」または「毎日」を選び、○を押す。



6 ○でアラーム音を選び、○を押す。

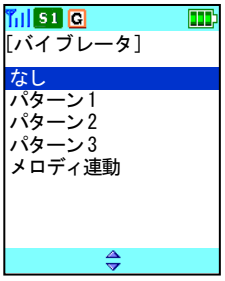


7 ○でアラーム音量を選び、○を押す。



8 ○でバイブレータを選び、○を押す。

手順２の画面に戻り、ピクト（ ）が表示されます。



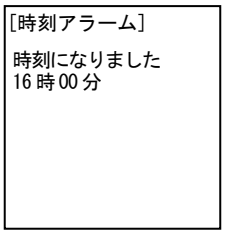
時刻アラームを設定する（つづき）

指定時刻になると

●指定時刻になるとアラームが鳴り（着信ランプ点滅）、指定時刻になったことをお知らせします（アラームは５分間鳴動します）。いずれかのキーを押すとアラーム音が停止します。（アラームが鳴るのは「アラーム音」を「あり」に設定しているときのみです。）

●マナーモードを設定している場合は、着信音は鳴動せずにバイブレータが作動します。（充電器に置いて充電しているときは、バイブレータは作動しません）

●指定時刻になったことをお知らせする画面を消去する場合は、● または 保留/クリア を押してください。



補足説明

●時刻アラームを「機能あり」に設定しているときは、ピクト（ ）が表示されます。

●時刻アラームを解除する場合は、手順３で「機能なし」を選びます。

●充電器に置いてあるときは、バイブレータは作動しません。

予約アラームを作成する

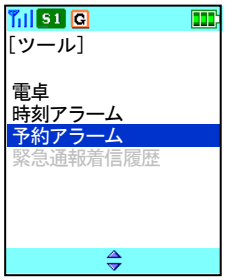
今後のスケジュールを登録することができます。スケジュールの開始時刻になると、アラームにて通知します。

その前に･･･

- ●日時設定をしないと、予約アラーム機能は使用できません。(「時刻を設定する」(１１７ページ)をご覧ください。)
- ●スケジューラに登録できる件数は最大１６件です。また、１日に登録できる件数は最大３件です。
- ●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- ●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。
- ●文字入力の方法については「文字の入力方法」(３７ページ)をご覧ください。ダイヤルボタンと文字の関係は、「ダイヤルボタンと文字の割り当て」(３９ページ)を参照してください。

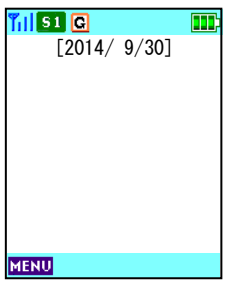
1 ○を押し、○で「ツール」を選び、○を押す。

2 ○で「予約アラーム」を選び、○を押す。



3 ○で予定を入れたい月日を選び、○を押す。

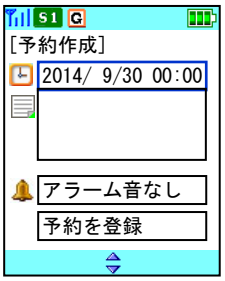
4 転送を押す。



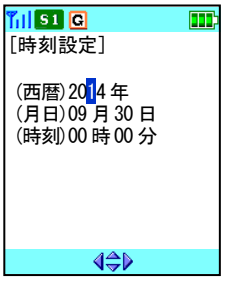
5 「新規」を選び、○を押す。

予定が１件も登録されていない場合は、「１件削除」はグレーアウトになり、選ぶことができません。

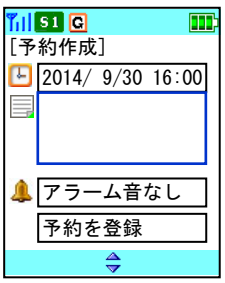
6 ○で🕒を選び、○を押す。



7 ダイヤルボタンで時刻を設定し、○を押す。



8 ○で📝を選び、○を押す。

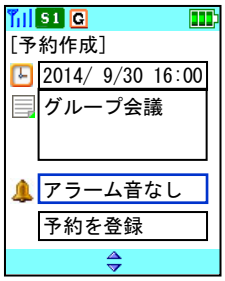


予約アラームを作成する（つづき）

9 予定内容を入力し、○を押す。

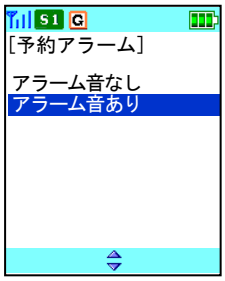
入力できる文字数は、全角２０文字（半角４０文字）です。

10 ○で 🔔 を選び、○を押す。

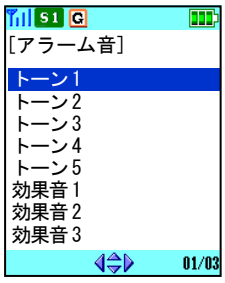


11 ○でアラーム音の「あり」または「なし」を選び、○を押す。

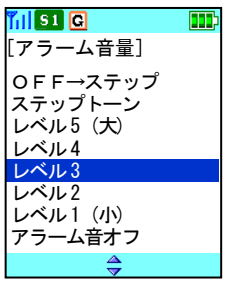
「あり」⇒ 手順１２へ
「なし」⇒ 手順１５へ



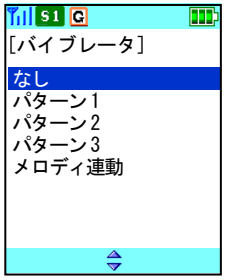
12 ○でアラーム音を設定し、○を押す。



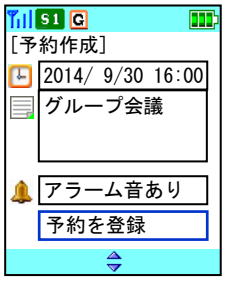
13 ○でアラーム音量を設定し、○を押す。



14 ○でバイブレータを設定し、○を押す。

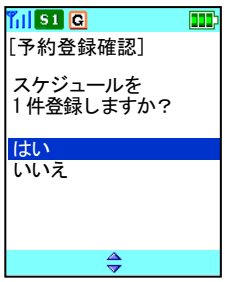


15 ○で「予約を登録」を選び、○を押す。

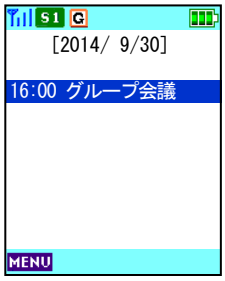


16 ○で「はい」を選び、○を押す。

「いいえ」を選ぶと、手順１５の画面に戻ります。



17 予定が登録されました。電源を押すと待ち受け画面に戻ります。

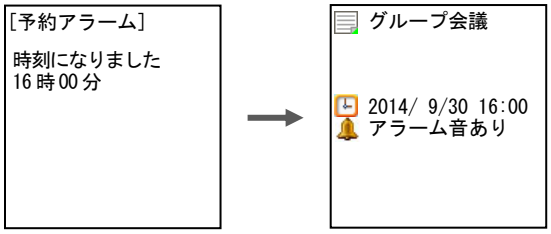


予約アラームを作成する（つづき）

指定時刻になると

①指定時刻になるとアラームが鳴り（着信ランプ点滅）、指定時刻になったことをお知らせします。いずれかのキーを押すとアラーム音が停止します。（アラームが鳴るのは「アラーム音」を「あり」に設定しているときのみです。）

②このときに ● または 保留/クリア を押すと予定内容が表示されます。



補足説明

●ダイヤル表示中、発着信中、通話中、留守録・メモ録音の録音中／再生中に指定時刻になった場合は、アラーム音は鳴動せず、通話等終了後に指定時刻になったことを画面に表示します。

●アラームは最大５分間鳴動します。アラームを止めるにはいずれかのキーを押してください。

●指定時刻になったことをお知らせする画面を消去する場合は、● または 保留/クリア を２回押してください。

●マナーモード設定中に指定時刻になった場合は、バイブレータが振動します。（マナーモードについては「マナーモードを設定する」（１４０ページ）ご覧ください。）

●着信音鳴動指定が「ヘッドセット」に設定されているときに指定時刻になったときは、アラーム音はヘッドセットから鳴動します。ヘッドセットが接続されていないときはアラーム音が鳴りません。（着信音鳴動指定については「着信音の鳴動先を設定する」（104ページ）をご覧ください。）

●予約編集画面（手順１５）で、時刻設定や予定内容が未設定のときに予約を登録した場合、エラー音が鳴ります。（手順６で何もせずに ● で「予約を登録」を選択時や、「予約アラームを確認／修正する（７７ページ）」の手順８で修正がない場合も同様です。）

●アラーム音は５種類のトーン、５種類の効果音の他に、１０種類のメロディ、着信音なしを選択することができます。（アラーム音の種類については「着信音を設定する」（９４ページ）をご覧ください。）

●アラーム音量は「アラーム音オフ」、「レベル１（小）～５（大）」、「ステップトーン」、「ＯＦＦ→ステップ」の８種類から選択することができます。（アラーム音量については「着信音量を調節する」（９６ページ）をご覧ください。）

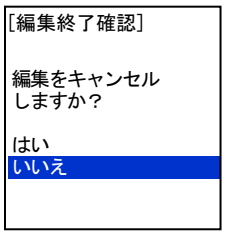
●バイブレータは、「なし」、「パターン１～３」、「メロディ連動」の５種類から選択することができます。（バイブレータについては「バイブレータを設定する」（９８ページ）をご覧ください。）

●充電器に置いてあるときは、バイブレータは作動しません。

●手順７～１５でスケジュールを登録しているときに、電源 や 保留/クリア を押した場合、下記画面が表示されます。

（保留/クリア を押した場合に下記画面が表示されるのは、手順８・１０・１５のときのみです。）

● で「はい」を選び編集をキャンセルしたときは、これまでの登録内容は保存されません。「いいえ」選ぶと、手順７～１５の各画面（下記画面の前に表示されていた画面）に戻ります。

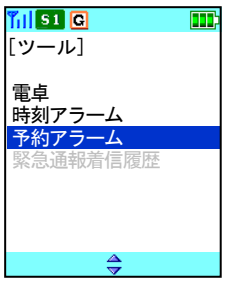


予約アラームを確認／修正する

登録したスケジュールを確認したり修正することができます。スケジュールが登録されている日は、カレンダーの日付がピンク色で表示されます。

1 ○を押し、○で「ツール」を選び、○を押す。

2 ○で「予約アラーム」を選び、○を押す。

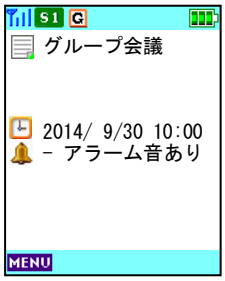


3 ○で予定内容を確認または修正したい月日を選び、○を押す。

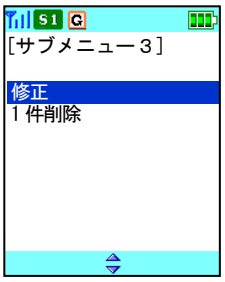
4 ○で確認または修正したい予定内容を選び、○を押す。

5 予定内容を確認する。

確認のみの場合は 電源 を押す。
修正する場合は手順6へ。

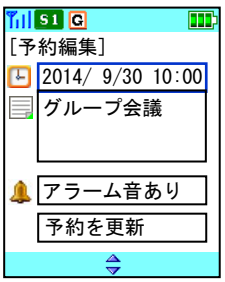


6 転送 を押し、「修正」を選び、○を押す。

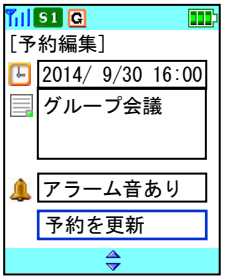


7 予定内容を修正する。

修正する場合は「予約アラームを作成する」の手順6（77ページ）と同じです。内容を変更せずに「予約を更新」を押したときは、エラー音が鳴ります。

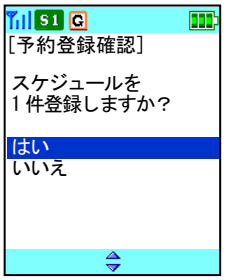


8 ○で「予約を更新」を選び、○を押す。



9 ○で「はい」を選び、○を押す。

手順4の画面に戻ります。
「いいえ」を選ぶと、手順8の画面に戻ります。



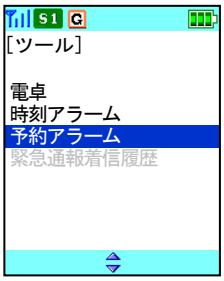
補足説明

- 変更した日付にすでに3件のスケジュールが登録されている場合は、「指定された日には、既に3件の予約があり指定できません」と表示されます。
- 同じ日時に既にスケジュールが登録されている状態で予約を登録しようとした場合、「同一日時に既に予約があり予約できません」と表示されます。

予約アラームの登録件数を確認する

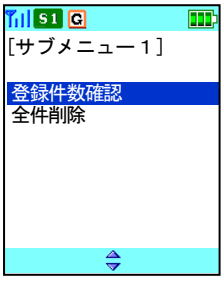
1 ○を押し、○で「ツール」を選び、○を押す。

2 ○で「予約アラーム」を選び、○を押す。



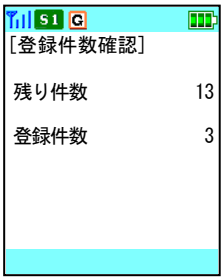
3 (転送)を押す。

4 ○で「登録件数確認」を選び、○を押す。



5 登録件数を確認する。

(保留/クリア)を押すと、手順3の画面に戻ります。
(電源)を押すと待ち受け画面に戻ります。



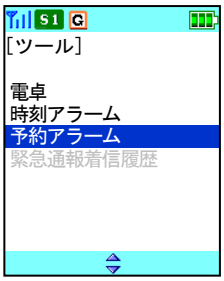
予約アラームを削除する

登録してあるスケジュールを１件だけ削除したり、すべてのスケジュールを一度に削除することができます。

１件削除する場合

1 ○を押し、○で「ツール」を選び、○を押す。

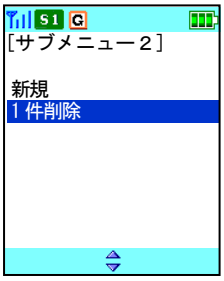
2 ○で「予約アラーム」を選び、○を押す。



3 ○で予定内容を削除したい月日を選び、○を押す。

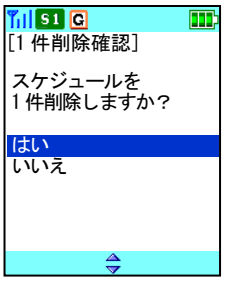
4 ○で削除したい予定内容を選び、○を押す。

5 ○で「１件削除」を選び、○を押す。



6 ○で「はい」を選び、○を押す。

手順４の画面に戻ります。
「いいえ」を選ぶと、手順５の画面に戻ります。



補足説明

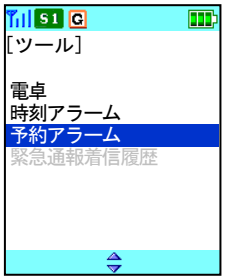
●手順４で削除したいスケジュールを○で選び、○を押して内容を確認した後に 📖 を押して削除することもできます。

予約アラームを削除する（つづき）

すべて削除する場合

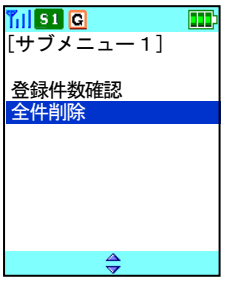
1 ○を押し、○で「ツール」を選び、○を押す。

2 ○で「予約アラーム」を選び、○を押す。



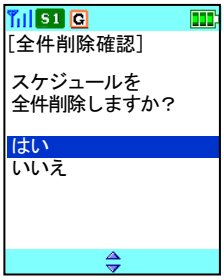
3 転送を押す。

4 ○で「全件件削除」を選び、○を押す。



5 ○で「はい」を選び、○を押す。

手順3の画面に戻ります。
「いいえ」を選ぶと、手順4の画面に戻ります。



第7章

留守録・メモ録音機能

着信に応答できなかった場合に、自動応答して留守録することができます。また、待ち受け中にメモ録音をすることができます。

留守録を設定する

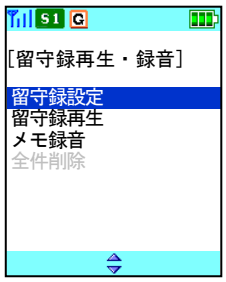
一定時間内に着信に応答できなかった場合に、自動応答して応答メッセージを流して留守録することができます(自動応答の時間は設定で変更できます)。
お買い上げ時は「機能なし」に設定されています。

その前に･･･

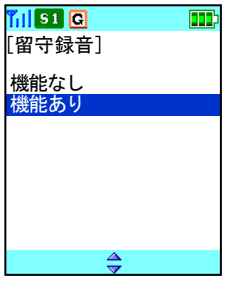
- ●録音件数は、留守録・メモ録音あわせて４件です。
- ●録音は、１件につき最大１５秒です。
- ●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- ●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「留守」を選び、○を押す。

2 ○で「留守録設定」を選び、○を押す。

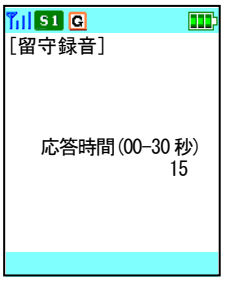


3 ○で「機能あり」を選び、○を押す。



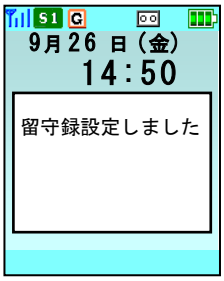
4 応答時間をダイヤルキーで設定し、○を押す。

応答時間は００～３０秒です。



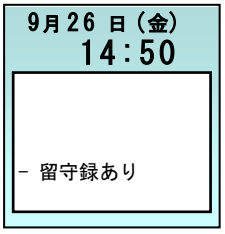
5 右記画面を表示し、待ち受け画面に戻ります。

画面の上に「 」が表示されます。



補足説明

- ●留守録設定中に着信があったときは、相手側には「ただいま電話に出ることができません。発信音の後に１５秒以内でメッセージをどうぞ」というメッセージが流れます。但し、録音件数がすでに４件あるときは、「ただいま電話に出ることができません。後ほどおかけ直しください」というメッセージが流れます。
- ●留守録機能を「機能あり」に設定しているときは、画面の上にピクト（ ）が常に表示されます。
- ●録音件数が４件に達した場合は、画面上のピクト（ ）が点滅します。
- ●留守録の設定を解除するには、手順３で「機能なし」を選びます。
- ●留守録設定中に着信があり、伝言が録音されている最中、また、録音が終了した後は下記画面が表示されます。(留守録の録音件数が４件に達した場合は、「- 留守録あり(満杯)」と表示されます。)



メモ録音をする

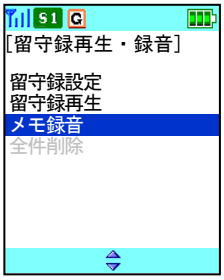
待ち受け中に録音状態にして、マイク（送話口）からメモ録音することができます。

その前に・・・

●録音件数は、留守録・メモ録音あわせて４件です。
●録音は、１件につき最大１５秒です。
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●メモ録音中に電話がかかってくると、メモ録音が中断されます。それまでの録音は残ります。

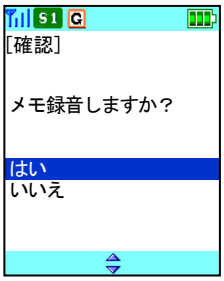
1 ○を押し、○で「留守」を選び、○を押す。

2 ○で「メモ録音」を選び、○を押す。

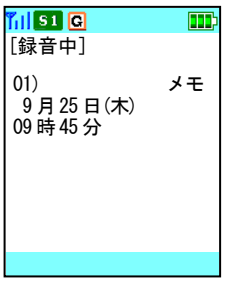


3 ○で「はい」を選び、○を押す。

「いいえ」を選ぶと、手順２の画面に戻ります。

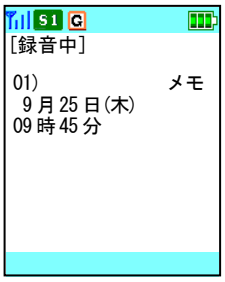


4 録音します。



5 録音が終わったら 電源 を押す。

待ち受け画面に戻ります。



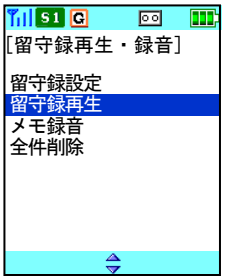
補足説明

●録音を始めてから１５秒経過すると、自動的に録音を終了します。
●録音件数がすでに４件ある場合には画面の上にピクト（ ）が点滅します。（留守録機能を「機能あり」にしているときのみ。）
●録音件数がすでに４件ある場合には「録音できません」と表示され、約２秒後に手順２の画面に戻ります。

留守録・メモ録音を再生する

1 を押し、 で「留守」を選び、 を押す。

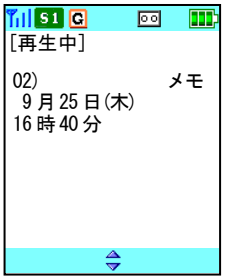
2 で「留守録再生」を選び、 を押す。



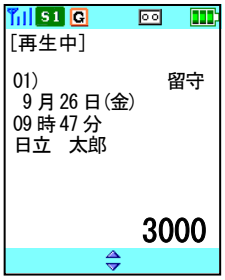
3 で再生するリストを選び、 を押す。

4 再生します。

メモ録音再生時



留守録再生時



再生が終わると、手順3の画面に戻ります。

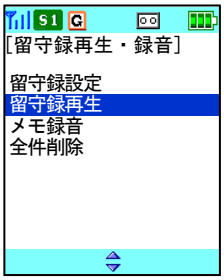
補足説明

●留守録・メモ録音を再生中に を押すことで音量を変えることができます。

留守録・メモ録音を削除する

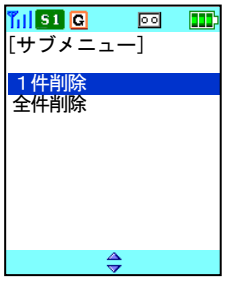
1 ○を押し、○で「留守」を選び、○を押す。

2 ○で「留守録再生」を選び、○を押す。

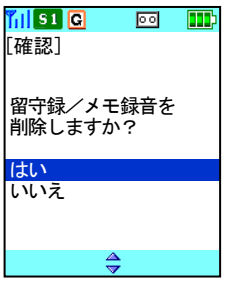


3 ○で削除するリストを選び、(転送)を押す。

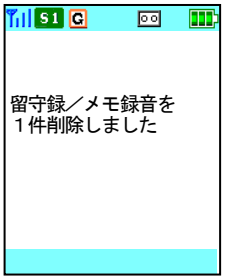
4 ○で「１件削除」または「全件削除」を選び、○を押す。



5 ○で「はい」を選び、○を押す。



6 下記画面が表示され、削除されます。



削除された後、手順３の画面に戻ります。
全件削除、または１件削除で再生リストに何も残っていない場合は待ち受け画面に戻ります。

補足説明

- ●全件削除するときは、手順２で「全件削除」を選びます。
- ●留守録／メモ録音を削除中は、着信を受けることができません。

第8章

いろいろな機能の設定／登録

自分のデジタルコードレス電話機のいろいろな機能を設定したり登録することができます。
ただし、故障かな？と勘違いされることもありますので、これらの機能をお使いになるときは、機能が設定してあることを忘れないでください。

待ち受け画面を設定する

待ち受け時に表示される画面を設定します。お買い上げ時には「なし」に設定してあります。

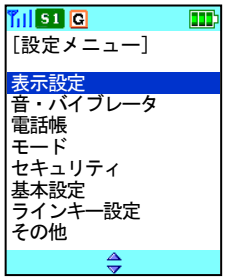
その前に・・・

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

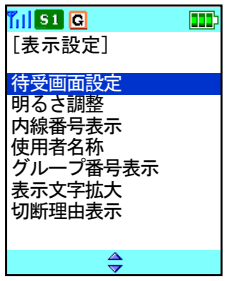
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

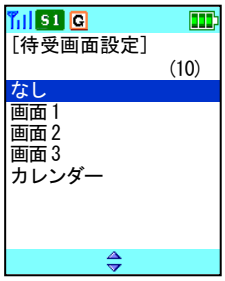
2 ○で「表示設定」を選び、○を押す。



3 ○で「待受画面設定」を選び、○を押す。

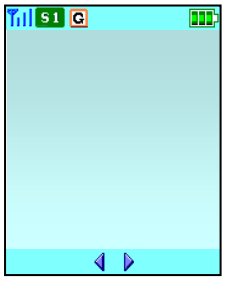


4 ○で待ち受け画面を選び、○を押す。



5 ○を押すと、その他の待ち受け画面を確認できます。確定したら ○ を押す。

手順４の画面に戻ります。

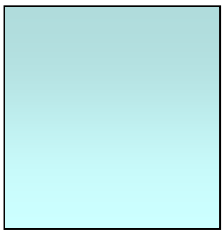


補足説明

●待ち受け画面は、下記画面の５種類から選ぶことができます。

●ラインキー名称表示が「機能あり」に設定されている場合、または、ラインキー使用数が「１６個」に設定されている場合は、「カレンダー」を選択することができません。ラインキー名称表示については「ラインキーを画面に表示させる」（１２１ページ）、ラインキー使用数については「ラインキーの使用数を設定する」（１２７ページ）をご覧ください。

なし



画面１

画面２

画面３

カレンダー

画面の明るさを調整する

ＬＣＤ表示画面の明るさを調整します。お買い上げ時には「レベル１」に設定してあります。

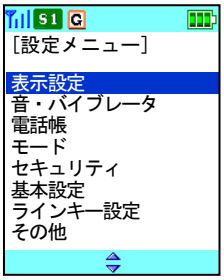
その前に・・・

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

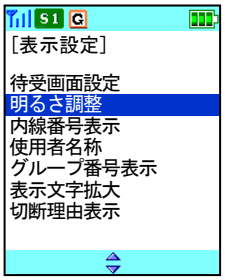
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「表示設定」を選び、○を押す。

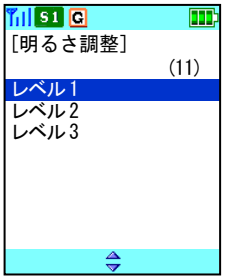


3 ○で「明るさ調整」を選び、○を押す。



4 ○でレベルを選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●レベル１→３の順で暗くなります。

自分の内線番号を常時表示させる

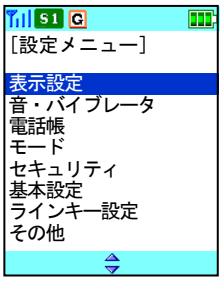
待ち受け時に、自分の内線番号を常に表示させることができます。
お買い上げ時には「表示なし」に設定してあります。

その前に･･･

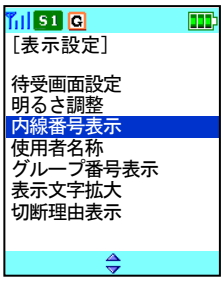
- ●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- ●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「表示設定」を選び、○を押す。

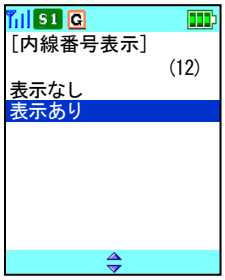


3 ○で「内線番号表示」を選び、○を押す。



4 ○で「表示あり」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

- ●内線番号表示を解除するには、手順４で「表示なし」を選びます。
- ●「表示あり」に設定した場合、下記のように待ち受け画面に内線番号が常時表示されます。表示文字の拡大については「表示文字を大きくする」（９２ページ）をご覧ください。（待ち受け画面を「カレンダー」に設定している場合は、内線番号は拡大表示されません。）

表示文字拡大時

使用者名称を設定する

ＬＣＤ画面に使用者名称を表示させることができます。お買い上げ時には「表示なし」に設定してあります。

その前に・・・

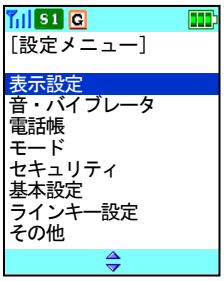
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

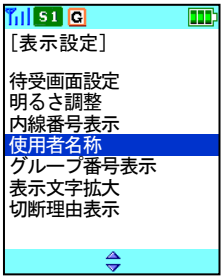
●文字入力の方法については「文字の入力方法」（40 ページ）をご覧ください。ダイヤルボタンと文字の関係は、「ダイヤルボタンと文字の割り当て」（42 ページ）を参照してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

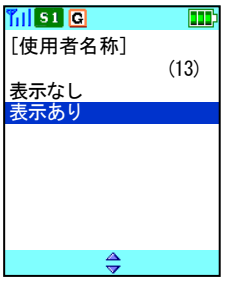
2 ○で「表示設定」を選び、○を押す。



3 ○で「使用者名称」を選び、○を押す。



4 ○で「表示あり」を選び、○を押す。



5 名称を入力し、○を押す。

入力できる文字数は全角５文字（半角１０文字）です。
○を押した後は、手順３に戻ります。

補足説明

●使用者名称表示を解除するには、手順４で「表示なし」を選びます。

●「表示あり」に設定した場合、下記のように待ち受け画面に使用者名称が表示されます。表示文字の拡大については「表示文字を大きくする」（９２ページ）をご覧ください。（待ち受け画面を「カレンダー」に設定している場合は、使用者名称は拡大表示されません。）

表示文字拡大時

グループ番号を表示する

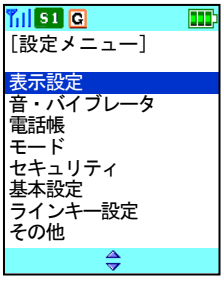
ＬＣＤ画面にグループ番号を表示させることができます。お買い上げ時には「表示なし」に設定してあります。

その前に・・・

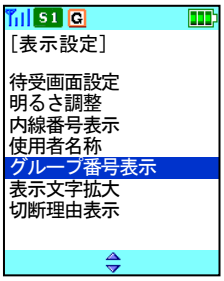
- 途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- 操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。
- 本機能は G が表示されているときに有効です。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

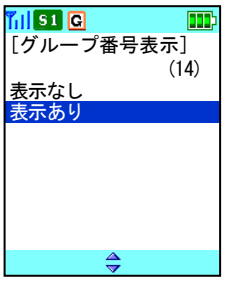
2 ○で「表示設定」を選び、○を押す。



3 ○で「グループ番号表示」を選び、○を押す。



4 ○で「表示あり」を選び、○を押す。



補足説明

- グループ番号表示を解除するには、手順４で「表示なし」を選びます。
- 自グループで待ち受けていないときは、グループ番号を表示しません。
- 「表示あり」に設定した場合、下記のように待ち受け画面にグループ番号が表示されます。また、表示文字拡大が「機能あり」に設定されている場合で、待受画面設定が「カレンダー」に設定されていない場合は、グループ番号を拡大表示します。表示文字の拡大については「表示文字を大きくする」（９２ページ）をご覧ください。

表示文字拡大時

表示文字を大きくする

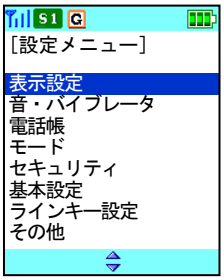
設定メニュー、電話帳の詳細画面、発信/着信履歴の一覧画面と詳細画面および、発着信・通話中画面（電話帳に登録がある場合）に表示される文字を大きくすることができます。
お買い上げ時には「機能なし」に設定してあります。

その前に･･･

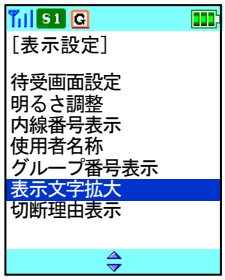
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「表示設定」を選び、○を押す。

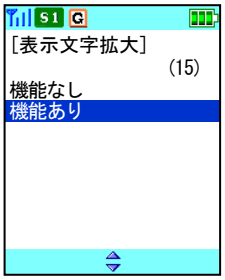


3 ○で「表示文字拡大」を選び、○を押す。



4 ○で「機能あり」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●表示文字拡大の設定をを解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。
●「機能あり」に設定した場合、「機能なし」にくらべ、下記のように文字の大きさが変わります。

	設定メニュー	電話帳詳細	発着信履歴一覧	発着信履歴詳細	発着信・通話中
機能なし	[設定メニュー] 表示設定 音・バイブレータ 電話帳 モード セキュリティ 基本設定 ラインキー設定 その他	(010) 日立　太郎 ﾋﾀﾁ ﾀﾛｳ グループ01 01234567890123 3000 1234567890	[発信履歴] 01) 9/26 13:25 日立　太郎 02) 9/26 08:45 5000 03) 9/25 18:10 日立　花子 04) 9/25 09:30 4321	[着信履歴] 01) 9月24日(水) 13時25分 日立　太郎 5000	着信中 日立　太郎 5000
機能あり	[設定メニュー] 表示設定 音・バイブレータ 電話帳 モード セキュリティ 基本設定	(010) 日立　太郎 ﾋﾀﾁ　ﾀﾛｳ グループ01 0123456789>> 3000 1234567890	[発信履歴] 01) 9/26 13:25 日立　太郎 02) 9/26 08:45 5000	[着信履歴] 01) 9月24日(水) 13時25分 日立　太郎 5000	着信中 日立　太郎 5000

切断理由表示機能を設定する

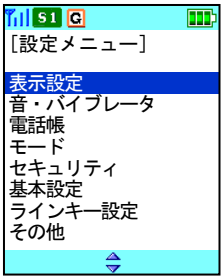
通話中、急に通話が切断されたときの理由を表示することができます。
お買い上げ時には、「機能なし」に設定してあります。

その前に・・・

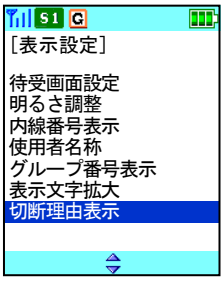
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「表示設定」を選び、○を押す。

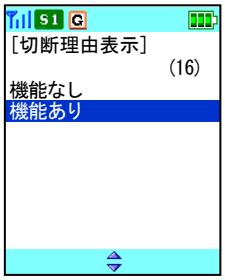


3 ○で「切断理由表示」を選び、○を押す。



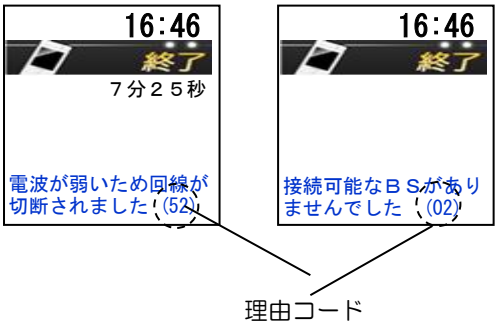
4 ○で「機能あり」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●切断理由表示機能の設定を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。
●通話が切断された場合、下記画面を表示します。理由コードについては、保守担当者にお問い合せください。



着信音を設定する

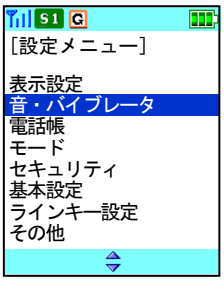
着信音は「５種類のトーン」、「５種類の効果音」および「１０種類のメロディ」を着信音に選択することができます（「着信音なし」を選択することもできます）。外線や内線などの着信に対して、それぞれ違った鳴り方を選べます。また、電話帳による個別着信音、グループ着信音を設定することもできます。（電話帳による個別着信音を設定するときは「電話帳に個別着信鳴り分けを設定する」（５５ページ）、グループ着信音を設定するときは「グループ着信音を設定する」（４７ページ）をご覧ください）

その前に･･･

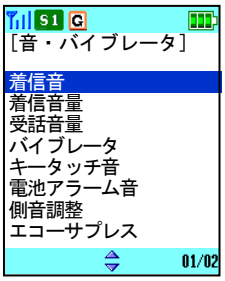
- 途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- 操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「音・バイブレータ」を選び、○を押す。

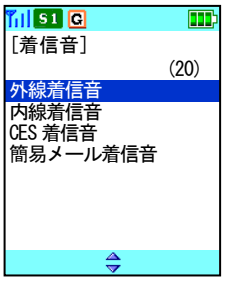


3 ○で「着信音」を選び、○を押す。



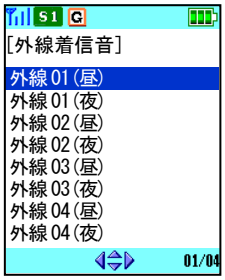
4 ○でモードを選び、○を押す。

「内線着信音」「CES 着信音」「簡易メール着信音」を選んだ場合は、手順６に移ります。



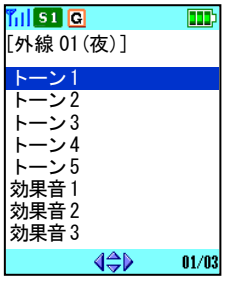
5 ○で外線番号を選び、○を押す。

外線着信は「外線０１～１２（昼／夜）」「外線着信音他（昼／夜）」があります。



6 ○で着信音を選び、○を押す。

手順４の画面に戻ります。



着信音を設定する（つづき）

補足説明

●外線着信は「外線０１～１２（昼／夜）」「外線着信音他（昼／夜）」があります。

●簡易メールの着信音には、メロディを選択することはできません。

●お買い上げ時の設定
外線着信　　:「トーン１」
内線着信　　:「トーン２」
ＣＥＳ着信　:「トーン１」
簡易メール着信:「効果音１」

●着信メロディの種類
・カルメン組曲
・シバの女王の入城
・くるみ割り人形行進曲
・花のワルツ
・ワルキューレの騎行
・ボレロ
・アイネ・クライネ・ナハトムジーク
・春
・威風堂々
・クシコス・ポスト

●着信鳴り分けの優先順位

優先順位	鳴り分け機能
１	電話帳の個別着信鳴り分け
２	グループ着信鳴り分け
３	モード別着信鳴り分け

着信音量を調節する

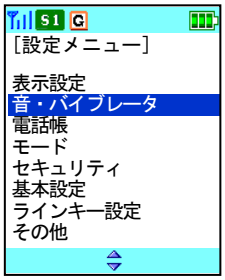
電話の着信音の大きさを調節できます。着信音量は「レベル0（着信音オフ）、レベル1（小）～レベル5（大）、」の6段階および「ステップトーン」、「ＯＦＦ→ステップ」の調節ができます。
お買い上げ時は「レベル3」に設定してあります。

その前に･･･

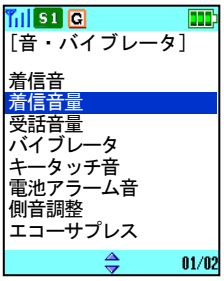
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「音・バイブレータ」を選び、○ を押す。



3 ○で「着信音量」を選び、○ を押す。



4 ○で着信音量のレベルを選び、○を押す。

手順3の画面に戻ります。

補足説明

●着信中に ○ を押すことで、着信音量を設定することもできます。電話を切った後も設定は変わりません。
●着信中に着信音量をＯＦＦにする場合は、 電源 を押すか、レベル1表示画面で ○ を2秒以上押します。
●着信音量をレベル0（着信音オフ）に設定した場合、待ち受け画面の下に「S」が表示されます。
●ステップトーン：着信音量レベル1から3秒毎に1段階ずつ音量が大きくなります。
●ＯＦＦ→ステップ:着信音量レベル0から9秒間サイレント着信後、3秒毎に1段階ずつ音量が大きくなります。

受話音量を調節する

通話相手の声の大きさを調節できます。お買い上げ時は、「レベル２」に設定してあります。

その前に・・・

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

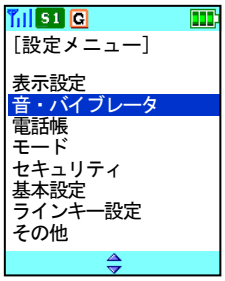
通話中／発信中に受話音量を調節する

1 発信中または通話中に ○ を押し、受話音量を調節します。

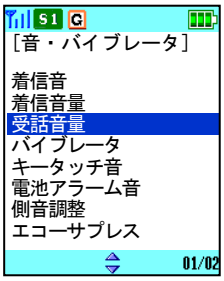
待ち受け中に受話音量を調節する

1 ○ を押し、○ で「設定」を選び、○ を押す。

2 ○ で「音・バイブレータ」を選び、○ を押す。



3 ○ で「受話音量」を選び、○ を押す。



4 ○ で受話音量のレベルを選び、○ を押す。

手順３の画面に戻ります。

補足説明

●発信中・通話中に受話音量の変えた場合、電話を切ったあとでも設定は変わりません。また、電源を切っても設定は変わりません。

●留守録・メモ録音を再生中も ○ を押すことで音量を変えることができます。

バイブレータを設定する

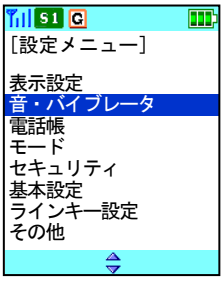
電話がかかってきたときに、バイブレータでお知らせするように設定することができます。
お買い上げ時には、「なし」に設定されています。

その前に・・・

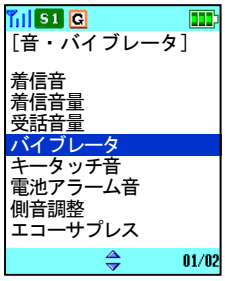
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「音・バイブレータ」を選び、○を押す。

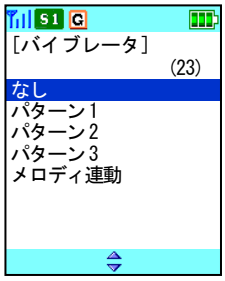


3 ○で「バイブレータ」を選び、○を押す。



4 ○でパターンを選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●バイブレータの設定は、「なし」、「パターン１～３」、「メロディ連動」の５種類に調節できます。
●マナーモード設定中（１４０ページ）は、バイブレータ設定「なし」でもバイブレータ着信（パターン２）となります。マナーモード解除中のみ、バイブレータ設定「なし」機能が有効となります。
●バイブレータの振動する間隔は次のとおりです。
パターン１　：約 0.25 秒
パターン２　：約 0.75 秒
パターン３　：連続
メロディ連動：メロディに連動
●バイブレータが振動する設定にしているときは、待ち受け中または着信中の画面の下にピクト（ ）が表示されます。
●充電器に置いてあるときは、バイブレータは作動しません。

キータッチ音が鳴らないようにする

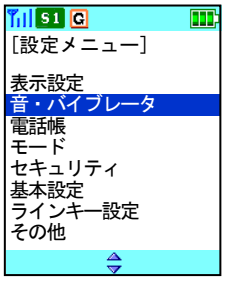
ボタンを押したときの確認音を鳴らさないようにすることができます。
お買い上げ時には、「キータッチ音あり」に設定されています。

その前に・・・

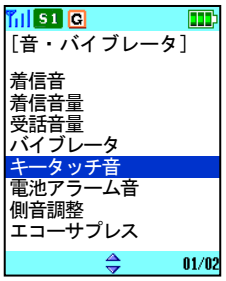
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「音・バイブレータ」を選び、○ を押す。

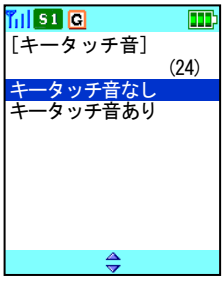


3 ○で「キータッチ音」を選び、○ を押す。



4 ○で「キータッチ音なし」を選び、○ を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●キータッチ音が鳴るようにするには、手順４で「キータッチ音あり」を選びます。
●マナーモードを設定している場合は「キータッチ音あり」に設定していてもキータッチ音は鳴りません。

電池アラーム音が鳴らないようにする

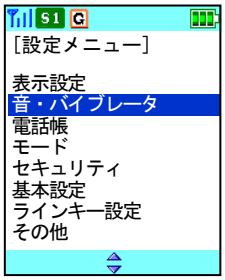
電池の残量がなくなる前に、警報音を鳴らしてお知らせします。電池アラーム音が鳴らない設定になっているときは、表示部のメッセージだけでお知らせします。お買い上げ時には、「アラーム音あり」に設定されています。

その前に・・・

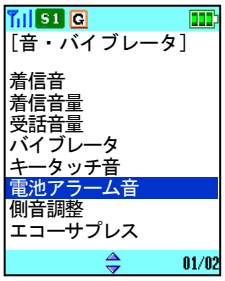
- ●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- ●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「音・バイブレータ」を選び、○を押す。

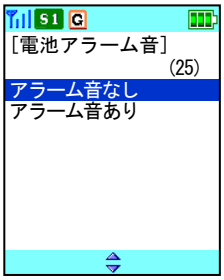


3 ○で「電池アラーム音」を選び、○を押す。



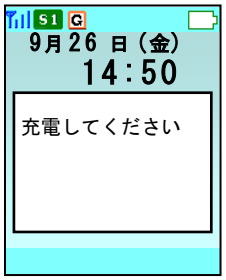
4 ○で「アラーム音なし」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

- ●電池アラーム音が鳴るようにするには、手順４で「アラーム音あり」を選びます。
- ●通話中に電池切れになった場合は、レシーバより警報音（ピピピッ）が聞こえ、約１分後に通話が切断されます。
- ●マナーモードを設定している場合は電池アラーム音は鳴りません。
- ●電池切れになった場合は、電池ピクトが点滅し、右記画面が表示されます。



側音を調整する

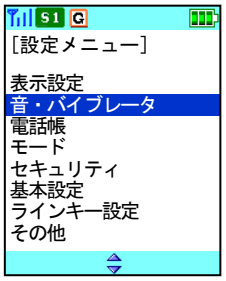
通話中にざわざわする音が聞こえて話しづらくなる場合、または、自分の声のはね返りが大きい場合は側音調整を設定することにより、相手の方の声が聞きやすくなります。お買い上げ時には、「側音 3」に設定されています。

その前に・・・

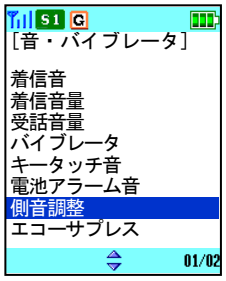
- ●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- ●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「音・バイブレータ」を選び、○ を押す。

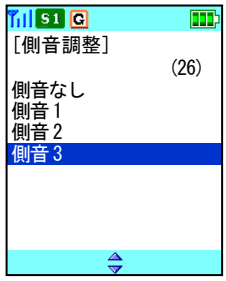


3 ○で「側音調整」を選び、○ を押す。



4 ○で側音のレベルを選び、○ を押す。

手順３の画面に戻ります。



エコーサプレスを設定する

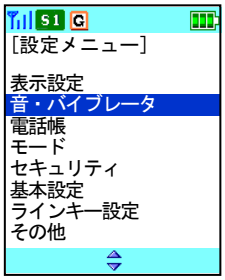
通話中に受話口から自分の声が少し遅れて聞こえ、お話ししづらくなる場合があります。このような時は、電話をかける前にエコーサプレスを「機能あり」に設定すると、お話ししやすくなります。
お買い上げ時には、「機能なし」に設定されています。

その前に・・・

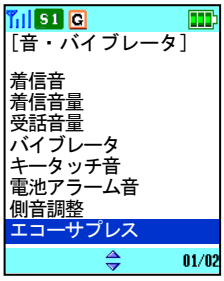
- ●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- ●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「音・バイブレータ」を選び、○を押す。

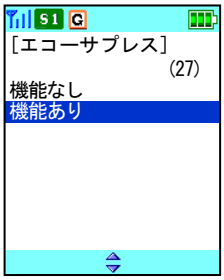


3 ○で「エコーサプレス」を選び、○を押す。



4 ○で「機能あり」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

エコーサプレスの設定を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。

ハンドオーバ音が鳴らないようにする

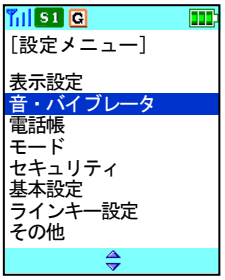
通話中に電波状態の悪化を検出し、電波状態のよい接続装置に切り替える時に「プップップ」というハンドオーバ音が聞こえることがありますが、このハンドオーバ音を鳴らすか鳴らさないかを設定することができます。
お買い上げ時には、「ハンドオーバ音あり」に設定されています。

その前に･･･

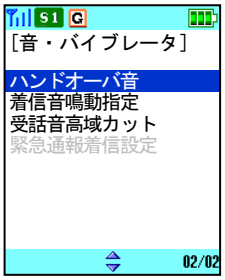
- ●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- ●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「音・バイブレータ」を選び、○を押す。

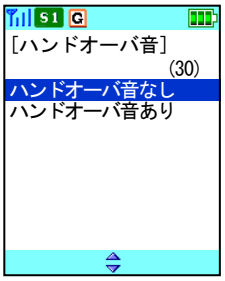


3 ○「ハンドオーバ音」を選び、○を押す。



4 ○で「ハンドオーバ音なし」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

ハンドオーバ音が鳴るようにするには、手順４で「ハンドオーバ音あり」を選びます。

着信音の鳴動先を設定する

ヘッドセット（別売り）を使っているときは、着信音、キータッチ音や電池アラーム音をヘッドセットからのみ鳴るように設定することができます。お買い上げ時は「スピーカ」に設定されています。

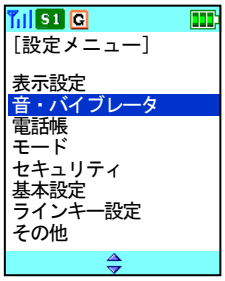
その前に・・・

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

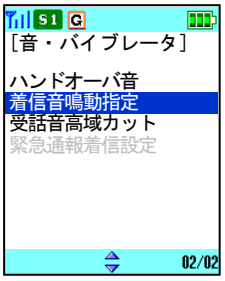
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「音・バイブレータ」を選び、○を押す。

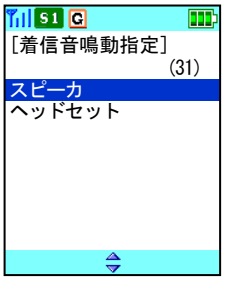


3 ○で「着信音鳴動指定」を選び、○を押す。



4 ○で着信音鳴動指定の「スピーカ」または「ヘッドセット」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●着信音鳴動指定を「ヘッドセット」に設定しているときで、ヘッドセットが未接続時には、着信音・キータッチ音・警報音は鳴りません。

●着信音鳴動指定を「ヘッドセット」に設定しているときは、待ち受け画面の下にピクト（ ）が表示されます。

受話音高域カット機能を設定する

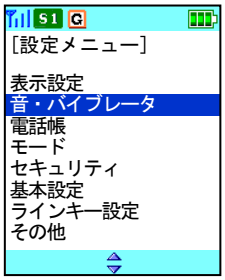
通話中にキンキンするような音が聞こえて話しづらくなる場合は、受話音高域カット機能を設定することにより、相手の方の声が聞きやすくなります。お買い上げ時は「機能なし」に設定されています。

その前に・・・

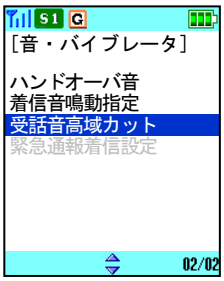
- ●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- ●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「音・バイブレータ」を選び、○ を押す。

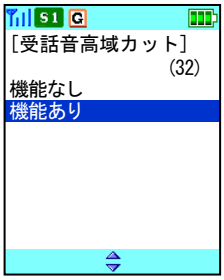


3 ○で「受話音高域カット」を選び、○ を押す。



4 ○で「機能あり」を選び、○ を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

受話音高域カット機能を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。

自営システムを切り替える

システム番号が２つ登録されているとき使用するシステムを選択することができます。

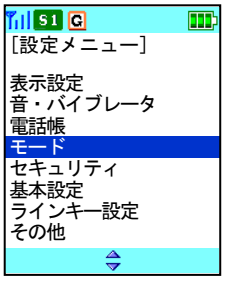
その前に・・・

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

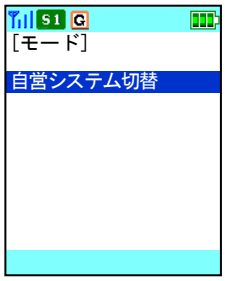
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「モード」を選び、○を押す。

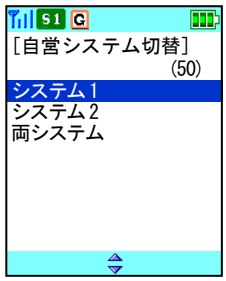


3 ○を押す。



4 ○で自営システムの「１」、「２」または「両システム」を選び、○を押す。

システムを変更した場合は自動的にリセットし、選択したシステムで起動します。



補足説明

●「両システム」を選択した場合は、使用しているシステムが圏外状態となった場合に、自動的にもう一方のシステムを検索します。

●事業所間ローミング機能を使用する場合は、「システム１」に設定してください。

パスワードを変更する

電話をかけられないようにしたり、設定した機能を初期化する場合はパスワードが必要になります。
お買い上げ時には、パスワード「０００００」が設定されています。

パスワードが必要な操作

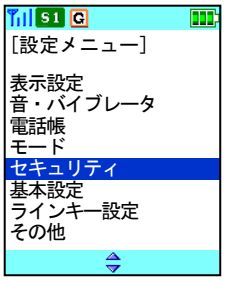
- パスワード変更⇒「パスワードを変更する」（１０７ページ）
- ダイヤルロック⇒「ダイヤルロックを設定する」（１０９ページ）
- 機能初期化⇒「機能設定のみを初期化する」（１１３ページ）
- 電話帳アクセス禁止⇒「電話帳へのアクセスを禁止する」（５７ページ）
- リモートロック⇒「リモートロックを設定する」（１１０ページ）
- オートロック⇒「オートロックを設定する」（１１１ページ）
- 全初期化⇒「電話帳などすべての設定を初期化する」（１１４ページ）

その前に･･･

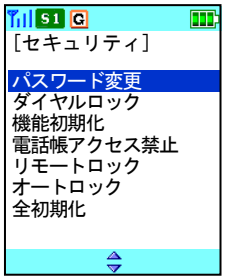
●パスワードとして使えるのは４桁の数字だけです。
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。
●パスワードは確認することができません。お忘れにならないようにご注意ください。万が一お忘れになったときは、お買い求めになった販売店などへご相談ください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「セキュリティ」を選び、○を押す。

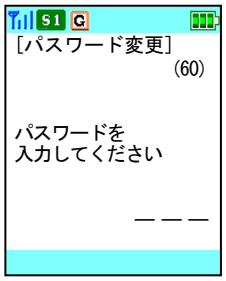


3 ○で「パスワード変更」を選び、○を押す。



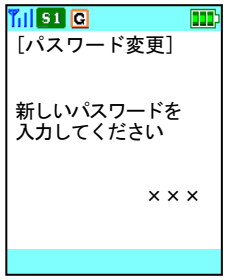
4 ダイヤルボタンで、現在のパスワードを入力する。

４桁目は表示されません



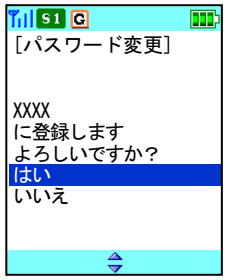
5 新しいパスワードを入力する。

４桁目は表示されません。



6 パスワードを確認し、○を押す。

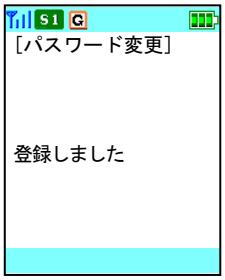
「いいえ」を選ぶと、手順３の画面に戻ります。



パスワードを変更する（つづき）

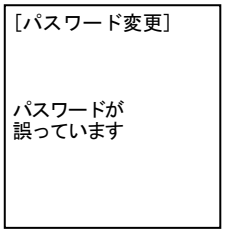
7 パスワード登録が完了しました。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●手順４でパスワードを間違えて入力した場合、右記画面を表示し、約２秒後に手順３の画面に戻ります。



ダイヤルロックを設定する

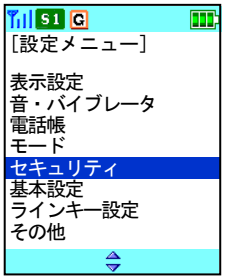
他の人に使われないようにするときなど、電話をかけられないようにすることができます。ダイヤルロックを設定しているときでも、電話を受けることはできます。お買い上げ時は、「ロックしない」に設定されています。

その前に・・・

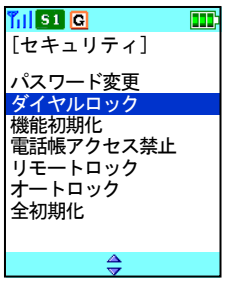
- ●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- ●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「セキュリティ」を選び、○を押す。

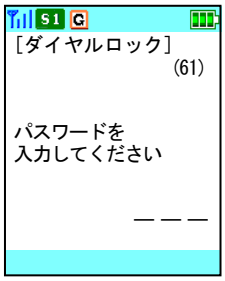


3 ○で「ダイヤルロック」を選び、○を押す。



4 ダイヤルボタンでパスワードを入力する。

4桁目は表示されません。パスワードを間違えて入力した場合は「パスワードが誤っています」と表示され、手順３の画面に戻ります。

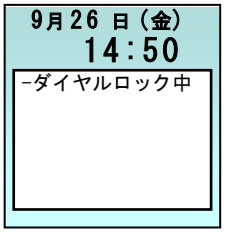


5 ○で「ロックする」を選び、○を押す。

「ロックしない」を選ぶと、手順３の画面に戻ります。

補足説明

- ●ダイヤルロック設定中は右記画面が表示されます。



- ●ダイヤルロックを解除する場合は、待ち受け時および通話中にパスワードを入力します。パスワードについては「パスワードを変更する」（107ページ）をご覧ください。
- ●待ち受け画面で ＊・。 を２秒以上押すと、手順４の画面になり、ダイヤルロックを設定することもできます。
- ●ダイヤルロック中に電源をオフ／オンしてもダイヤルロックは解除されません。
- ●ダイヤルロック中は下記の操作のみ有効です。
  ダイヤルロック解除操作／着信応答・通話切断／着信中に 電源 でサイレント着信／マナーモード設定・解除／通話中受話音量設定／電源オフ・オン／アラーム鳴動停止／通話中の保留／着信中の着信音量変更／アラーム鳴動後の ○、保留/クリア （指定時刻になったことをお知らせする画面の消去）

リモートロックを設定する

デジタルコードレス電話機を紛失した場合など、他の人に使われないように、サブアドレス機能付きの電話機から遠隔操作でダイヤルロックを設定することができます。お買い上げ時は、「機能なし」に設定されています。

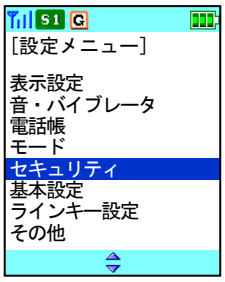
その前に・・・

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

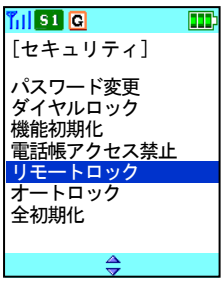
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「セキュリティ」を選び、○を押す。



3 ○で「リモートロック」を選び、○を押す。



4 ○で「機能あり」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。

リモートロックをするには

①サブアドレス機能付きの電話機で、リモートロックをしたい電話番号をダイヤルしたあと、 *・○ を押して電話機に設定されている４桁のパスワードを入力して発信します。

②着信を受けた電話機は、ダイヤルロックの状態になります。

③リモートロックがかかると、発信者側には呼び出し中音（リングバックトーン）は聞こえずに、すぐに話中音（ビジートーン）などが流れて切断されます。

ご注意

●サブアドレス機能の付いていない電話機からは、リモートロックができません。

●ご使用のシステムによってはサブアドレスによる呼び出しができず、リモートロックができないことがあります。

●電話機が圏外や電源が入っていない場合は、本機能は設定できません。

補足説明

●リモートロック機能を解除するには手順４で「機能なし」を選びます。

●リモートロック中は、画面に「ダイヤルロック中」と表示されます。ダイヤルロックについては「ダイヤルロックを設定する」（１０９ページ）をご覧ください。

●リモートロック状態を解除するには、待ち受け時および通話中にパスワードを入力します。パスワードについては「パスワードを変更する」（１０７ページ）をご覧ください。

オートロックを設定する

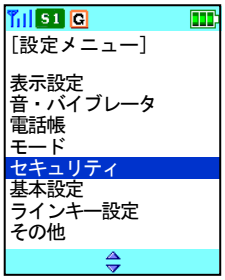
一定時間何も操作がないときに自動的にダイヤルロックをかけることができます。
お買い上げ時は、「機能なし」に設定されています。

その前に・・・

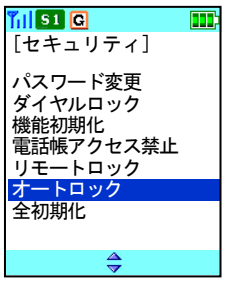
- ●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- ●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「セキュリティ」を選び、○を押す。

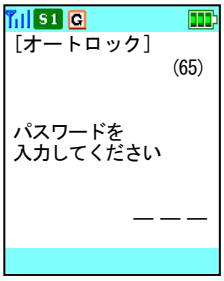


3 ○で「オートロック」を選び、○を押す。

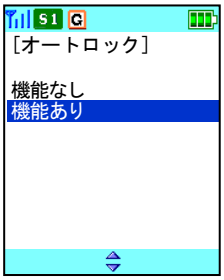


4 ダイヤルボタンでパスワードを入力する。

4桁目は表示されません。
パスワードを間違えて入力した場合は「パスワードが誤っています」と表示され、手順3の画面に戻ります。

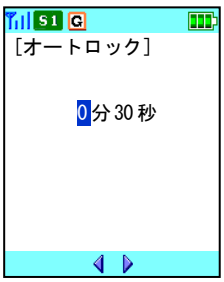


5 ○で「機能あり」を選び、○を押す。



6 ダイヤルボタンで時間を入力し、○を押す。

分は0～9です。秒は10～50です。(10の位のみ変更可能です)
設定されると手順3の画面に戻ります。



補足説明

- ●指定の時間が過ぎると画面に「ダイヤルロック中」と表示されます。ダイヤルロックについては「ダイヤルロックを設定する」(109ページ)をご覧ください。
- ●オートロック機能を解除するには、手順5で「機能なし」を選びます。
- ●パスワードについては「パスワードを変更する」(107ページ)をご覧ください。
- ●キーロック中にオートロックがかかると、キーロックは解除されダイヤルロック状態になります。キーロックについては「キーロックを設定する」(112ページ)をご覧ください。

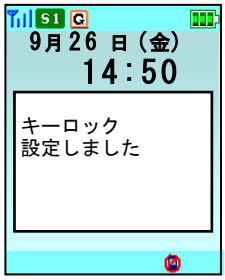
キーロックを設定する

持ち運ぶときなどに誤ってボタンが押され、知らない間に動作することがないようにキーロックを設定することができます。

その前に･･･

●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 待ち受け中に ○ を２秒以上押す。



キーロックを設定すると、は画面の下にピクト（ ）を表示します。

補足説明

●キーロックを解除するには、○ を２秒以上押します。「キーロック解除しました」と表示され、キーロックが解除されます。

●キーロック中に電源をオフ／オンしてもキーロックは解除されません。

●キーロック中は下記の操作のみ有効です。
キーロック解除操作／着信応答・通話切断／着信中に 電源 でサイレント着信／通話中操作／着信中の着信音量設定／電源オフ・オン／アラーム鳴動停止／通話中の保留／アラーム鳴動後の ○、 保留/クリア （指定時刻になったことをお知らせする画面の消去）

いろいろな機能の設定内容を初期化する

機能設定や、電話帳などメモリに保存されている内容を初期化することができます。機能設定のみ初期化する方法（機能初期化）と、機能設定および電話帳などメモリに保存されている内容すべてを初期化する方法（全初期化）があります。いろいろな機能の設定内容を初期化する初期化される内容は機能初期化および全初期化対象項目表（１１５ページ）をご覧ください。

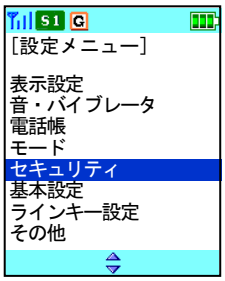
その前に･･･

- 途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- 操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

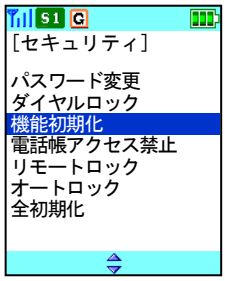
機能設定のみを初期化する

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「セキュリティ」を選び、○を押す。

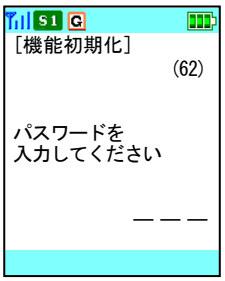


3 ○で「機能初期化」を選び、○を押す。

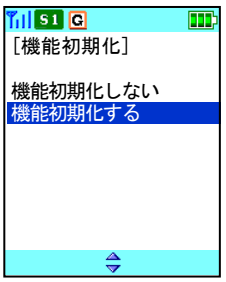


4 ダイヤルボタンでパスワードを入力する。

４桁目は表示されません。パスワードを間違えて入力した場合は「パスワードが誤っています」と表示され、手順３の画面に戻ります。

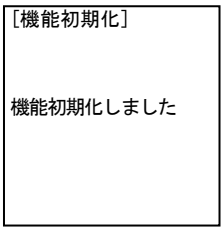


5 ○で「機能初期化する」を選び、○を押す。



補足説明

機能初期化をすると右記画面が表示され、その後、手順３の画面に戻ります。

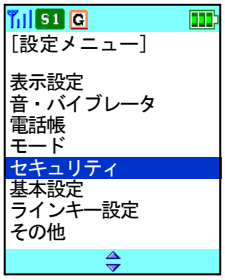


いろいろな機能の設定内容を初期化する（つづき）

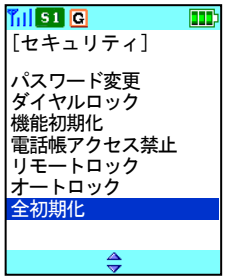
電話帳などすべての設定を初期化する

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「セキュリティ」を選び、 を押す。

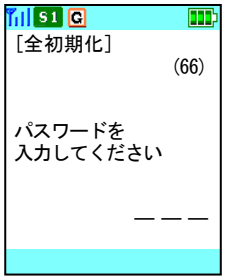


3 で「全初期化」を選び、 を押す。

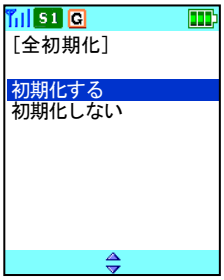


4 ダイヤルボタンでパスワードを入力する。

4 桁目は表示されません。
パスワードを間違えて入力した場合は「パスワードが誤っています」と表示され、手順 3 の画面に戻ります。

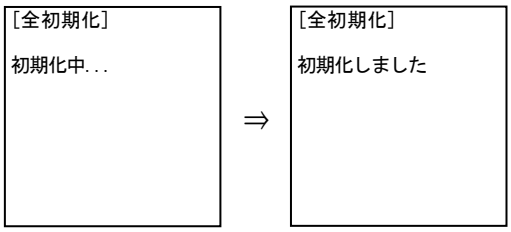


5 で「初期化する」を選び、 を押す。



補足説明

「初期化する」を選択した場合、下記画面が表示された後、自動的にリセットします。



いろいろな機能の設定内容を初期化する（つづき）

各設定内容における、機能初期化および全初期化対象項目およびその初期値は下記のとおりです。

初期化対象項目表

設定メニュー	設定内容		機能初期化対象項目	全初期化対象項目	初期値
表示設定	待受画面設定		○	○	なし
	明るさ調整		○	○	レベル１
	内線番号表示		○	○	表示なし
	使用者名称		○	○	表示なし
	グループ番号表示		○	○	表示なし
	表示文字拡大		○	○	機能なし
	切断理由表示		○	○	機能なし
音・バイブレータ	着信音	外線着信音	○	○	トーン１
		内線着信音	○	○	トーン２
		CES 着信音	○	○	トーン１
		簡易メール着信音	○	○	効果音１
	着信音量		○	○	レベル３
	受話音量		○	○	レベル２
	バイブレータ		○	○	なし
	キータッチ音		○	○	キータッチ音あり
	電池アラーム音		○	○	アラーム音あり
	側音調整		○	○	側音３
	エコーサプレス		○	○	機能なし
	ハンドオーバ音		○	○	ハンドオーバ音あり
	着信音鳴動指定		○	○	スピーカ
	受話音高域カット		○	○	機能なし
電話帳	電話帳登録データ		×	○	なし
	名称編集		×	○	グループ０１～１０
	グループ着信音		×	○	設定なし
	グループ着信色		×	○	色パターン１
	登録件数確認		－	－	－
モード	自営システム切替		×	×	システム１ （または、システム２）
セキュリティ	パスワード変更		×	○	０００００
	ダイヤルロック		－	－	ロックしない
	機能初期化		－	－	－
	電話帳アクセス禁止		×	○	機能なし
	リモートロック		×	○	機能なし
	オートロック		×	○	機能なし
	全初期化		－	－	－
	キーロック		－	－	－

いろいろな機能の設定内容を初期化する（つづき）

初期化対象項目表

設定メニュー	設定内容	機能初期化対象項目	全初期化対象項目	初期値
基本設定	時刻設定	×	○	2000 年 00 月 00 日 00 時 00 分
	エコ充電	×	○	機能なし
	自局番号表示	―	―	―
ラインキー設定	ラインキー常時表示	○	○	機能なし
	ラインキー名称表示	○	○	機能なし
	ラインキー着信鳴動	○	○	着信鳴動：機能あり 着信表示：着信表示あり
	ラインキー割付設定	×	×	ラインキー01～12：外線 01～12 ラインキー13～16：機能なし
	ラインキー発信設定	×	×	ワンタッチ
	ラインキー名称編集	×	×	ラインキー01～16
	ラインキー使用数	×	×	８個
	ラインキー運用面	―	―	―
その他	ISDN サブアドレス	○	○	機能なし
	クイック応答	○	○	機能なし
	クイック発信	○	○	機能なし
	着信自動応答	○	○	機能なし
	送信パワーダウン	○	○	機能なし
	リモートスイッチ	○	○	機能なし
	特番設定	○	○	0
	メール送信 BOX	○	○	上書き禁止
	クイックダイヤル	○	○	機能なし
	設定内容確認	―	―	―
ツール	電卓	―	―	―
	時刻アラーム	×	○	なし
	予約アラーム	×	○	なし
留守	留守録設定	○	○	機能なし
	録音データ	○	○	なし
簡易メール	受信 BOX	×	○	なし
	送信 BOX	×	○	なし
履歴	発信履歴	×	○	なし
	着信履歴	×	○	なし
―	マナーモード	○	○	機能 OFF

時刻を設定する

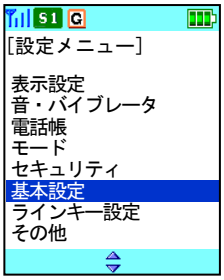
電話機に日付および時刻を設定することができます。
お買い上げ時には、日付および時刻は設定されていません。

その前に･･･

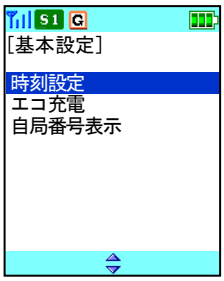
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「基本設定」を選び、○を押す。

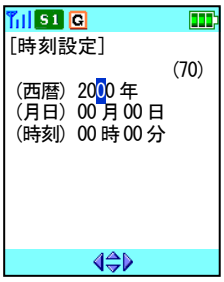


3 ○で「時刻設定」を選び、○を押す。



4 ダイヤルボタンで(西暦)(月日)(時刻)を入力し、○を押す。

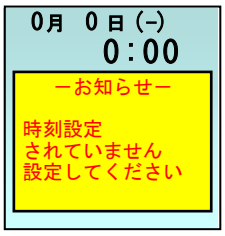
手順3の画面に戻ります。



補足説明

●時刻は 24 時間制で表示します。
●日時を設定するときの入力有効値は次のとおりです。
西暦：2000～2099（下 2 桁のみ入力）
月　：01～12
日　：01～31
時　：00～23
分　：00～59
●日時を設定していないときは時刻は更新されません。

●初期値は 2000 年 00 月 00 日　（－）曜日　00 時 00 分です。時刻を設定しないときや、電池パックを交換した後で電源をオンした場合には、右記画面が表示されます。保留/クリア を押すと、待ち受け画面に戻ります。



●通話中に時刻設定することもできます。通話中に○を押し、「通話中メニュー」を表示させ、○で「時刻設定」を選び、○を押します。

エコ充電機能を設定する

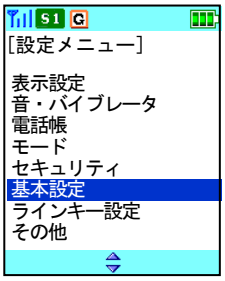
電池残量が少ない時のみ充電する設定にすることによって、充電による商用電源（ＡＣ１００Ｖ）の消費電力を低減することができます。
お買い上げ時には、「機能なし」に設定されています。

その前に･･･

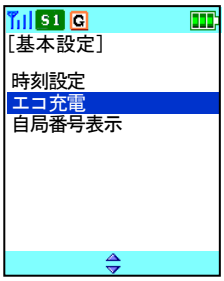
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に、電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「基本設定」を選び、○を押す。

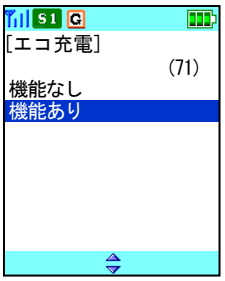


3 ○で「エコ充電」を選び、○を押す。



4 ○で「機能あり」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。
設定すると、待ち受け中の画面下に、「 ECO 」が表示されます。



補足説明

●エコ充電機能は、電話機の電源が入っていない状態では作動しません。
●エコ充電機能を「機能なし」に設定する場合は、手順４で「機能なし」を選びます。
●エコ充電機能を「機能あり」に設定した場合の、充電開始時での連続通話時間および連続待ち受け時間は下記の通りです。

連続通話時間　　：約 30 分
連続待ち受け時間：約 90 分

※上記はあくまでも目安です。使用環境および電池パックの使用状態により、連続通話時間および連続待ち受け時間は異なる場合があります。

自分の内線番号を確認する

自分の内線番号を、待ち受け中・通話中に確認することができます。

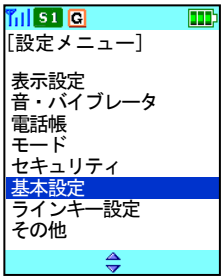
その前に・・・

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

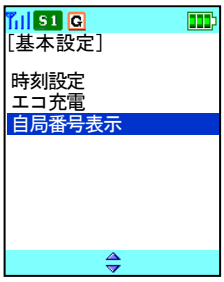
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「基本設定」を選び、○を押す。

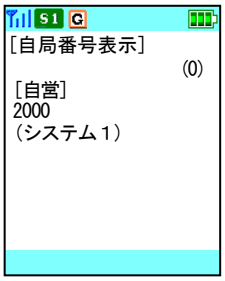


3 ○で「自局番号表示」を選び、○を押す。



4 自局番号を確認する。

電源 を押すと、待ち受け画面に戻ります。



補足説明

●内線番号は、現在起動しているシステム側のみを表示します。（自営システム設定については「自営システムを切り替える」（１０６ページ）をご覧ください。）

●通話中に自分の内線番号などを確認するときは、○を押し、「通話中メニュー」を表示させ、○で「自局番号表示」を選び、○を押します。

ラインキーのランプ表示を設定する

ラインキーの状態を常に表示する設定にすることができます。お買い上げ時は「機能なし」（一定時間で消灯）に設定されています。

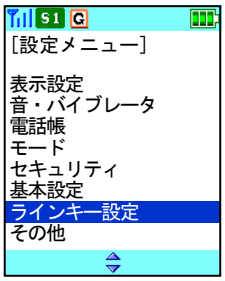
その前に・・・

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

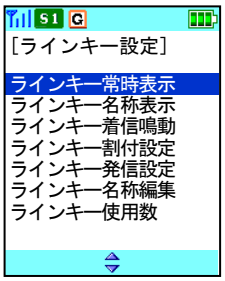
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「ラインキー設定」を選び、○を押す。

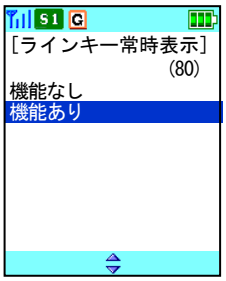


3 ○で「ラインキー常時表示」を選び、○を押す。



4 ○で「機能あり」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●ラインキー情報の状態が一定時間（約３０秒）変化がなかった場合、ラインキーを消灯させる設定にするには、手順４で「機能なし」を選びます。

●ラインキー常時表示を「機能あり」に設定しているときは、待ち受け画面の下にピクト（ ）が表示されます。

ラインキー状態に変化がない場合のラインキーランプの動作

ラインキー状態	機能なし	機能あり
赤点灯　：他者通話中	消灯	継続
赤遅点滅：他者保留中	継続	
赤早点滅：ラインキー着信中	継続	
緑点灯　：本人通話中	継続	
緑遅点滅：本人保留中	継続	

※「機能なし」の設定でラインキー状態が複合している場合、消灯しないラインキー状態を含むときは消灯しない。
（例）「赤点灯」と「緑点灯」状態　→　約３０秒後　→　「赤点灯」と「緑点灯」状態継続

ラインキーを画面に表示させる

ラインキー名称を画面に表示することができます。お買い上げ時は「機能なし」に設定されています。

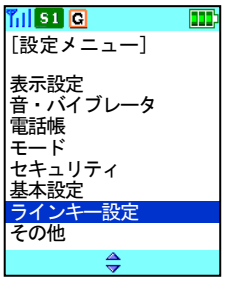
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

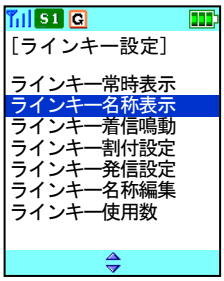
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「ラインキー設定」を選び、○を押す。



3 ○で「ラインキー名称表示」を選び、○を押す。



4 ○で「機能あり」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。

補足説明

●「機能あり」に設定すると、画面に８個のラインキーが表示されます。また、待受画面が「カレンダー」に設定されていた場合は、待受画面が「画面２」に設定されます。

●ラインキー使用数が１６個に設定されているときは、ラインキー名称表示が「機能あり」に固定されます（手順３の「ラインキー名称表示」がグレーアウトし、選ぶことができません）。ラインキー使用数の設定については、「ラインキーの使用数を設定する」（ページ）をご覧ください。

●ラインキー名称を画面に表示しないようにするには、手順４で「機能なし」を選びます。

ラインキー着信音を鳴らないようにする

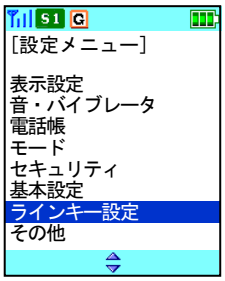
ラインキー着信時に着信音を鳴動しないように設定をすることができます。お買い上げ時は「機能あり」に設定されています。

その前に･･･

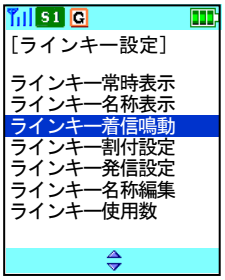
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「ラインキー設定」を選び、○を押す。

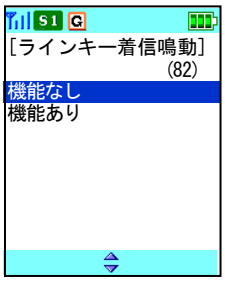


3 ○で「ラインキー着信鳴動」を選び、○を押す。



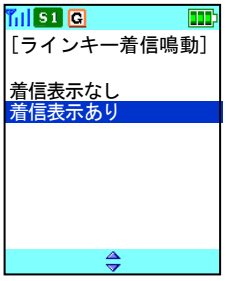
4 ○で「機能なし」を選び、○を押す。

「機能あり」を選ぶと手順3の画面に戻ります。



5 ○で着信表示の「あり」または「なし」を選び、○を押す。

手順3の画面に戻ります。



ラインキーに機能を設定する

ラインキーに外線・Ｆキー・クイックダイヤルの機能を設定することができます。お買い上げ時はラインキー１～１２に「外線０１～１２」、ラインキー１３～１６に「機能なし」が設定されています。

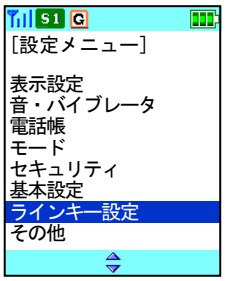
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

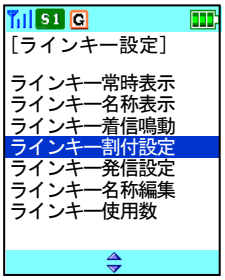
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

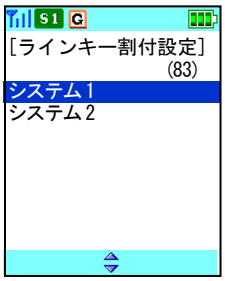
2 ○で「ラインキー設定」を選び、○を押す。



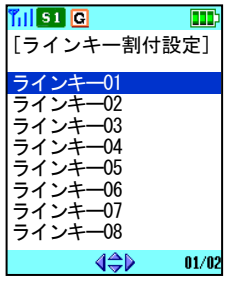
3 ○で「ラインキー割付設定」を選び、○を押す。



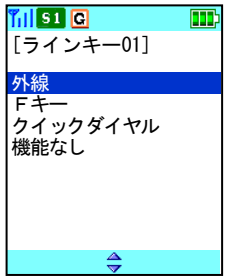
4 ○で設定するシステムを選び、○を押す。



5 ○で設定するラインキーを選び、○を押す。

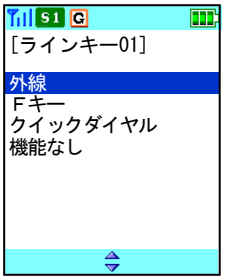


6 外線・Ｆキー・クイックダイヤルの設定については、それぞれ、「外線機能を設定する」（１２３ページ）、「Ｆキーを設定する」（１２４ページ）、「クイックダイヤルを設定する」（１２４ページ）をご覧ください。



外線機能を設定する

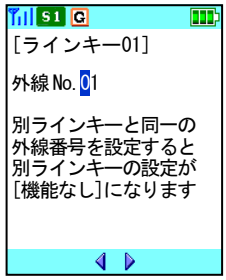
1 ○で「外線」を選び、○を押す。



2 ダイヤルボタンで外線番号を入力し○を押す。

１２３ページの手順５に戻ります。

外線番号が入力できるのは０１～１２です。



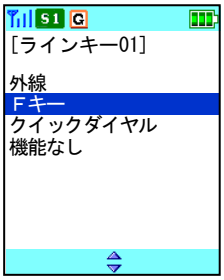
補足説明

別のラインキーに同じ外線番号が割り当てられている場合でも割り当てることができますが、その場合はすでに割り当てられている別のラインキーが「機能なし」に設定されます。

ラインキーに機能を設定する（つづき）

Ｆキーを設定する

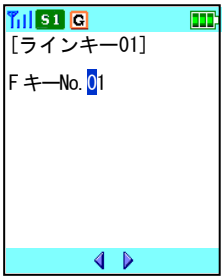
1 ○で「Ｆキー」を選び、○を押す。



2 ダイヤルボタンでＦキー番号を入力し○を押す。

１２３ページの手順５に戻ります。

Ｆキー番号が入力できるのは０１～１２です。

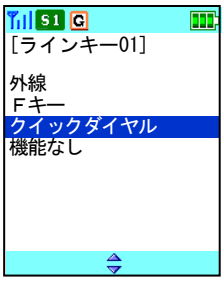


補足説明

●別のラインキーに同じＦキー番号が割り当てられている場合でも割り当てることができます。

クイックダイヤルを設定する

1 ○で「クイックダイヤル」選び、○を押す。



2 ダイヤルボタンで番号を入力し、○をを押す。

１２３ページの手順５に戻ります。

補足説明

●クイックダイヤルを登録したラインキーボタンで、ワンタッチ発信ができるように設定することができます。「クイックダイヤルボタンを使ってワンタッチで電話をかける」（１３６ページ）をご覧ください。

ラインキーをワンタッチ／ツータッチで使う

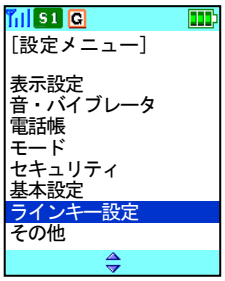
ラインキーをワンタッチまたはツータッチで使用することができます。お買い上げ時は「ワンタッチ」に設定されています。

その前に・・・

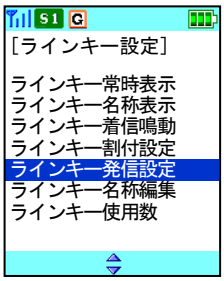
- ●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- ●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「ラインキー設定」を選び、○を押す。



3 ○で「ラインキー発信設定」を選び、○を押す。



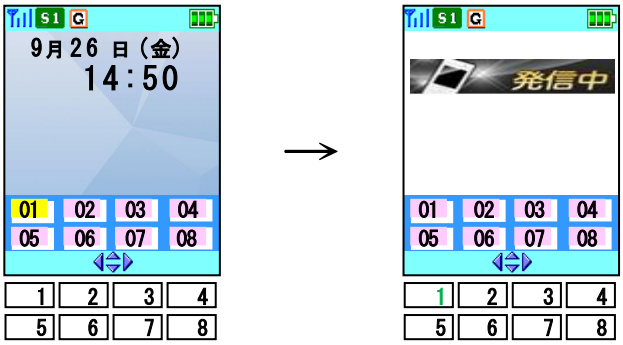
4 ○で「ワンタッチ」または「ツータッチ」を選び、○を押す。

手順３に戻ります。

補足説明

ラインキー発信設定が「ツータッチ」に設定されているときは、ラインキーボタンを押してから 発信 を押します。

ラインキー名称表示が「機能あり」に設定されているときの表示



ラインキーボタンを押すと、画面の該当するラインキーが黄色くなります。
５秒以内に 発信 を押してください。

発信 を押すと、ラインキーが緑色に点灯します。

- ●ラインキー名称表示については「ラインキーを画面に表示させる」（１２１ページ）をご覧ください。

ラインキーの名称を編集する

ラインキーの名称を編集することができます。お買い上げ時はラインキー１～１６に「０１～１６」が設定されています。

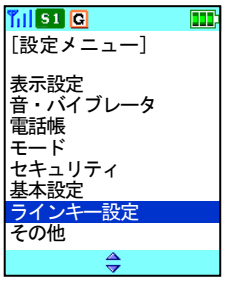
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

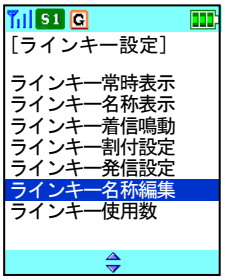
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

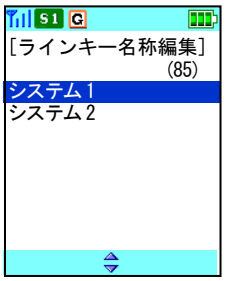
2 ○で「ラインキー設定」を選び、○を押す。



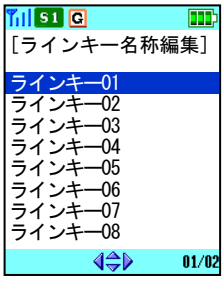
3 ○で「ラインキー名称編集」を選び、○を押す。



4 ○で設定するシステムを選び、○を押す。



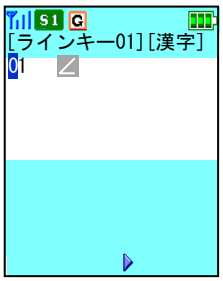
5 ○で編集するラインキーを選び、○を押す。



6 ラインキー名称を入力し、○を押す。

手順５に戻ります。

入力できる文字数は全角で２文字、半角で４文字です。



補足説明

●文字入力の方法については「文字の入力方法」（３７ページ）をご覧ください。ダイヤルボタンと文字の関係は、「ダイヤルボタンと文字の割り当て」（３９ページ）を参照してください。

●ラインキー名称表示例

ラインキーの使用数を設定する

ラインキーとして使用できる数を８個または１６個に設定することができます。お買い上げ時は「８個」に設定されています。

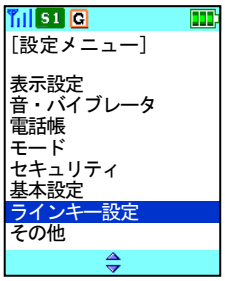
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

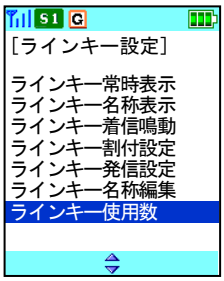
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「ラインキー設定」を選び、○を押す。

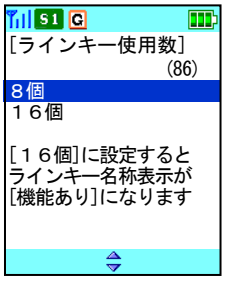


3 ○で「ラインキー使用数」を選び、○を押す。



4 ○でラインキーの使用数を選び、○を押す。

手順３に戻ります。



補足説明

●使用するラインキーを「１６個」に設定すると、ラインキー名称表示が「機能あり」になります。また、待受画面が「カレンダー」に設定されていた場合は、待受画面が「画面２」に設定されます。ラインキー名称表示については「ラインキーを画面に表示させる」（１２１ページ）をご覧ください。

ラインキーの運用面を変更する

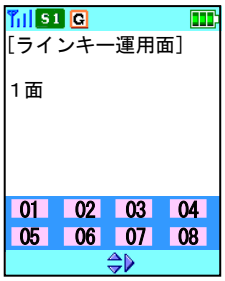
ラインキー使用数が１６個に設定されている場合、ラインキーの運用面を変更することができます。

その前に･･･

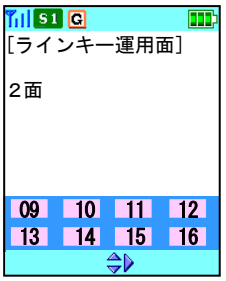
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 待ち受け画面で を長押しする。



2 でラインキーの運用面を選び、 を押す。



サブアドレス付き発信を可能にする

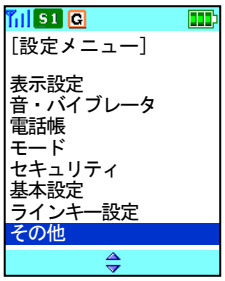
ＩＳＤＮ回線は１つの回線に複数の端末を接続できます。このため、ＩＳＤＮ端末には通常の電話番号に加えて端末独自の番号を設定できます。この番号を「サブアドレス」といいます。相手先電話番号ダイヤル後、＊・・を押して「サブアドレス」をダイヤルすることで、希望する端末だけを呼び出せます。ＩＳＤＮ端末にダイヤル（サブアドレス付き発信）するときは、あらかじめ「ＩＳＤＮサブアドレス」を「機能あり」に設定しておく必要があります。お買い上げ時は「機能なし」に設定されています。

その前に・・・

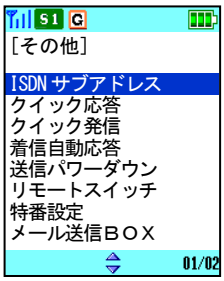
- ●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- ●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「その他」を選び、○を押す。



3 ○で「ＩＳＤＮサブアドレス」を選び、○を押す。



4 ○で「機能あり」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。

補足説明

ＩＳＤＮサブアドレス機能を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。

クイック応答機能を設定する

クイック応答を使えるように設定できます。クイック応答を使えるようにすると、充電器に電話機を置いているときは、着信時に充電器から取り上げただけで電話を受けることができます。また、お話しが終了した後、電話機を充電器に置くだけで電話が切れます。（クイック終話。）お買い上げ時は「機能なし」に設定されています。

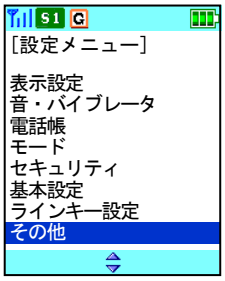
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

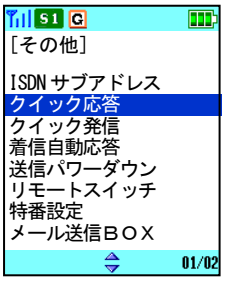
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「その他」を選び、○を押す。

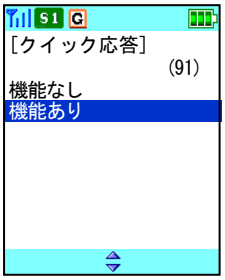


3 ○で「クイック応答」を選び、○を押す。



4 ○で「機能あり」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

クイック応答機能を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。

クイック発信機能を設定する

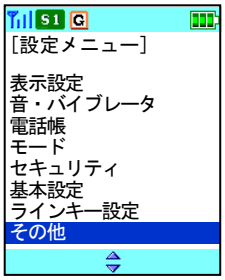
クイック発信を設定すると、電話機を充電器から上げるだけで、発信を行うことができます。
お買い上げ時は「機能なし」に設定されています。

その前に･･･

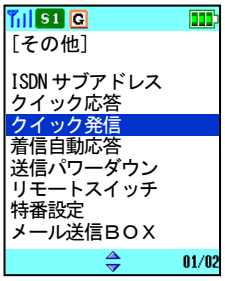
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「その他」を選び、○を押す。



3 ○で「クイック発信」を選び、○を押す。



4 ○で「機能あり」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。

補足説明

●お話しが終了した後、必ず 電源 を押して電話を切ってください。電話機を充電器の上に置いても通話中の状態が継続します。
●クイック発信機能を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。

着信自動応答を設定する

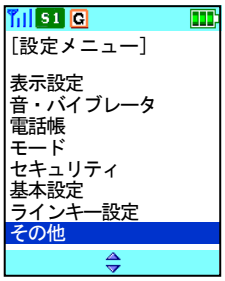
電話がかかってきたとき、着信音を約３秒間鳴らして、自動的に電話に応答することができます。
お買い上げ時は、「機能なし」に設定されています。

その前に・・・

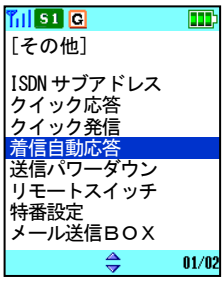
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「その他」を選び、○を押す。

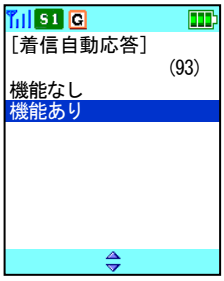


3 ○で「着信自動応答」を選び、○を押す。



4 ○で「機能あり」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●着信自動応答を「機能あり」に設定しているときは、留守録応答は動作しません。（留守録応答については「留守録を設定する」（８２ページ）をご覧ください。）
●着信自動応答機能を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。

送信パワーダウンを設定する

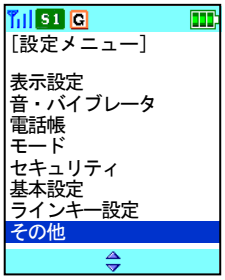
使用する環境に合わせて電波の出力を抑えることができます。お買い上げ時は「機能なし」に設定されています。

その前に・・・

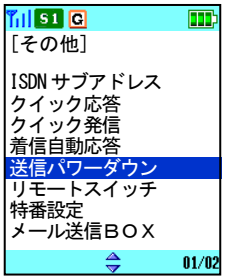
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「その他」を選び、○を押す。

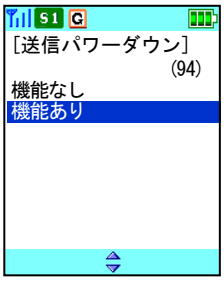


3 ○で「送信パワーダウン」を選び、○を押す。



4 ○で「機能あり」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●送信パワーダウンを「機能あり」に設定すると、接続装置からの距離が近くても、通話が途切れたり圏外になったりすることがあります。
●送信パワーダウンを「機能あり」に設定しているときは、待ち受け画面の上にピクト（ ⬇ ）が表示されます。
●送信パワーダウン機能を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。

リモート発信を設定する

ヘッドセットアダプタ（別売り）使用時にアダプタのスイッチを押すと、電話帳のメモリ番号「０００」に登録されている番号に発信します。お買い上げ時は、「機能なし」に設定されています。

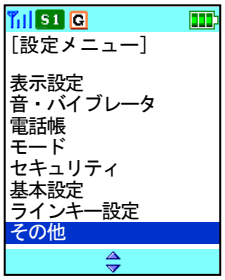
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

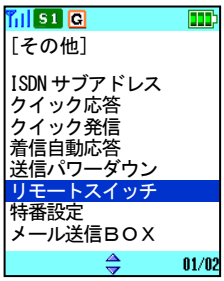
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「その他」を選び、○を押す。

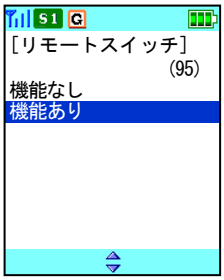


3 ○で「リモートスイッチ」を選び、○を押す。



4 ○で「機能あり」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

リモート発信機能を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。

特番を設定する

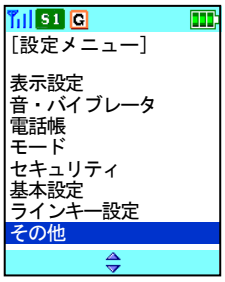
電話機に特番を登録することができ、プリセットダイヤル発信（電話帳または発信／着信履歴表示）画面で、保留/クリアを２秒以上長押しするたびに、表示されている電話番号の先頭に特番を付加／解除をすることができます。
お買い上げ時は、「０」に設定されています。

その前に･･･

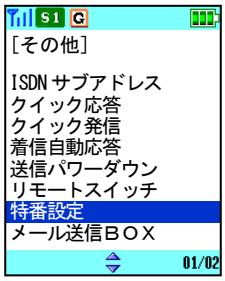
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「その他」を選び、○を押す。

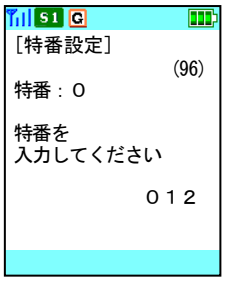


3 ○で「特番設定」を選び、○を押す。



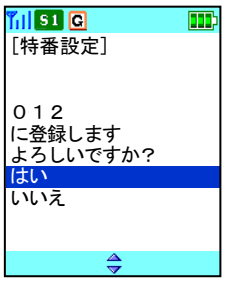
4 ダイヤルキーで特番を入力し、○を押す。

特番は６桁まで入力することができます。



5 ○で「はい」を選び、○を押す。

設定されると「登録しました」と表示され、手順３の画面に戻ります。



補足説明

●特番＋ダイヤル桁数は最大２４桁までです。２４桁を超える場合は、特番の付加操作が無効になります。
●特番の付加／解除は、発信中はできません。

クイックダイヤルボタンを使ってワンタッチで電話をかける

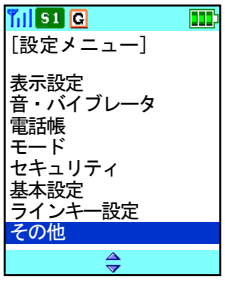
クイックダイヤルを登録したラインキーボタンで、ワンタッチ発信ができるように設定することができます。
お買い上げ時は、「機能なし」に設定されています。

その前に･･･

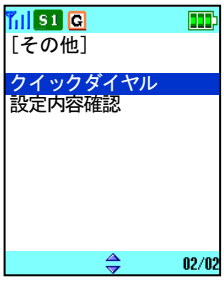
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

2 ○で「その他」を選び、○を押す。



3 ○で「クイックダイヤル」を選び、○を押す。



4 ○で「機能あり」を選び、○を押す。

手順３の画面に戻ります。

補足説明

●クイックダイヤル機能を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。
●ラインキーへのクイックダイヤル登録については「クイックダイヤルを設定する」（１２４ページ）をご覧ください。
●ラインキー発信設定をツータッチに設定している場合でも、「機能あり」に設定しているときは、ワンタッチで発信します。（ラインキー発信設定については、「ラインキーをワンタッチ／ツータッチで使う（１２５ページ）」をご覧ください。）

設定内容を確認する

いろいろな機能の設定内容を確認することができます。

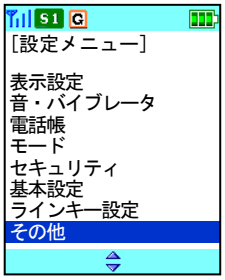
その前に・・・

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

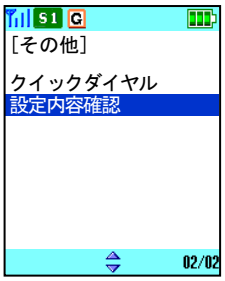
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 ○を押し、○で「設定」を選び、○を押す。

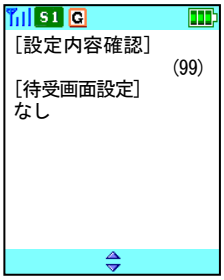
2 ○で「その他」を選び、○を押す。



3 ○で「設定内容確認」を選び、○を押す。



4 ○で設定内容を確認します。



設定内容を確認する（つづき）

表示とその意味

設定項目	意味	表示内容
待受画面設定	待受画面の種類を示します。	なし/画面 1～画面 3/カレンダー
明るさ調整	画面の明るさの段階を示します。	レベル１～レベル３
内線番号表示	画面に内線番号表示の有無を示します。	表示なし/表示あり
使用者名称	画面に使用者名称表示の有無を示します。	表示なし/表示あり
グループ番号表示	画面に自グループ番号表示の有無を示します。	表示なし/表示あり
表示文字拡大	画面に表示される文字の拡大の有無を示します。	機能なし/機能あり
切断理由表示	通話中に切断したときの理由表示の有無を示します。	機能なし/機能あり
外線 01～12(昼/夜) 外線着信音他(昼/夜)	外線着信音の種類を示します。	トーン 1～トーン 5/効果音 1～効果音 5/ ｶﾙﾒﾝ組曲/ｼﾊﾞの女王の入城/くるみ割り人形行進曲/花のﾜﾙﾂ/ﾜﾙｷｭｰﾚの騎行/ﾎﾞﾚﾛ/ｱｲﾈ･ｸﾗｲﾈ･ﾅﾊﾄﾑｼﾞｰｸ/春/威風堂々/ｸｼｺｽ･ﾎﾟｽﾄ/着信音なし
内線着信音	内線着信音の種類を示します。	
CES 着信音	CES 着信音の種類を示します。	
簡易メール着信音	簡易メール着信音の種類を示します。	トーン 1～トーン 5/効果音 1～効果音 5/ 着信音なし
着信音量	着信音量の段階を示します。	レベル0～レベル 5/ステップトーン/ ＯＦＦ→ステップ
受話音量	受話音量の段階を示します。	レベル 1～レベル５
バイブレータ	バイブレータの種類を示します。	なし/パターン１～パターン３/メロディ連動
キータッチ音	キータッチ音の有無を示します。	キータッチ音なし/キータッチ音あり
電池アラーム音	電池アラーム音の有無を示します。	アラーム音なし/アラーム音あり
側音調整	側音の段階を示します。	側音なし/側音 1～側音３
エコーサプレス	エコーサプレスの有無を示します。	機能なし/機能あり
ハンドオーバ音	ハンドオーバ音の有無を示します。	ハンドオーバ音なし/ハンドオーバ音あり
着信音鳴動指定	着信音の鳴動先を示します。	スピーカ/ヘッドセット
受話音高域カット	受話音高域カットの有無を示します。	機能なし/機能あり
グループ01 設定	電話帳グループの設定状態を示します。	[グループ] グループ 1～グループ 10 または設定されている各グループ名称 [着信音] トーン 1～トーン 5/効果音 1～効果音 5/ ｶﾙﾒﾝ組曲/ｼﾊﾞの女王の入城/くるみ割り人形行進曲/花のﾜﾙﾂ/ﾜﾙｷｭｰﾚの騎行/ﾎﾞﾚﾛ/ｱｲﾈ･ｸﾗｲﾈ･ﾅﾊﾄﾑｼﾞｰｸ/春/威風堂々/ｸｼｺｽ･ﾎﾟｽﾄ/設定なし [色パターン] 色パターン 1～色パターン７
グループ０２設定		
グループ０３設定		
グループ０４設定		
グループ０５設定		
グループ０６設定		
グループ０７設定		
グループ０８設定		
グループ０９設定		
グループ１０設定		

設定内容を確認する（つづき）

表示とその意味（つづき）

登録電話番号数	電話帳の登録件数状態を示します。	ｘ番号／1000 番号
自営システム切替	運用中の自営システムを示します。	システム 1/システム 2/両システム
電話帳アクセス禁止	電話帳アクセス機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
リモートロック	リモートロック機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
オートロック	オートロック機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
エコ充電	エコ充電機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
ラインキー常時表示	ラインキー常時表示の有無を示します。	機能なし/機能あり
ラインキー名称表示	ラインキー名称表示の有無を示します。	機能なし/機能あり
ラインキー着信鳴動	ラインキー着信鳴動の有無を示します。	機能なし(着信表示なし/着信表示あり) /機能あり
ラインキー割付設定	ラインキーに設定された機能を示します。	システム 1/システム 2 ラインキー01～16 に設定されている/外線(01～12)/Ｆキー(01～12)/クイックダイヤル/機能なし
ラインキー発信設定	ラインキー使用時の操作回数を示します。	ワンタッチ/ツータッチ
ラインキー名称編集	ラインキーに設定された名称を示します。	システム 1/システム 2 ラインキー01～16 に設定されている名称
ラインキー使用数	ラインキーの使用数を示します。	８個/１６個
ISDN サブアドレス	サブアドレス付発信機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
クイック応答	着信時のクイック応答機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
クイック発信	発信時のクイック発信機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
着信自動応答	着信時の自動応答機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
送信パワーダウン	送信パワーダウン機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
リモートスイッチ	ヘッドセットアダプタによるリモートスイッチ機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
特番設定	特番の設定状態を示します。	設定されている番号
メール送信ＢＯＸ	メール送信ＢＯＸ上書きの可否を示します。	上書き禁止/上書き許可
クイックダイヤル	クイックダイヤル機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
ラインキー運用面	現状のラインキー運用面を示します。	１面/２面

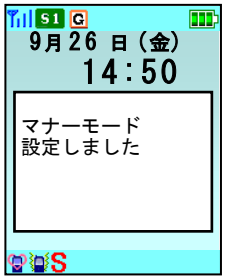
マナーモードを設定する

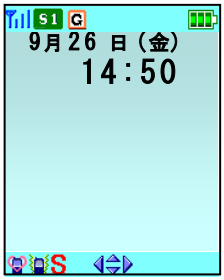
会議中などで、着信音を鳴らしたくない場合にマナーモードにしておくと、着信音を鳴らさずにバイブレータの振動で着信をお知らせすることができます。

その前に･･･

●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 待ち受け時に #マナー を２秒以上押す。





マナーモードを設定すると、画面の下に（ S）が表示されます。

補足説明

●マナーモードを解除するには、待ち受け画面を表示しているときに #マナー を２秒以上押すと、「マナーモード解除しました」と表示され、マナーモードが解除されます。

●マナーモード設定中は、キータッチ音「あり」、バイブレータ着信「なし」の設定は可能ですが、キータッチ音は聞こえず、バイブレータ着信となります。マナーモードが解除されると設定した動作が有効となります。

●充電器に置いてあるときは、バイブレータは作動しません。

電卓を使う

１０桁までのたし算、ひき算、かけ算、わり算ができます。

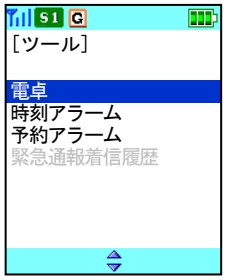
その前に・・・

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

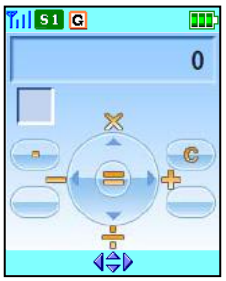
1 ○を押し、○で「ツール」を選び、○を押す。

2 ○で「電卓」を選び、○を押す。



3 計算式を入力して、○を押す。

数　　字：0 ～ 9
＋(たし算)：○
－(ひき算)：○
×(かけ算)：○
÷(わり算)：○
．(小数点)：
数字消去：
＝　　：○



補足説明

●計算結果の最大表示桁数は、10 桁までです。計算結果が 11 桁以上の場合は、右端に「E」が表示されます。

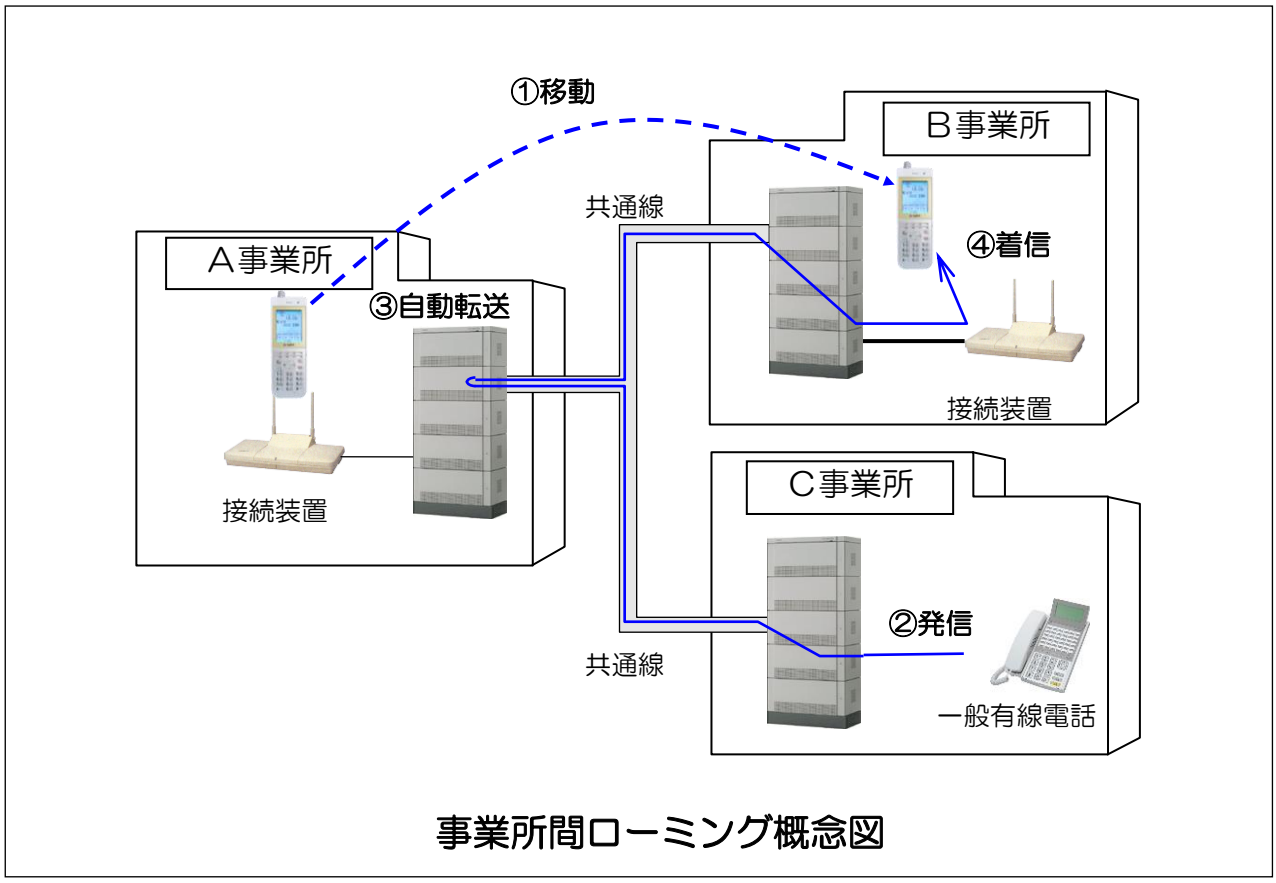
●電卓機能の操作中に着信が入ると、計算途中の内容は破棄されます。

電話機を他の事業所で使う

ＰＢＸ（構内交換機）が、共通線で結ばれている事業所は、どの事業所へ移動したときでも、デジタルコードレス電話機で電話をかけたり受けたりすることができます（事業所間ローミング機能。）事業所間を移動すると、移動先の事業所でのシステム検索に多少時間がかかることもありますので、移動先ですぐにアンテナサーチ（２３ページ）をしておくと便利です。

その前に･･･

●事業所間ローミング機能が使用できるのは、自営システムが「システム１」の場合のみです。自営システムについては「自営システムを切り替える」（１０６ページ）をご覧ください。



事業所間ローミング概念図

1 他の事業所へ移動すると、移動先の事業所のＰＢＸ（構内交換機）の電波を検索します。

2 電波を受信すると、アンテナピクトが赤く表示されます。

補足説明

●事業所間ローミングを行うには、あらかじめデジタルコードレス電話機のデータを設定するために工事が必要になります。

●お使いになっているＰＢＸ（構内交換機）によっては、事業所間ローミングを行えないものもあります。

●使用するＰＢＸ（構内交換機）での電波が検出されないとアンテナマークが表示されません。

第9章

ご参考に

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも直らないときは、お買い上げになった販売店などへご相談ください。

こんなときは	もういちど確認してください	参照ページ
まったく動作をしない	●電源は入っていますか？	23
	●ダイヤルロックが設定されていませんか？	109
	●キーロックが設定されていませんか？	112
	●デジタルコードレス電話機は十分に（5時間以上）充電されていますか？	20
	●電池パックは正しく取り付けられていますか？	18
	●近くに雑音を発生する機器がありませんか？	10
電話がかけられない	●電源は入っていますか？	23
	●ダイヤルロックが設定されていませんか？	109
	●キーロックが設定されていませんか？	112
	●デジタルコードレス電話機は十分に（5時間以上）充電されていますか？	20
	●電池パックは正しく取り付けられていますか？	18
	●近くに雑音を発生する機器がありませんか？	10
	●表示部に は表示されていますか？	13
	●クイック発信が「機能あり」に設定されていませんか？	131
	●自営システムが正しく設定されていますか？	106
	●接続装置のランプが消えていませんか？	13
	●接続装置のランプが赤く点灯、または緑の点滅をしていませんか？	13
着信音が鳴らない	●電源は入っていますか？	23
	●デジタルコードレス電話機は十分に（5時間以上）充電されていますか？	20
	●電池パックは正しく取り付けられていますか？	18
	●近くに雑音を発生する機器がありませんか？	10
	●表示部に は表示されていますか？	13
	●着信音が「ヘッドセット」から鳴るように設定されていませんか？	104
	●自営システムが正しく設定されていますか？	106
	●接続装置のランプが消えていませんか？	13
	●接続装置のランプが赤く点灯、または緑の点滅をしていませんか？	13
	●マナーモードを設定ONにしていませんか？	140
	●着信音量をレベル0（オフ）にしていませんか？	96
通話が時々とぎれる	●近くに雑音を発生する機器がありませんか？	10
	●表示部に は表示されていますか？	13
	●接続装置との間に電波をさえぎる障害物はありませんか？	10
	●送信パワーダウンを「機能あり」に設定していませんか？	133
充電してもすぐに電池アラーム音が鳴り、「充電してください」と表示される	●デジタルコードレス電話機は十分に（5時間以上）充電されていますか？	20
	●デジタルコードレス電話機や充電器の充電端子が汚れていませんか？	21
	●電池パックの寿命がきていませんか？	19
	●充電器のACアダプタは抜けていませんか？	20
充電中に充電ランプが点灯しない	●デジタルコードレス電話機や充電器の充電端子が汚れていませんか？	21
	●充電器のACアダプタは抜けていませんか？	20
	●極端に寒いところで使用していませんか？	21
	●エコ充電が「機能あり」に設定されていませんか？	118
電池パックが温かい	●充電すると多少温度が上がりますが、故障ではありません。	-
登録や設定ができない	●電源は入っていますか？	23
	●ダイヤルロックが設定されていませんか？	109
	●キーロックが設定されていませんか？	112
	●デジタルコードレス電話機は十分に（5時間以上）充電されていますか？	20
	●電池パックは正しく取り付けられていますか？	18
	●近くに雑音を発生する機器がありませんか？	10
	●登録や設定の方法が間違っていませんか？	-

主な仕様

項目		デジタルコードレス電話機	充電器
寸法 （幅×奥行き×高さ）		約 45mm×約 17mm×約 128mm （アンテナ及び突起部を含まず）	約 64mm×約 67mm×約 62mm
質量		約 110g（電池パックを含む）	約 60g
使用電源		専用リチウムイオン電池 定格電圧 3.7V　定格容量約 720mAh	専用 AC アダプタ AC100V　50/60Hz
動作温度	非充電	0℃～50℃	―
	充電	0℃～40℃	0℃～40℃
相対湿度範囲		20%～85%	20%～85%
連続通話時間		約 5 時間	―
連続待ち受け時間		約 400 時間	―
充電完了時間		約 5 時間	―

ご注意

●連続通話時間、連続待ち受け時間は、安定して が表示されている状態での目安です。充電状態、電波状態、周囲温度などの使用環境や、運用モード、ご使用になる機能設定によって短くなります。

●充電時間は付属の充電器を使用した場合の目安です。

●電波環境が悪くなると、通話途切れや、ノイズの混入など通話に支障をきたす場合があります。

●1 つの接続装置の近くから他の接続装置の近くに通話しながら移動するとき、接続装置の切り替えが自動的に行われます。接続装置を切り替えているときは、レシーバから「プップップ…」と聞こえます。（相手の方には聞こえません）どの接続装置からも離れてしまうと、圏外となり電話は切れてしまいます。接続装置の近くで電話をかけ直してください。通話中、移動していなくても無線回線の品質が劣化すると「プップップ…」という音が聞こえ、接続装置を切り替えます。

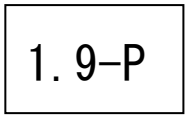
現品表示について

電話機本体および個装箱には右に示すマークが記載されています。

表示の意味

［1.9-］　：1.9GHz 帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備を示します。

［P］　　：デジタルコードレス電話機の無線局の種類（時分割多元接続方式狭帯域デジタルコードレス電話）を示します。



索引

ア　行

アラーム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
　時刻アラーム ・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
　予約アラーム ・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
アンテナ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
アンテナサーチ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
エコ充電 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 118
エコーサプレス ・・・・・・・・・・・・・・・・ 102
オートロック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 111
音量調節
　受話音量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
　着信音量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96

カ　行

外線フッキング ・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
各部の名称と働き ・・・・・・・・・・・・・・・ 14
簡易メール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
　閲覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
　削除 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
　作成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
　受信ＢＯＸ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
　送信 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
　送信ＢＯＸ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
　編集 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
　返信 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
キータッチ音 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
キーロック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 112
機能初期化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113
基本操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
クイック応答 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 130
クイックサイレント機能 ・・・・・・・・・・・・ 30
クイック終話 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 130
クイック発信 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 131
グループ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
　グループ名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
　グループ着信音 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
　グループ着信色 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
圏外 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

サ　行

サブアドレス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 129
時刻アラーム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
時刻設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117
システム切替 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 106
初期設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113
　機能初期化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113
　全初期化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 114
充電器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
充電する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
受信ＢＯＸ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
受話音高域カット ・・・・・・・・・・・・・・・ 105
受話音量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 145
使用者名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
ステップトーン ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96
ストラップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
スピーカ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
接続装置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
切断理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 93
設定内容確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 137
全初期化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 114
送信パワーダウン ・・・・・・・・・・・・・・・・ 133
送信ＢＯＸ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
側音調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101

タ　行

ダイヤルロック ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 109
ダイヤルボタンと文字の割り当て ・・・・・・・・ 39
着信音 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
　モード別着信音 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
　個別着信音 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
　グループ着信音 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
　着信メロディ ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
着信音鳴動先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 104
着信音量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96
着信自動応答 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 132
着信履歴 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
電源を入れる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
転送 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
電卓 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 141
電池アラーム音 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
電池残量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
電池パック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
　交換（取り付け） ・・・・・・・・・・・・・・・ 18
電話 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
　受ける ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
　かける ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
　転送 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
　保留 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
電話帳 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
　アクセス禁止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
　グループ設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
　検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
　削除 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
　登録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
　登録電話番号数確認 ・・・・・・・・・・・・・・ 58
　追加 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
　編集 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
　文字入力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
特長 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
特番 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 135

ナ　行

内線番号確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 119
内線番号表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89

索引（つづき）

ハ　行
バイブレータ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 98
パスワード ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 107
発信履歴 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
ハンドオーバ音 ・・・・・・・・・・・・・・・ 103
付属品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
ヘッドセット ・・・・・・・・・・・・・・・・ 104
ヘッドセットジャック ・・・・・・・・・・・・ 15
保留 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

マ　行
マナーモード ・・・・・・・・・・・・・・・・ 140
待ち受け画面 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
メニュー一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・ 148
メモ録音 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
　録音 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
　再生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
　削除 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
目次 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
文字拡大 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
文字入力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

ヤ　行
予約アラーム ・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
　作成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
　修正 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
　登録件数確認 ・・・・・・・・・・・・・・・ 78
　削除 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79

ラ　行
ラインキー ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
　運用面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 128
　外線 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 123
　クイックダイヤル ・・・・・・・・・・・・・ 124
　使用数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 127
　着信鳴動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 122
　名称表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 121
　名称編集 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 126
　発信設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 125
　ランプ表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 120
　Ｆキー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 124
リダイヤル ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
リモート発信 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 134
リモートロック ・・・・・・・・・・・・・・・ 110
留守録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
　再生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
　削除 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
　設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
連続通話時間 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 145
連続待ち受け時間 ・・・・・・・・・・・・・・ 145
ローミング ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 142

英　字
ＵＳＢコネクタ ・・・・・・・・・・・・・・・ 15
ＬＣＤ表示部 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

メニュー一覧表

機能	機能名称	ボタン操作	参照ページ
表示設定	待受画面設定	● → 1 あ @ → 0 わ 記号	87
	明るさ調整	● → 1 あ @ → 1 あ @	88
	内線番号表示	● → 1 あ @ → 2 か ABC	89
	使用者名称	● → 1 あ @ → 3 さ DEF	90
	グループ番号表示	● → 1 あ @ → 4 た GHI	91
	表示文字拡大	● → 1 あ @ → 5 な JKL	92
	切断理由表示	● → 1 あ @ → 6 は MNO	93
音・バイブレータ	着信音	● → 2 か ABC → 0 わ 記号	94
	着信音量	● → 2 か ABC → 1 あ @	96
	受話音量	● → 2 か ABC → 2 か ABC	97
	バイブレータ	● → 2 か ABC → 3 さ DEF	98
	キータッチ音	● → 2 か ABC → 4 た GHI	99
	電池アラーム音	● → 2 か ABC → 5 な JKL	100
	側音調整	● → 2 か ABC → 6 は MNO	101
	エコーサプレス	● → 2 か ABC → 7 ま PQRS	102
	ハンドオーバ音	● → 3 さ DEF → 0 わ 記号	103
	着信音鳴動指定	● → 3 さ DEF → 1 あ @	104
	受話音高域カット	● → 3 さ DEF → 2 か ABC	105
電話帳	グループ設定	● → 4 た GHI → 0 わ 記号	46
	登録電話番号数	● → 4 た GHI → 1 あ @	58
モード	自営システム切替	● → 5 な JKL → 0 わ 記号	106
セキュリティ	パスワード変更	● → 6 は MNO → 0 わ 記号	107
	ダイヤルロック	● → 6 は MNO → 1 あ @	109
		または ＊ ゛ ゜（2秒以上長押し）	
	機能初期化	● → 6 は MNO → 2 か ABC	113
	電話帳アクセス禁止	● → 6 は MNO → 3 さ DEF	57
	リモートロック	● → 6 は MNO → 4 た GHI	110
	オートロック	● → 6 は MNO → 5 な JKL	111
	全初期化	● → 6 は MNO → 6 は MNO	114

メニュー一覧表（つづき）

機能	機能名称	ボタン操作	参照ページ
基本設定	時刻設定	● → 7 PQRS → 0 記号	117
	エコ充電	● → 7 PQRS → 1 あ @	118
	自局番号表示	● → 0 記号	119
ラインキー設定	ラインキー常時表示	● → 8 TUV → 0 記号	120
	ラインキー名称表示※	● → 8 TUV → 1 あ @	121
	ラインキー着信鳴動	● → 8 TUV → 2 ABC	122
	ラインキー割付設定	● → 8 TUV → 3 DEF	123
	ラインキー発信設定	● → 8 TUV → 4 GHI	125
	ラインキー名称編集	● → 8 TUV → 5 JKL	127
	ラインキー使用数	● → 8 TUV → 6 MNO	128
その他	ISDN サブアドレス	● → 9 WXYZ → 0 記号	129
	クイック応答	● → 9 WXYZ → 1 あ @	130
	クイック発信	● → 9 WXYZ → 2 ABC	131
	着信自動応答	● → 9 WXYZ → 3 DEF	132
	送信パワーダウン	● → 9 WXYZ → 4 GHI	133
	リモートスイッチ	● → 9 WXYZ → 5 JKL	134
	特番設定	● → 9 WXYZ → 6 MNO	135
	メール送信 BOX	● → 9 WXYZ → 7 PQRS	136
	クイックダイヤル	● → 9 WXYZ → 8 TUV	69
	設定内容確認	● → 9 WXYZ → 9 WXYZ	137
マナーモード	# マナー （２秒以上長押し）		140
キーロック	● （２秒以上長押し）		112
アンテナサーチ	アンテナサーチ 保留/クリア （２秒以上長押し）		23

※：ラインキー使用数を「８個」に設定している場合のみ、ボタン操作が可能です。